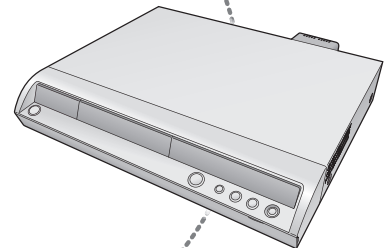
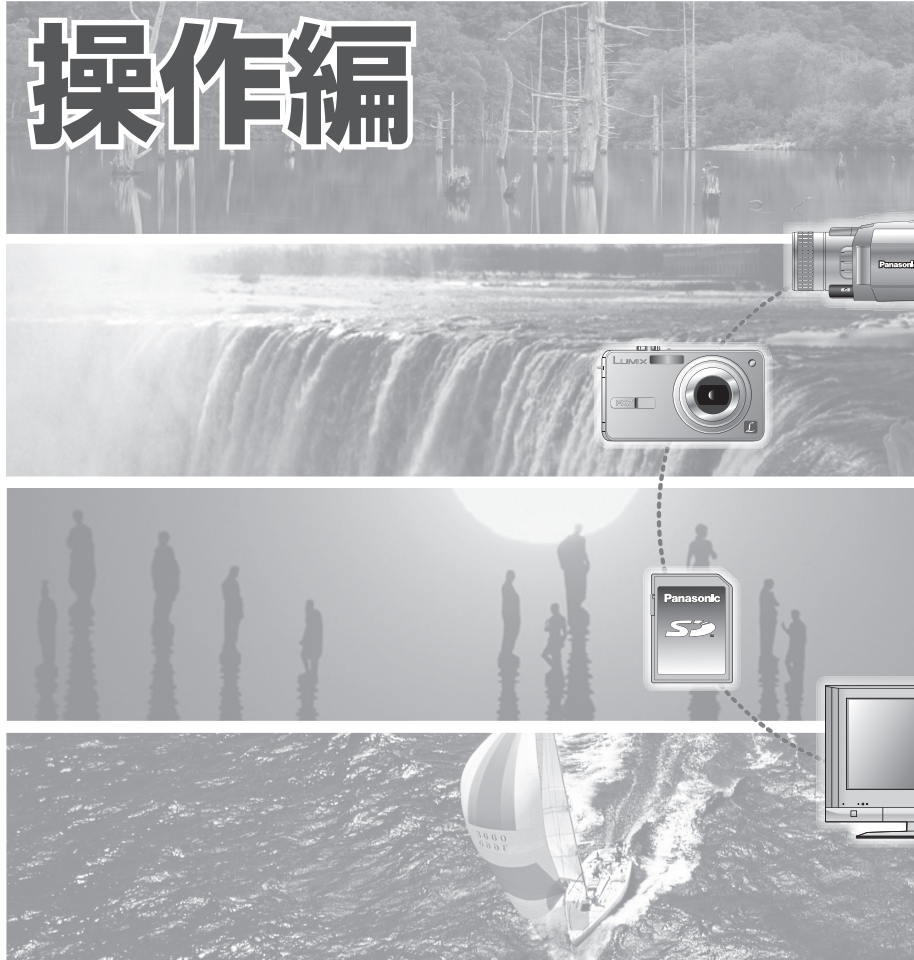
Panasonic

取扱説明書

DVDレコーダー

品番 DMR-EX150
DMR-EX350
DMR-EX550

操作編

DVD 関連情報は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dvd/

詳しい使い方説明は、「ディーガ使い方ナビゲーション」をご覧ください。
http://panasonic.jp/support/mpi/dvd/

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いいたします。ホームページでユーザー登録ができます。
http://www.mps.panasonic.co.jp/

このたびはパナソニックDVDレコーダーをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。

保証書別添付

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(➜ 別冊の取扱説明書　準備編 54 〜 55 ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

RQT8429-1S

ディーガ かんたん!使いこなし術

番組をHDD(ハードディスク)に録り貯(と た)めて、お気に入りだけDVDに残してみよう!

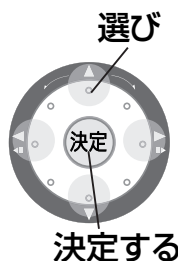
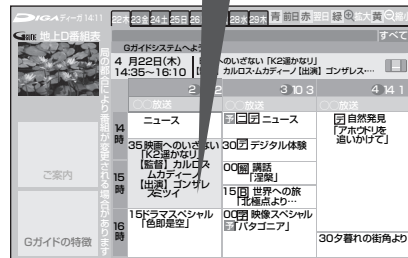
録画 予約する

かんたんに番組の予約がしたい!

1

番組表を表示する

2 予約したい番組を選ぶ

選び

決定する

放送を変更するときは ➡

詳しい操作方法は➜38ページ

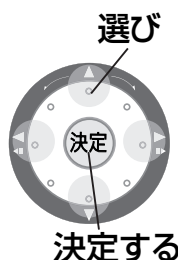
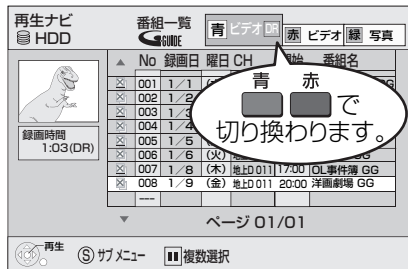
見る 再生する

録った番組を見てみたい!

1

番組一覧を表示する

2 再生したい番組を選ぶ

選び

決定する

選んだ番組が再生されます

詳しい操作方法は➜45ページ

残す ダビングする

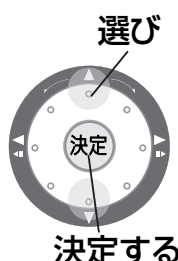
お気に入りの番組をDVDに残したい!

1 開/閉

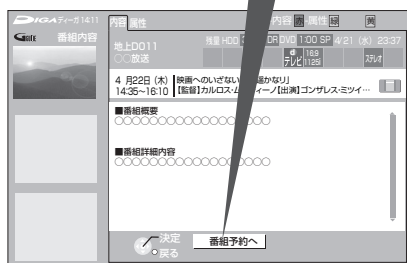
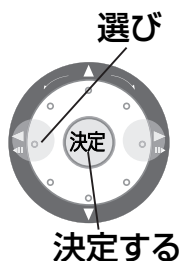
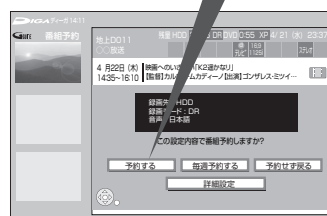
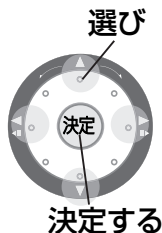
(本体の開閉ボタン)
ディスクを入れる

2 操作一覧画面を表示する

3 「ダビングする」を選ぶ

選び

決定する

詳しい操作方法は➜66ページ

3 「番組予約へ」を選ぶ

4 「予約する」を選ぶ

☞予約内容を確認し、変更が必要なときは
「詳細設定」を選ぶ（➜39「詳細設定画面」）
☞同じ番組を毎週録画したいときは
「毎週予約する」を選ぶ

消す 消去する

消去ナビを使うとかんたんに番組を消すことができます。

不要な番組を消去したい!

詳しい操作方法は➜53ページ

4 ダビングしたい番組を選ぶ

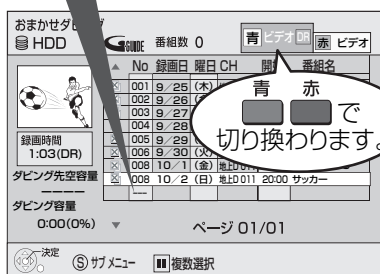
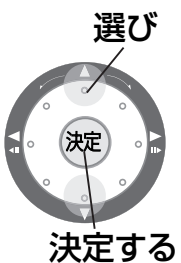
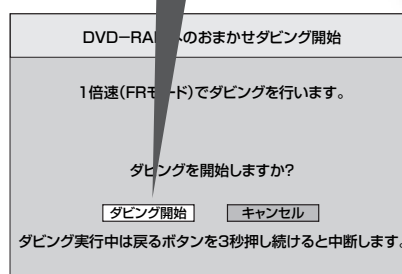
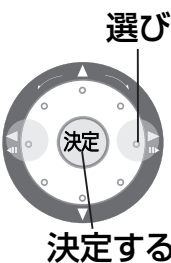
5 「ダビング開始」を選ぶ

DVD−RAMへのおまかせダビング開始

1倍速（FRモード）でダビングを行います。

ダビングを開始しますか?

ダビング開始　キャンセル

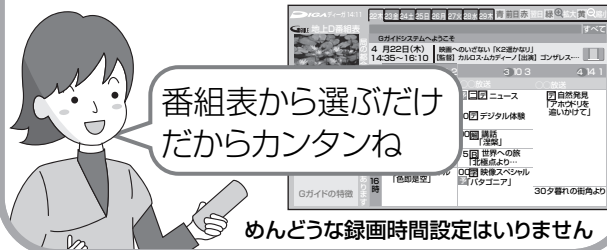
ダビング実行中は戻るボタンを3秒押し続けると中断します。

ダビングを開始します

本機の特長

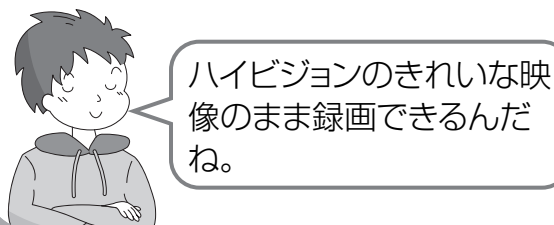
録画

番組表から録画予約する

➜38ページ

番組表から、録画したい番組を選んで予約ができます。

ハイビジョン画質をそのまま録画

➜32ページ

デジタル放送そのままの高画質・高音質をHDDへ録画して楽しめます。

デジ・アナどっちも録り

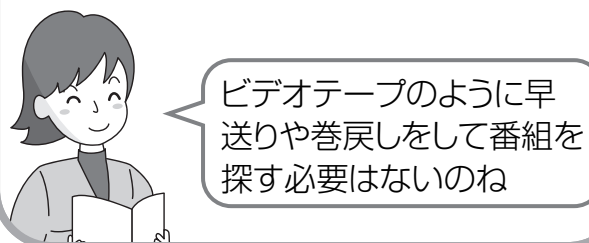
➜31ページ

デジタル放送の1番組とアナログ放送の1番組を同時に録画できます。

再生

見たい番組もすぐ見つかる

➜45ページ

再生ナビ画面なら、見たい番組を探すのに便利です。

デジカメで撮った写真を見る

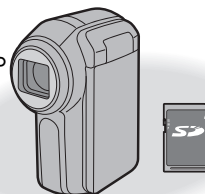
➜48ページ

デジタルカメラなどで撮影した写真をテレビで見たり、HDDやDVD-RAMに残すことができます。

SDカードのMPEG2動画を見る

➜70ページ

SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画を見るには、まずHDDなどにダビングしてください。

●SDカードから直接再生することはできません。

編集・ダビング

お気に入りシーンだけを集める

➔57ページ

録画した番組の不要な場面を削除したり、お気に入りの場面だけを集めたプレイリストを作成したりすることができます。

サッカーの名場面集が作りたいな!

好きな番組だけをDVDへダビングする

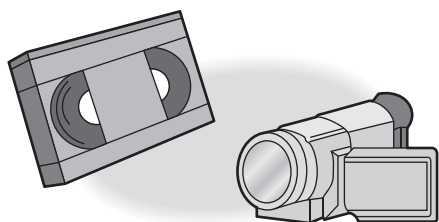
➔66ページ

おまかせダビングなら
ダビングしたい番組を選ぶだけ!

ダビングした後にファイナライズをすると他のDVD機器でも再生できます

ビデオやビデオカメラの映像をダビングする

➔72ページ

ビデオやビデオカメラで撮った思い出の映像をDVDに残すことができます。

さらに

HDMIケーブルでVIERAとつなぐと…

➔21ページ

ビエラのリモコンで、本機の操作を行うこともできます

●VIERA Link(HDAVI Control)に対応した機器と接続してください。

使い方に迷ったときは…

➔19ページ

テレビ画面で本機の操作ガイドを見ることができます

機種による違い

	HDD容量	DV入力端子	ネットワーク機能※1	1125p出力（1080p）
DMR-EX150	200GB	×	×	×
DMR-EX350	400GB	○	○	×
DMR-EX550	500GB	○	○	○※2

※1　デジタル放送の番組以外のさまざまな情報（通信コンテンツ）を配信するサービスをご利用できます。

※2　1125p（1080p）で出力するには、**初期設定**「HDMI出力解像度」を「1125p」に設定してください。（➔86）

大事なお知らせ
視聴
録る
見る/聞く
編集
残す
便利機能
必要なとき

もくじ

さあ 使ってみよう

大事なお知らせ

視聴

録る

もし 困ったとき

必要なとき

音声ガイドについて
音声ガイドは音声で操作を案内する機能です。
音声ガイドは本書中の左マークのある箇所で働きます。

もくじに が付いている項目は音声ガイドが働きます。

録る（つづき）

見る/聞く

編集

残す

便利機能

大事なお知らせ / 視聴 / 録る / 見る/聞く / 編集 / 残す / 便利機能 / 必要なとき

本書内の表現について

参照していただくページを（➜○○）、別冊の取扱説明書準備編で参照していただくページを（➜準備編○○）で示しています。
この取扱説明書における本体及び画面イラストはDMR-EX350のものです。

使えるディスク・カードについて

使用するディスクによって、様々な特徴があります。目的に合わせてディスクをご使用ください。

デジタル放送を録画したい場合は?

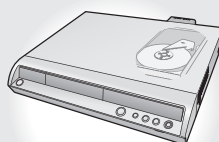
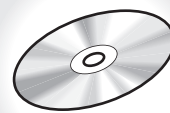
内蔵HDD　CPRM対応 DVD-RAM　CPRM対応 DVD-R（VR方式）

に録画できます。

CPRM対応 DVD-R DL（VR方式）にはHDDからのダビング時のみ使用できます。

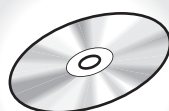
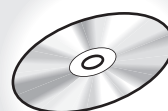
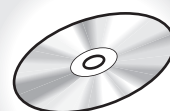
内蔵HDD以外はハイビジョン画質のまま録画することはできません。

DVD-Rに録画するには… ディスクに録画する前に、フォーマットが必要です。(➜77)

何度でも繰り返し録画できるディスクはどれ?

内蔵HDD　DVD-RAM　DVD-RW（DVD-Video方式）

が繰り返し録画できます。

ディスクの残量が少なくなった場合は… 不要な番組を消去してください。(➜53)

録画した番組の入ったディスクを他の機器で再生したい場合は?

DVD-R（DVD-Video方式）　DVD-RW（DVD-Video方式）　+R

に記録することをおすすめします。

これらのディスクに記録したあと

ファイナライズを行うと… ➜ 市販のDVDビデオと同じようなディスクができあがります。

DVDプレーヤーなどの対応機器で再生することができるようになります。

- ファイナライズを行っていない場合や、その他のディスクの場合は、その機器がそれぞれのディスク（記録方式）の再生に対応している必要があります。

ファイナライズとは

記録したディスクを他のDVD機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。録画や編集はできなくなります。(操作方法は➜78)

フォーマットとは

記録前や他機器で使用したディスクを本機で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。(操作方法は➜77)

記録方式について

本機では以下の記録方式で記録します。録画や再生の目的に合わせてディスクをご使用ください。

デジタル放送を録画したい場合はこちら

VR(ビデオレコーディング)方式

テレビ放送などを記録･編集するために作られた記録方式です

特長

●デジタル放送などの「1回だけ録画可能」の番組を記録できます。(CPRM対応ディスクのみ)
●番組の不要な部分を消したり、プレイリストの作成などの編集ができます。

制限事項

●他のDVD機器で再生するには、そのディスクのVR方式の再生に対応している必要があります。

対応ディスク

DVD-RAM DVD-R DVD-R DL

に、この方式で記録できます。

他のDVD機器でも再生したい場合はこちら

DVD-Video(DVDビデオ)方式

市販されているDVDビデオと同じ記録方式です

特長

●本機で記録したディスクをファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できるようになります。

制限事項

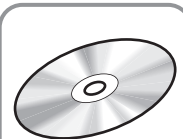
●デジタル放送などの「1回だけ録画可能」の番組を記録することはできません。
●番組の不要な部分を消したり、プレイリストの作成などの編集はできません。

対応ディスク

DVD-R DVD-R DL DVD-RW

に、この方式で記録できます。

DVD-R と DVD-R DLは両方の記録方式で記録できるみたいだけど、どうすれば記録方式を分けることができるの?

本機では**フォーマット(初期化)**するかしないかで分けることができます。

未使用の DVD-R DVD-R DL

フォーマットすると → **VR方式** で記録します

フォーマット方法については(➜77)

フォーマットしないで記録すると → **DVD-Video方式** で記録します

デジタル放送を記録するにはフォーマットが必要なんだね。

いったん記録またはフォーマットすると後から記録方式を変更することはできません。

使えるディスク・カードについて（つづき）

記録、再生ができるディスク

ディスクの種類	ロゴ	記録方式	本書での表示	特徴 フォーマット（初期化）が必要か?	特徴 記録できるもの	特徴 繰り返し記録
内蔵HDD（ハードディスク）	−	−	HDD	−	ビデオ 写真	○
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	VR方式	RAM	必要 ※2	ビデオ 写真	○
DVD-R	DVD R R4.7	VR方式	-R(VR)	必要	ビデオ	×
		DVD-Video方式	-R(V) ファイナライズ前 DVD-V ファイナライズ後	不要	ビデオ	×
DVD-R DL（片面2層）	DVD R R DL	VR方式	-R DL(VR)	必要	ビデオ	×
		DVD-Video方式	-R DL(V) ファイナライズ前 DVD-V ファイナライズ後	不要	ビデオ	×
DVD-RW	DVD R W	DVD-Video方式	-RW(V) ファイナライズ前 DVD-V ファイナライズ後	必要	ビデオ	○
+R ※1	−	−	+R ファイナライズ前 DVD-V ファイナライズ後	不要	ビデオ	×

●ディスクの対応バージョンや速度については101ページ「主な仕様」をご覧ください。
●ディスクに記録できる時間は30ページ「録画の画質と時間について」をご覧ください。

繰り返し記録ができないディスクでは、番組を消去してもディスク残量は増えません。詳しくは**53ページ**「消去後のディスクの残量について」をご覧ください。

※CPRM 対応ディスクのみ

●ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。ディスクや関連機器の互換性などの情報は、当社ホームページをご覧ください。（ http://panasonic.jp/support/dvd/）

※1 本機で記録された+Rと他の当社製DVDレコーダーで記録された+Rは、互いの機器で使用できない場合があります。ただし、ファイナライズされたディスクは互いの機器で再生することができます。
※2 市販のディスクには録画用にフォーマット済みのものがあります。その場合はフォーマットの必要はありません。
※3 RAM :当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。（2006年3月現在）
-R(VR) :2005年7月以降に発売された当社製DVDレコーダーでは再生できます。（2006年3月現在）
-R DL(V) :DVD-R DL（DVD-Video方式）に対応した機器で再生してください。
-R DL(VR) :DVD-R DL（VR方式）に対応した機器で再生してください。

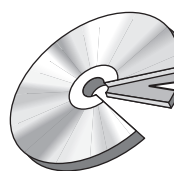
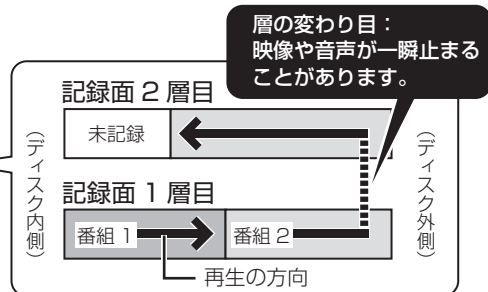
直接録画	本機でできること					互換性※3
	「1回だけ録画可能」のデジタル放送を記録	デジタル放送の画質や音声をそのまま記録	二重放送の主/副音声を両方記録	16:9映像をそのまま記録	プレイリスト作成・編集	他のDVD機器で再生
○	録画モード **DR** **ビデオDR** ○	○	○	○	×	ー
	録画モード **XP~EP、FR** **ビデオ** ○	×	○	○	○	ー
○	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	○	○	DVD-RAM対応機器でのみ可能（ファイナライズは不要です）
○	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	○	○	DVD-R（VR方式）対応機器でのみ可能（ファイナライズが必要な場合があります）
○	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	ファイナライズが必要
×※4	○ CPRM対応ディスクのみ	×	○	○	○	DVD-R DL（VR方式）対応機器でのみ可能（ファイナライズが必要な場合があります）
×※4	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	ファイナライズ後にDVD-R DL（DVD-Video方式）対応機器でのみ可能
○	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	ファイナライズが必要
○	×	×	×	× 4:3映像で記録	×	ファイナライズが必要

詳しくは**32ページ**「デジタル放送の録画について」をご覧ください。

詳しくは以下のページをご覧ください。
31ページ「アナログ放送や外部入力からの録画にかかる制限」
33ページ「音声多重放送の録画について」

※4 **本機ではDVD-R DL（片面2層）ディスクに直接録画できません。**
一度HDDに録画してからダビングして記録してください。

DVD-R DL（片面2層）ディスクを再生するとき

DVD-R DL（片面2層）ディスクは、右図のように、記録面が片面に2層あります。1層目に収まりきらなかった番組は、引き続き2層目に記録され、2つの層にまたがって記録されます。**（➜右図「番組2」）**このような番組を再生する場合、層の切り換えは本機が自動的に行いますので、通常の番組と同じく全編を通して再生できますが、層の変わり目で、映像や音声が一瞬止まることがあります。

使えるディスク・カードについて(つづき)

再生のみできるディスク

ディスクの種類 本書での表示	ロゴ	特徴
DVDビデオ DVD-V		映画や音楽など、高画質の市販ソフト。 ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。 「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) • 番号は国により違います。
DVDオーディオ DVD-A		高音質の音楽用市販ソフト ●マルチチャンネルDVDオーディオには、制作者の意図によりダウンミックス(➜104)が禁止されているものがあります。
DVD-RW **(VR方式)** -RW(VR)		他のDVDレコーダーのVR方式で録画されたDVD-RW ●CPRM対応ディスクに録画された「1回だけ録画可能」な番組の再生もできます。 ●フォーマット(➜77)すると、本機ではDVD-Video方式で録画できます。 ●録画した機器でファイナライズ(➜104)を行わないと再生できないものがあります。
CD CD		●音楽や音声が記録された市販ソフト(CD-DA形式で記録した CD-R や CD-RW を含む※) ●MP3 圧縮形式(➜右ページ)で音楽が記録されたCD-RやCD-RW※ ●写真(JPEGやTIFF)が記録されたCD-RやCD-RW※
ビデオCD VCD		音楽や映像が記録された市販ソフト(ビデオCD形式で記録したCD-R や CD-RW を含む※)
+R DL(片面2層) DVD-V	–	他のDVDレコーダーで録画された+R DL(片面2層) ●録画した機器でファイナライズ(➜104)を行ったディスクのみ再生できます。
+RW DVD-V	–	他のDVDレコーダーで録画された+RW ●録画した機器でファイナライズ(➜104)を行わないと再生できないものがあります。

※記録状態によって再生できない場合があります。
●ソフト制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。詳しくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

本機で使えないディスク

●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM(12 cm)
●3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズ(➜104)されていないDVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL(DVD-Video 方式)、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R
●PAL方式で記録されたディスク(DVDオーディオの音声は再生できます)
●リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
●ブルーレイディスク
●DVD-ROM ●+R(8cm) ●CD-ROM
●CDV ●CD-G ●Photo-CD ●CVD
●SVCD ●SACD ●MV-Disc ●PD など

本機で使えるカード

カードの種類 本書での表示	特 徴
SDメモリーカード miniSD™カード※ マルチメディアカード SD	●デジタルカメラなどで撮った写真の再生(➜48)やダビング(➜74)ができます。 ●写真のプリント枚数の設定(DPOF設定)ができます。(➜59) ●当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2動画をHDDやDVD-RAM、DVD-R(VR方式)、DVD-R DL(VR方式)にダビングできます。(➜70) ●MPEG2動画をSDカードから直接再生することはできません。

※ miniSD™ カードは、必ず専用の miniSD™ アダプターに装着してご使用ください。

使用可能な SD メモリーカードについて

本機では以下の容量(8MB ～ 2GB まで)の SD メモリーカードが使用できます。

8MB、	16MB、	32MB、	64MB、	128MB、
256MB、	512MB、	1GB、	2GB まで	

●使用可能領域は表示容量より少なくなります。
●**最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
http://panasonic.jp/support/dvd/
●SD メモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。
また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
このようなときは本機でフォーマットしてください。(➜77)
●本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカードに対応しています。

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

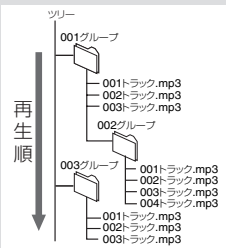
本機で再生できる MP3 や写真(JPEG/TIFF)について

	項目	内容
MP3	再生可能ディスク	CD
	ファイル形式	MP3 ●ファイル名の拡張子に「mp3」、「MP3」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
	フォルダ数(グループ数)	ディスク上にルートを含む最大 99 フォルダ
	ファイル数(トラック数)	ディスク上の最大 999 ファイル
	ビットレート	32kbps ～ 320kbps まで
	サンプリング周波数	16kHz/22.05kHz/24kHz/32kHz/44.1kHz/48kHz
	ID3 タグ	対応していません
写真 JPEG/TIFF※	再生可能ディスク・カード	HDD RAM SD CD
	ファイル形式	JPEG、TIFF[非圧縮 RGB(点順次)方式] ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」、「tif」、「TIF」 と書かれたファイル(半角英数字のみ)
	画素数	34 × 34 ～ 6144 × 4096 (サブサンプリングは、4:2:2 または 4:2:0)
	フォルダ数	CD ディスク上にルートを含む最大 99 フォルダ HDD RAM SD 上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
	ファイル数	CD ディスク上の最大 999 ファイル HDD RAM SD 最大 3000 ファイル
	MOTION JPEG	対応していません

※表示する動作に時間がかかることがあります

CD
● ISO9660 level1 と level2(拡張フォーマットは除く)、Jolietのフォーマットが使用できます。
●マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いとディスクの読み込みや再生開始に時間がかかることがあります。
●ファイル数(トラック数)やフォルダ数(グループ数)が多い場合、動作に時間がかかったり、対応できないことがあります。
●表示可能な漢字コードは、JIS第一水準、JIS第二水準のみです。それ以外の漢字コードは正しく表示されません。
●本機画面とパソコン画面では表示順が異なることがあります。
●ディスクの作り方(書き込みソフト)によっては、再生順が変わることがあります。
●パケットライト方式には対応してません。
●記録状態によっては再生できないものがあります。

HDD RAM SD
●DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。
DCF:Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格]

CD
MP3のフォルダ構成
再生したい順番を指定する場合は、右図のように桁数を揃えた数字を付けたフォルダ構成にしてください。

RAM CD SD
写真(JPEG/TIFF)のフォルダ構成については(➜104)

大事なお知らせ

受信できるテレビ放送について

B-CAS カードを挿入しないとデジタル放送は映りません。

放送の種類 本書での表示	特徴	本機で利用できるサービス (用語については ➔104)
地上デジタル 地上デジタル	UHF帯の電波を使って行う放送で、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006 年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。 高品質の映像と音声、更にデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(２００６年３月現在) **本機では、ワンセグ放送(携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送)は受信できません。**	テレビ番組ガイド (EPG) 字幕放送 双方向サービス AAC
BS デジタル BS デジタル	放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。 ●BS 日テレ、BS 朝日、BS-i、BS ジャパン、BS フジなどは無料放送を行っています。 ●WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。 ●本機では、BSアナログ放送はご覧いただけませんが、より多くのチャンネルをご覧いただけるBSデジタル放送をお楽しみいただけます。	テレビ番組ガイド (EPG) 字幕放送 双方向サービス AAC
110 度 CS デジタル CS デジタル	通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。 ●110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー！ 110」への加入申し込みと契約が必要です。 「スカパー！ 110」にはCS1 とCS2 の2 つの放送サービスがあります。 **お問い合わせ先** 「スカパー！ 110」カスタマーセンター 0570 - 012 - 110 (ナビダイヤル)(携帯電話･PHS のかたは 045 - 339 - 0002) 受付時間　10:00 ～ 20:00(年中無休) 「スカパー！110」公式ホームページ　http://www.skyperfectv110.jp/	テレビ番組ガイド (EPG) 字幕放送 双方向サービス AAC
地上アナログ 地上アナログ	従来からの VHF/UHF 放送のことです。(2006 年３月現在) 地上アナログ放送は、2011 年７月に終了することが国の方針として決定されています。地上アナログ放送終了後は、地上アナログ放送に関する機能は、お使いいただけません。 本機では地上アナログ放送で電波のすきまで送られてくる文字放送(字幕)は、ご覧いただけません。	テレビ番組ガイド (EPG) ●BSデジタル放送受信の環境が必要です。 **(➔準備編28)**

BS アナログの WOWOW は BS デジタル放送のチャンネルの一部として、「スカパー！」は「スカパー！110」として 110 度 CS デジタル放送で、お楽しみいただけます。すでにご契約されていた場合は、再契約が必要になり、専用デコーダーなどは不要になります。(放送内容は異なりますので、再契約をされる場合は内容をご確認ください。)

デジタル放送には、3種類の放送があります。

■テレビ放送

従来からのテレビ放送です。

■ラジオ放送　本機では録画できません

静止画像など

音楽など音声を主とした放送です。

■データ放送　本機では録画できません

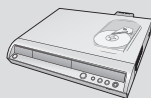
お住まいの地域の生活情報やクイズなどの放送です。(天気予報やニュースなど)

ラジオ放送は、BS デジタルと 110 度 CS デジタルの一部でのみ、実施されています。(2006 年 3 月現在)

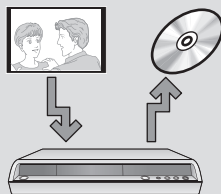
ハードディスク
HDD の取り扱い

HDD は記録密度が高く、長時間記録や高速頭出しができる反面、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。
取り扱いにご注意ください。

HDDは振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な破損や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

HDDは一時的な保管場所です

HDD は、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集や DVD ディスクにダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。※

※ハイビジョン画質で録画したデジタル放送の番組を、そのままの画質や音質でダビングすることはできません。

HDDに異常を感じた場合はすぐにダビング（バックアップ）を…

back up!

HDD内に不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにDVDディスクにダビングし、修理をご依頼ください。
※HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

本機から HDD の動作音が聞こえるんだけど故障？

故障ではありません。

本機では、HDDの品質維持のため、自動的に内部点検を行っています。以下の状態のときに、本機から音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

- HDDが休止状態になるとき
- 電源切/入時
- 番組表（Gガイド）データを受信中
- 昼の12時ごろに時刻の誤差を自動修正中
- 予約録画終了時または午前4時ごろ（1週間に一度程度）に、本機全体を自動的に再起動しているとき

HDDは自動的に休止状態になります。

通電中、HDDは高速で回転しています。省電力のため、ディスクトレイにディスクが入っていない状態で約30分以上操作しないとHDDの回転を止め、休止します。HDDを休止状態にするために、お使いにならないときはディスクを取り出しておくことをおすすめします。

- 起動に時間がかかるため、休止状態からの録画や再生はすぐに始まりません。**（「クイックスタート」（➜83）が「入」になっていても同様です。）**

重要なお願い

設置時

- 後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがない
- 水平で、振動や衝撃が起こらない場所に設置する
- ビデオなどの熱源となるものの上に置かない
- 温度変化が起こりやすい場所に設置しない
- 「つゆつき」が発生しにくい場所に設置する

本機
ビデオ

つゆつきとは…温度差が激しいため、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象。

「つゆつき」が発生しやすい状況
- 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
- 部屋の湿度が高いとき（湯気が立ち込めるなど）
- 梅雨の時期

上記の場合は、部屋の温度になじむまで、**電源を切ったままにしておいてください。**（約2～3時間）

たばこの煙など

たばこの煙、くん煙殺虫剤（煙をたくタイプの殺虫剤）などが機器内部に入ると故障の原因になります。

移動させるとき

①電源を切る（表示窓から「BYE」が消える）
②電源プラグをコンセントから抜く
③HDDの回転が完全に止まってから（2分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています。）。

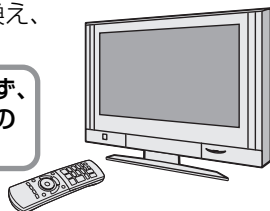
本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

リモコン

本機のリモコンでテレビの操作をする

テレビの電源の入/切やチャンネルの切り換え、音量の調節、入力切換ができます。

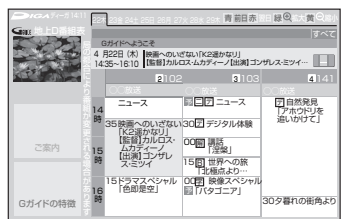
操作できるようにするにはまず、準備編 32 ページでリモコンの設定を変更してください。

操作ガイドを表示する(➜19)

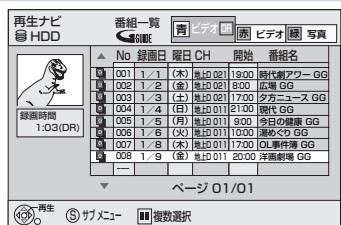
テレビ画面で本機の基本的な操作のほか、困ったときの解決法を見ることが出来ます。

使い方に迷ったときに見ると便利ね！

番組表（Gガイド）を表示する(➜26)

番組表から見たい番組や録画予約したい番組を選ぶことができます。

番組表から選ぶだけなのでカンタンね！

再生ナビ/ディスクメニューを表示する(➜45)

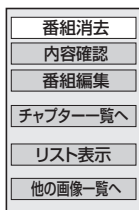
再生ナビ画面から、見たい番組や写真を探すことができます。

操作一覧を表示する(➜20)

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。

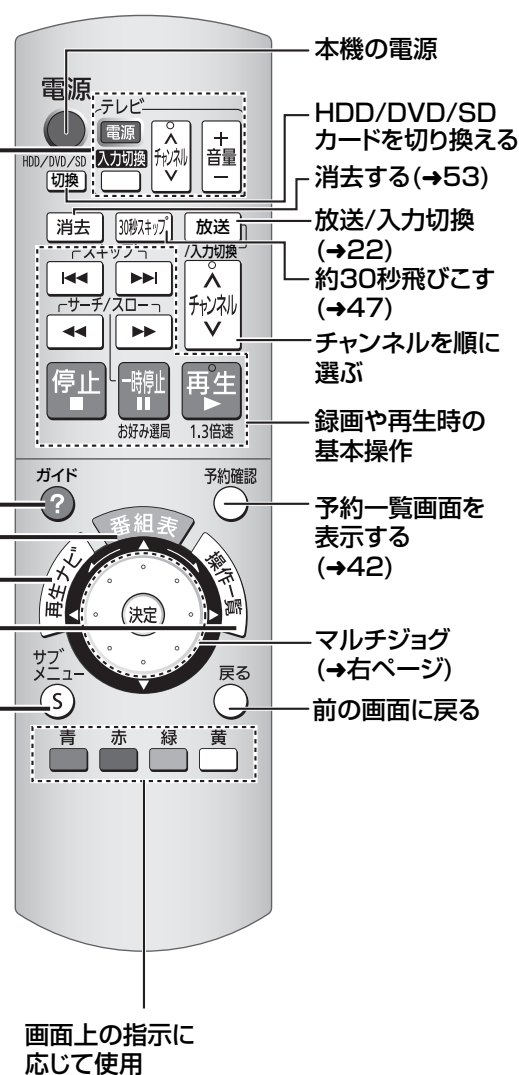
「その他の機能へ」を選ぶと、その他の操作一覧を表示します。

サブメニューを表示する

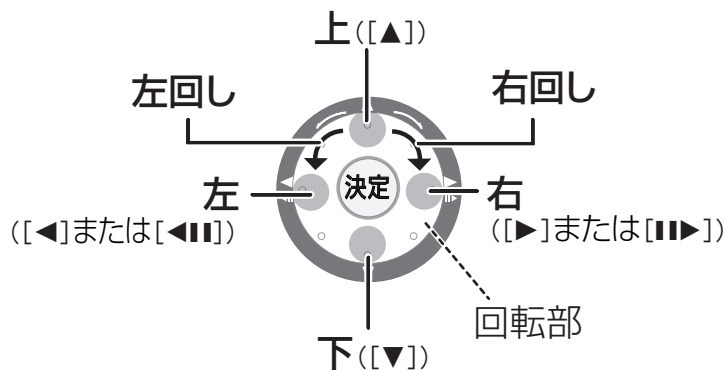
現在表示している画面での便利機能を表示します。

例えば再生ナビ画面表示中だと

が表示されて編集などを行うことができます。

ふたを開けると

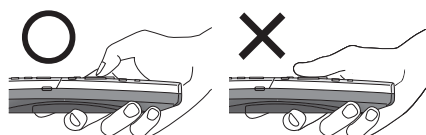
- 本機の電源
- HDD/DVD/SDカードを切り換える
- 消去する(➜53)
- 放送/入力切換(➜22)
- 約30秒飛びこす(➜47)
- チャンネルを順に選ぶ
- 録画や再生時の基本操作
- 予約一覧画面を表示する(➜42)
- マルチジョグ(➜右ページ)
- 前の画面に戻る
- 画面上の指示に応じて使用

市販のDVDビデオやDVDオーディオで使用するボタンについて

「リターン」は[戻る]、「トップメニュー」は[再生ナビ]、「メニュー」は[サブメニュー]ボタンで操作します。
（詳しくはディスクの説明書をご覧ください。）

マルチジョグのはたらき

●コマ送り / コマ戻し：（一時停止中)左右 ([◀II] [II▶]) を押す
●早送り / 早戻し：(再生中)右(送り)または左(戻し)に回す
●スロー再生：(一時停止中)右(送り)または左(戻し)に回す

お願い

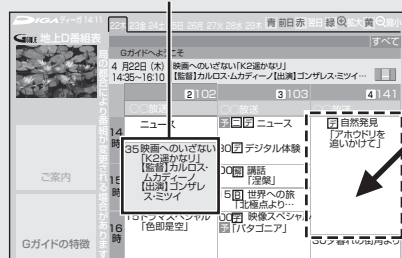
誤操作を避けるために以下のことに気をつけてください。

●マルチジョグを回すときはあまり強く押さないでください。
●(決定)を押すときは周囲の回転部を一緒に押さないように指を立てて、軽く押してください。(➜下図)

画面上での選択と決定について

選択方法は

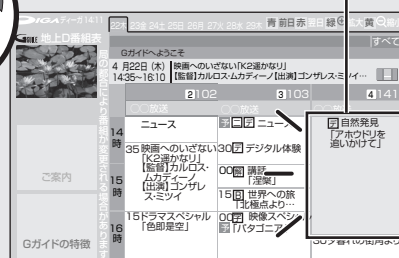
上下左右([▲][▼][◀][▶])を押して選択する
（左右に回して選ぶこともできます。）

【例えば】

今選ばれている番組が黄色になっています。

上下左右([▲][▼][◀][▶])を押して選びたい番組が黄色になるようにします。

決定方法は

(決定) を押す
選ばれた項目が実行されます。

黄色になっている状態で…

(決定) を押します

本書内で下記の記載があるときはこの操作を行ってください。

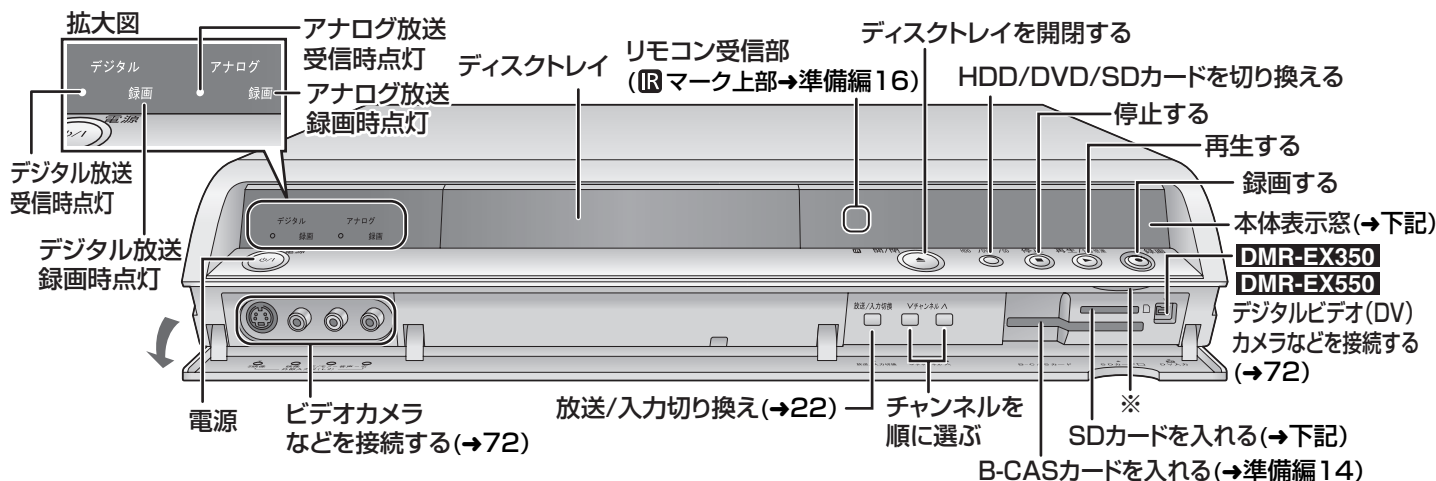
または

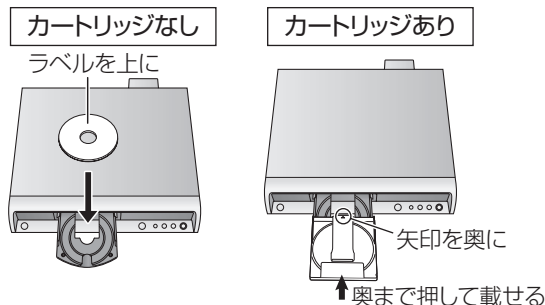
基本操作

または

([▲][▼][◀][▶])で「○○○○」を選び、(決定) を押す

各部のはたらき（つづき）

本体

※FLディマー（➜85）が「常時 明」に設定されている場合、本機が動作状態になると青く光ります。

ディスクの入れ方

本体の［▲開 / 閉］を押してトレイを開き、ディスクを入れる
（もう一度を押すと、トレイが閉まります。）

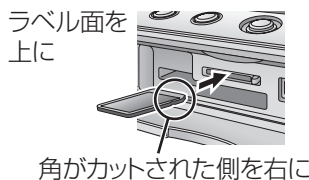
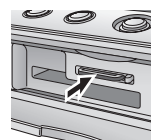
- 8 cm のDVD-RAM やDVD-Rの場合、カートリッジからディスクを取り出し、みぞに合わせてディスクを入れてください。
- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側のラベル面を上にして入れてください。両面にまたがって記録または再生することはできませんので、もう一方の面を使用するときは、いったんディスクを取り出し、裏返してください。

SDカードの入れ方/出し方

本体表示窓右側の “SD”（➜ 下記）点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。このとき、電源を切ったり、カードを取り出したりすると、本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりすることがあります。

- miniSD™ カードは、必ず専用の miniSD™ アダプターに装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例）

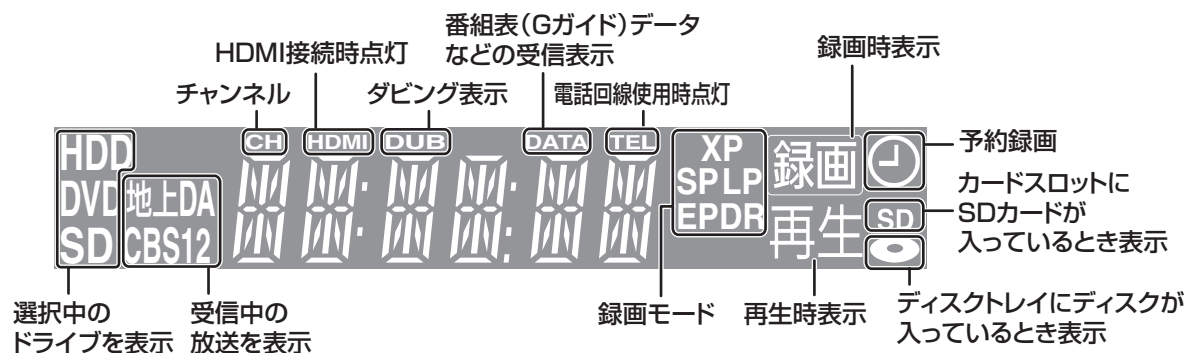
入れ方　カードを奥までまっすぐ差し込む

出し方　カードの中央部を押してロックを外し、まっすぐ引き出す

自動ドライブ選択機能

RAM ［誤消去防止（➜77「カートリッジ付きDVD-RAMやカードの場合」）を設定したディスクのみ］ DVD-V DVD-A VCD CD

停止中またはHDD録画中、ディスクを入れると自動的にDVDドライブに切り換わります。
ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉めると自動的にHDDドライブが選ばれます。

SD

停止中、SDカードをスロットに入れると、「SDカードの操作」画面が表示されます。そのとき項目を選び、［決定］を押すとSDドライブに切り換わります。（詳しくは➜48、74）
SDカードを取り出すと、自動的にHDDが選ばれます。

本体表示窓

操作ガイドについて

本機の HDD での基本的な操作のほか、困ったときの解決法をテレビ画面でご覧になれます。再生や録画中に見ることはできません。

1 停止中に ガイド ? を押す

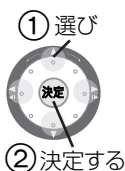
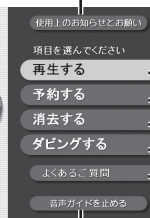
2 知りたい項目を選び、決定 を押す

この操作を繰り返して、知りたい情報を選んでください。

☞**前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞**画面を消すには**

ガイド を押す

HDD に録画した番組について

本機では、録画モード「DR」で録画した番組を「ビデオ ＤＲ」の番組、録画モード「XP」〜「EP」、「FR」で録画した番組を「ビデオ」の番組として再生ナビ画面などでは別々に管理しています。

デジタル放送から録画

アナログ放送や外部入力から録画

録画モード「DR」で録画するとハイビジョン画質のまま録画できます。

録画モード「DR」

録画モード「XP」〜「EP」、「FR」

録画モード「XP」〜「EP」、「FR」

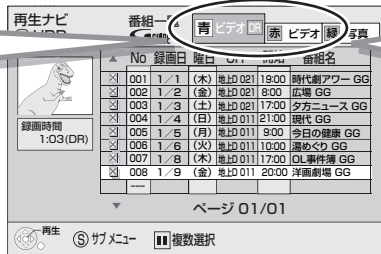
「ビデオDR」の番組

「ビデオ」の番組

録画された番組は、再生ナビ画面などでは「ビデオDR」と「ビデオ」の番組として別々に管理されます。

青 を押すと

青 ビデオ DR 赤 ビデオ 緑 写真

「ビデオDR」の番組一覧へ

赤 を押すと

青 ビデオ DR 赤 ビデオ 緑 写真

「ビデオ」の番組一覧へ

大事なお知らせ

操作一覧画面について

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。

☞**前の画面に戻るには**

戻る を押す

☞**画面を消すには**

戻る を数回押す

1 **停止中に 操作一覧 を押す**

操作一覧画面が表示されます。

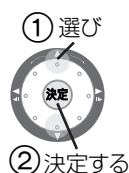
ディスクによって、選択できる項目は異なります。

例) **HDD**

※1 **DVD-V** **DVD-A** **VCD** のときは「トップメニュー」や「メニュー」が表示されます。

※2 **SD** のときは「写真(JPEG) 一括取込」(**➜74**)が表示されます。

※3 ディスクのときは「DVD 管理」、SD のときは「カード管理」が表示されます。

2 **操作したい項目を選び、決定 を押す**

VIERA Link (HDAVI Control) を使う

VIERA Link (HDAVI Control) とは
VIERA Link (HDAVI Control) 機能に対応した当社製テレビ (VIERA)、アンプを HDMI ケーブルで接続することにより、テレビやアンプとの連動操作が可能になる便利な機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

準備

1. 本機と VIERA Link (HDAVI Control) に対応した当社製テレビ (VIERA) を HDMI ケーブルで接続する(**➜ 準備編 10**)
   ●当社製HDMIケーブルを推奨します。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
   品番：RP-CDHG10(1.0m)、RP-CDHG15(1.5m)、RP-CDHG20(2.0m)、RP-CDHG30(3.0m) など

VIERA Link

本機背面

アンプと接続する場合は
(**➜ 準備編 13**)

2. **初期設定**「HDMI 機器制御」(**➜86**) を「入」にする。(お買い上げ時は「入」です。)
3. 接続した機器側（テレビなど）で、VIERA Link(HDAVI Control) が働くように設定する。
4. すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を「切 / 入」したあと、テレビの入力を HDMI 入力に切り換えて、画像が正しく映ることを確認してください。(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください。)

●**初期設定**「クイックスタート」(**➜83**)を「入」にすると、本機の電源入時の連動操作を素早く行うことができます。

自動的にテレビの電源を入れ、入力を切り換える
(テレビの電源が待機状態のときのみ)

下記ボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現われます。

本機電源入時

本機電源切時

自動的に本機の電源を切る

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。
(ダビング中、ファイナライズ中、消去中、[録画 ●] を押して録画中の場合をのぞく)
●VIERA Link(HDAVI Control)に対応したアンプとHDMIケーブルで接続している場合は、アンプの電源も切れます。

テレビのリモコンで本機を操作する

テレビの操作はテレビの取扱説明書をごらんください。

1 テレビのリモコンを使ってディーガの「操作一覧」を表示させる

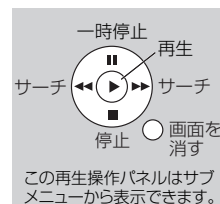
●本機の電源が「切」のときは、自動的に電源が入ります。

☞**操作一覧画面については(➜ 左ページ)**

2 テレビのリモコンで操作したい項目を選び、決定を押す

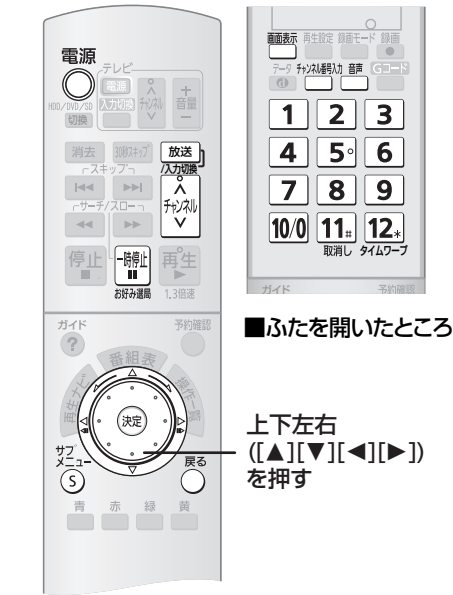
☞**テレビのリモコンで操作できるボタンは**
[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブメニュー] と**色ボタン**で本機の操作ができます。
数字ボタンなどの上記以外のボタンを使って操作するときは、本機のリモコンを使用して操作してください。

再生中の番組を操作する

テレビのリモコンで早送り、停止などの操作ができます。
(再生操作パネル表示中のみ)
1 **番組再生中に、[サブメニュー] を押す**
2 **[▲][▼] で「再生操作パネル」を選び、[決定] を押す**
再生操作パネルが表示されます。
[▲]:一時停止　[▼]:停止　[◀]:早戻し　[▶]:早送り
[決定]:再生　[戻る]:操作パネルを消す

その他の機能については接続した機器(テレビなど)の取扱説明書をご覧ください。

☞**VIERA Link(HDAVI Control) を使わない場合は**
初期設定「HDMI 機器制御」(**➜86**)を「切」にする。

テレビ放送を見る

準備 テレビの電源を入れ、テレビのリモコンで、本機を接続した入力に切り換える。(ビデオ1など)

前の画面に戻るには

戻る を押す

暗証番号の入力画面が表示されたら (➜ 82)

番組購入の画面が表示されたら (➜ 28)

1 電源 **を押して本機の電源を入れる**

2 **を押して放送を選ぶ**

([▲][▼]ではできません。)

表示が消えると、選択された放送に切り換わります。

●「かんたん設置設定」の「地上デジタル放送チャンネルの設定」(➜ 準備編 20)を「いいえ」にした場合、「地上 D」は選択できません。

録画中に放送を切り換える(➜ 35)

受信しない放送をとばして切り換えるには

放送設定「スキップ設定」で「スキップする」を選ぶ。**(➜ 80)**

(すべての放送をスキップすることはできません。)

3 **チャンネルを選ぶ**

右ページの中から、選局方法を選んで行ってください。

リモコンのボタンに割り当てられた放送局(2006 年 3 月現在)

●地上アナログ放送(➜ 準備編 50)

●地上デジタル放送(➜ 準備編 48)

● BS デジタル放送

番号	チャンネル	放送局名
1	101	NHK BS1
2	102	NHK BS2
3	103	NHK ハイビジョン
4	141	BS 日テレ
5	151	BS 朝日
6	161	BS-i
7	171	BS ジャパン
8	181	BS フジ
9	191	WOWOW
10	200	スター･チャンネル
11	700	NHK データ 1
12	701	NHK データ 2

● CS 1(スカパー!110)

番号	チャンネル	放送局名
1	001	スカパー!110 メイト
2	990	生活スタイル TV
3	025	ＢＢＣ ＪＡＰＡＮ
4	991	ＳＨＯＰ ＆ ＴＶ5
5	055	ep055 チャンネル
6	027	
7		
8		
9	091	ActOnTV
10	888	スターチャンネル HV
11		
12	092	Bloomberg

●CS 2(スカパー!110)

番号	チャンネル	放送局名
1	100	スカパー!110 プロモ
2	110	ワンテンポータル
3	123	CS 映画
4	147	ベルーナお買物テレビ
5	250	アクティブ!スポーツ
6	160	C-TBS ウェルカム
7	177	ショップチャンネル
8	258	フジテレビ 739
9	194	AQ ステーション
10	101	宝塚プロモチャンネル
11	290	宝塚スカイ･ステージ
12	232	スター･クラシック

●放送局名やチャンネル番号は、お住まいの地域により異なる場合があります。

●放送局名やチャンネル番号は、実際の表示と異なる場合があります。

テレビ放送の選局方法

数字ボタンで選局する

（地上アナログ）（地上デジタル）（BS デジタル）（CS デジタル）

[1] ～ [12*]（タイムワープ） を押してチャンネルを選ぶ

それぞれのボタンで選べる放送局を変更するには
（➜ 準備編 41、準備編 42、準備編 44「受信チャンネルを修正する」）

順送りで選局する

（地上アナログ）（地上デジタル）（BS デジタル）（CS デジタル）

[∧ チャンネル ∨] を押す

順送りで選べる放送局を変更するには
（地上アナログ）（➜ 準備編 42）
（地上デジタル）（BS デジタル）（CS デジタル）（➜ 82「選局対象」）

３桁チャンネル番号を入力して選局する

（地上デジタル）（BS デジタル）（CS デジタル）

1 [チャンネル番号入力] を押す
●押すたびに選局対象の放送が切り換わります。CS1 と CS2 は "CS" で選んでください。

2 [1] ～ [10/0] を押してチャンネルを入力する （例：103）[1] → [10/0] → [3]
●入力画面が表示されている間に入力してください。

リモコンのボタンに割り当てられた放送局（➜ 左ページ）

お好み選局表から選局する

（地上デジタル）（BS デジタル）（CS デジタル）

テレビ画面に表示される放送局のリストから選局できます

1 停止中に、[一時停止 ▮▮] を押す

2 [▲][▼][◀][▶] で放送局を選び、[決定] を押す
●[一時停止 ▮▮] を押すごとにページが切り換わります。

お好み選局表で選べる放送局を変更するには（➜ 25）

枝番号の異なる放送を選局するには

（地上デジタル）

枝番号とは、地上デジタル放送の同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に 3 桁チャンネル番号に追加される番号のことです。
例）「011-0」、「011-1」、「011-2」
3桁チャンネル番号を入力して選局する（➜上記）と下記画面でチェックマークの入った放送局が選局されます。以下の手順で、ちがう枝番号の放送局を選局することができます。

1 地上デジタル放送を受信中に、[サブメニュー (S)] を押す

2 [▲][▼] で「デジタル放送メニュー」を選び、[決定] を押す

3 [▲][▼] で「枝番選局」を選び、[決定] を押す

4 [▲][▼] で放送局を選び、[決定] を押す

枝番選局 011　枝番切換 CH 切換　選局　戻る
011-0 ✓ LOGO ○○○○○○
011-1 LOGO ○○○○○○

3 桁チャンネル番号入力時に選択される放送局を変更するには
上記手順４で、[決定] を押す前に [チャンネル番号入力] を押す
●選んだ放送局にチェックマークが付き、選局時、その放送局が選ばれます。

地上デジタル放送について

● 3 桁チャンネル番号
デジタル技術により、1 つの物理チャンネルの中に、複数のチャンネルをのせることができます。 例えば、○○放送は、物理チャンネルの 25ch を使って、「101」～「103」の 3 つの放送を提供します。この「101」、「102」、「103」を 3 桁チャンネル番号と呼びます。このうち、下位 1 桁が「1」の放送が、その放送局の代表チャンネルと呼ばれます。（この場合「101」）
代表チャンネル以外の選局は、[∧∨ **チャンネル**] や 3 桁番号入力により、選局できます。

● **リモコンのチャンネルボタン**
テレビ放送の場合、3 桁チャンネル番号の上位 2 桁（上記の場合は「10」）は、リモコンの同じ番号のボタンに割り当てられます。（本機は基本的に自動でこの割り当てを行います）
すなわち、この場合であれば [10/0] を押すと、3 桁チャンネル番号の「101」（その放送局の代表チャンネル）が選局されるように設定されます。この割り当てはお住まいの地域により異なります。（➜ 準備編 48）

テレビ放送を見る(つづき)

番組視聴中の便利な機能

音声を切り換える

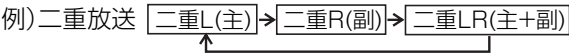
二重放送の「主」「副」の音声などを切り換えます。
デジタル放送で切り換えることができる音声の種類と数は番組により異なります。

[音声] を押す

押すたびに、放送の内容によって切り換わります。

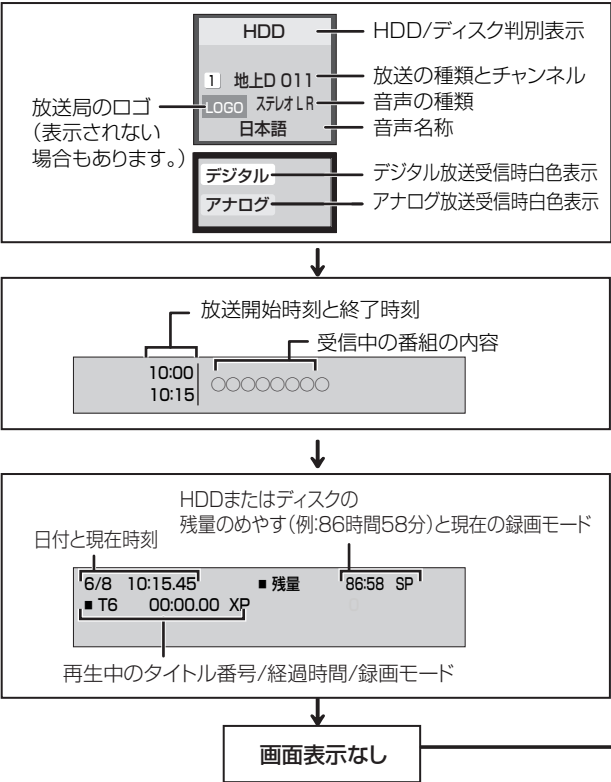
例)二重放送　二重L(主) → 二重R(副) → 二重LR(主+副) →(二重L(主)へ戻る)

例)マルチ音声放送

ステレオLR 日本語 → ステレオL 日本語 → ステレオ　R 日本語
↓
ステレオLR 英語 → ステレオL 英語 → ステレオ　R 英語
↑(ステレオLR 日本語へ戻る)

- **初期設定**「高速ダビング用録画」(**➔84**)が「切」になっていないと、アナログ放送の音声を切り換えることができません。(お買い上げ時の設定は「入」です。)
- 「DVD」選択中、ディスクトレイに **-R(V)** **-R DL(V)** **-RW(V)** **+R** が入っているときアナログ放送の音声を切り換えることができません。
- 録画モードが「XP」で、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP 時〕」(**➔85**)が「LPCM」になっているとき音声を切り換えることができません。
- **HDD** **RAM** **-R(VR)** 録画中に [**音声**] を押しても、記録される音声に影響はありません。

見ている番組の情報を表示する

[画面表示] を押す

- 押すたびに切り換わります。
- 残量表示は記録する入力信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。

(地上デジタル)(BS デジタル)
(CS デジタル)

番組視聴中に

1 サブメニュー (S) を押す

2 [▲][▼]で「デジタル放送メニュー」を選び、(決定) を押す

表示例

デジタル放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示オフ
信号切換
アンテナレベル
枝番選局

3 [▲][▼]で設定項目を選び、(決定) を押す(右記へ)

●視聴している番組により表示される項目が変わります。
●録画中は表示されません。

画面を消すには

戻る を押す

視聴制限一時解除	暗証番号(➔82)を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	デジタル放送の番組で、映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 マルチビュー　主番組 映像　映像１ 音声　日本語 二重音声　主 データ　データ１ 字幕　オン　オフ 字幕言語　日本語　英語 **[▲][▼]で設定する項目を選び、[◀][▶]で設定する** **マルチビュー**：　マルチビュー放送の番組の選択 **映像**：　映像の種類の選択 **音声**：　音声の種類の選択 **二重音声**：　二重放送の音声の選択 **データ**：　データの選択 **字幕**：　字幕の表示 / 非表示 **字幕言語**：　字幕の言語の選択 ●番組により、選べる項目が変わります。 ●マルチビュー放送では、1 つの放送の中に複数の映像があります。ただし、2006 年 3 月現在、マルチビュー対応の放送は、行われておりません。 ●1 つしかないときは切り換えできません。 ● HDD RAM -R(VR) 録画モード「XP」〜「EP」、「FR」で録画した場合、設定した内容(「データ」を除く)のみがそのまま録画されます。再生時にはその設定内容で再生されます。
アンテナレベル	アンテナの受信レベルを表示します。
枝番選局	地上デジタル放送の枝番号を選びます。(➔23)

お好み選局表で選べる放送局を変更するには

1 登録したい放送局を受信中に [一時停止 ❚❚] を３秒以上押して、お好み設定画面を表示させる
2 [▲][▼][◀][▶]で設定したい位置を選び、[決定] を押す

●受信中のチャンネルが、「お好み選局」の設定した位置に登録されます。
●既に登録されている位置に放送局を登録すると、以前の放送局は消去されます。

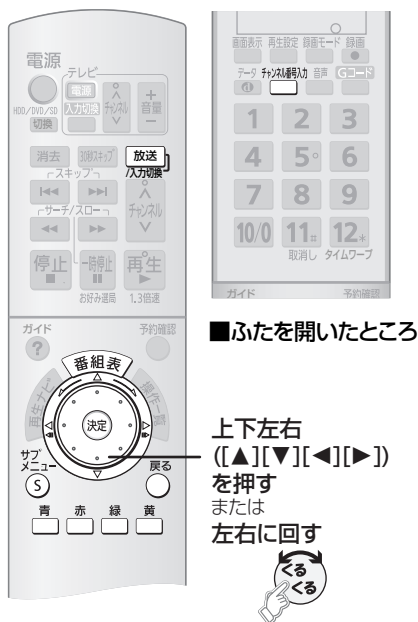
設定したチャンネルを削除するには

削除したい放送局を選び、[一時停止 ❚❚] を 1 秒以上押してください。

番組表(G ガイド)から見る

新聞のテレビ欄のような一覧表から見たい番組を選ぶことができます。
この機能を使うにはまず、**番組表(G ガイド)の受信が必要です。**

地上アナログ放送の番組表(G ガイド)を受信する場合、BS デジタル放送を受信できる衛星アンテナの接続が必要です。

準備 番組表(G ガイド)を受信する。
(➜ 準備編 28)

■ふたを開いたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す
または
左右に回す

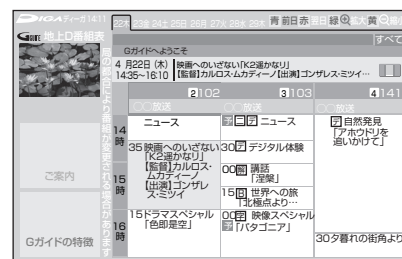
前の画面に戻るには

 を押す

番組表(G ガイド)について

(地上アナログ)
G ガイド地域一覧表(**➜ 準備編 52**)に登録されていない放送局は、放送を見ることはできても番組表(G ガイド)には表示されません。

(地上デジタル)
- 番組データが表示されていない場合は、その局を選んで、**[決定]**を押すと表示されます。(数分かかることもあります。)
- 地上デジタル放送の G ガイドのロゴと広告は、B S デジタル放送が受信可能であれば表示されます。

1 を押す

別の放送の番組表(G ガイド)を見たいとき

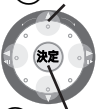
放送/入力切換 を押す
次のように番組表(G ガイド)が切り換わります。
地上 A → 地上 D → BS → CS1 → CS2

2 見たい番組を選び、(決定) を押す

アイコン表示については(**➜102**)

(地上デジタル)(BS デジタル)(CS デジタル)
[チャンネル番号入力]を押して、3 桁のチャンネル番号を入力すると、そのチャンネルを含む番組表(Gガイド)を表示させることができます。

3 「今すぐ見る」を選び、(決定) を押す

① 選び
② 決定する

番組表(G ガイド)の見方

- G ガイドのロゴと広告は表示されない場合があります。
- 機器ごとに広告のデータ取得タイミングが異なるために、表示される内容が異なることがあります。
- 現在視聴中の放送局は、一番左に追加表示されます。そのため、画面内に同じ放送局が２つ表示される場合があります。

番組表(G ガイド)での便利機能

別の日の番組表(G ガイド)を見るには	**前日**：青 を押す　**翌日**：赤 を押す
番組表(G ガイド)を縮小･拡大するには	**拡大**：緑 を押す　**縮小**：黄 を押す

番組表(G ガイド)表示中に

1 [サブメニュー] を押す
2 [▲][▼] で項目を選ぶ

右記へ

表示される内容は放送によって異なります。

➡

視聴制限一時解除	（デジタル放送の番組表のみ） **[決定]** を押す 暗証番号(➜82)を入力して視聴制限を一時解除します。
番組データ取得	（地上デジタル放送の番組表のみ） **[決定]** を押す 選択した局の番組情報を受信します。
表示内容	番組表(G ガイド)で表示させる内容を変更します。 **[◀][▶]** で表示させたい放送の種類を選び、**[決定]** を押す **お好み**：リモコンの [1] から [12] に設定されているチャンネルとデジタル放送のチャンネルで設定した 13 ～ 36 までのチャンネル **テレビ**：テレビ放送(映像 + 音声)のチャンネルのみの番組表(G ガイド) **ラジオ**：ラジオ放送(音声のみ)の番組表(G ガイド) **データ**：データ放送の番組表(G ガイド) **すべて**：受信できるすべての番組表(G ガイド)
パネル広告へ	**[決定]** を押す パネル広告欄に移動します。
テキスト広告へ	**[決定]** を押す テキスト広告欄に移動します。
放送切換	別の放送の番組表(G ガイド)を表示させます。 **[◀][▶]** で表示させたい放送を選び、**[決定]** を押す

データ放送 / 有料番組を見る

（ペイ・パー・ビュー）

データ放送は

(地上デジタル) (BS デジタル) (CS デジタル)

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。データ放送が含まれるテレビ番組の場合、録画が始まるとデータ画面が消えます。

準備 電話回線を接続する。(➜準備編17)
(データ放送の場合、サービスの種類によっては電話回線を使うときがあります。)

有料番組は

(BS デジタル) (CS デジタル)

衛星デジタル放送には、無料と有料のものがあります。

- 有料番組を見るには、放送会社との契約と電話回線の接続が必要です。
- ペイ・パー・ビュー(番組単位で購入)を視聴・録画するには、右記の購入操作が必要です。

準備 電話回線を接続する。(➜準備編17)

前の画面に戻るには

 を押す

データ放送を見る

1 データ放送のある番組を選局し、[データ d] を押す

- 情報が多いときは、表示が出るまでに時間がかかる場合があります。

2 見たい項目を選び、[決定] を押す

- 番組により、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や数字ボタンを使った選択画面が表示されますので、その指示に従ってください。
- お好みページの登録案内が表示されたときは、画面の指示に従ってください。

お好みページを使うには(➜79)

データ画面を消すには

[データ d] を押す

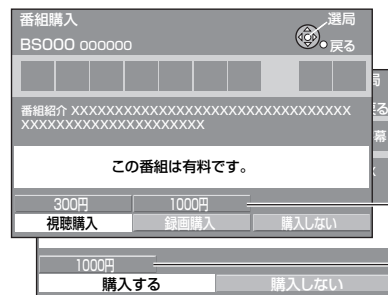
データ画面が消えない場合は、「データ放送表示オフ」を行ってください。(➜25)

有料番組を見る

1 ペイ・パー・ビューの番組を選局し、[決定] を押す

- 番組によってはプレビュー(有料番組の購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービス)画面が表示されます。

2 項目を選び、[決定] を押す

- 番組により、選べる項目が変わります。

購入する: 番組を購入したことになり、視聴できます。「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。

購入しない: 番組を購入しません。

視聴購入: 料金を払うと視聴できますが、「録画禁止」の信号のある番組は録画できません。

録画購入: 料金を払うと視聴と録画ができます。

購入した有料番組の確認 / 送信結果の確認をするには(➜79)

データ放送 / 有料番組の確認をする

データ放送や有料番組の確認は、番組表(G ガイド)からできます。

1 [番組表] を押す

2 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定] を押す

データ放送では [+d ラジオ] [+d テレビ] [d テレビ] [d ラジオ] 有料放送では [有料] が表示されます。(➜102)

●アイコンが表示されない番組もあります。

データ放送画面での文字入力

データ放送を表示中、画面に説明された操作をしたときに、次のような文字入力画面(キーボード表示)が表示される場合があります。

例）入力モードが「かな」のとき

この文字入力画面は、プロキシの設定(➜ 準備編 40)でも表示されます。

[▲][▼][◀][▶] で入力する文字を選び、[決定] を押す

☞ 画面上のキーボードの表示位置を移動させたいときは

[緑] **を押す**

☞ 文字の種類を選ぶには

[赤] **を押す**

押すたびに(かな→カナ→英数)に切り換わります。

●漢字を入力するときは「かな」を選びます。

●英数のみが入力できる項目のときは、「英数」に固定されます。

☞ 文字を確定するには

[黄] **を押す**

☞ ひらがなを漢字変換するには

[青] **を押し、[▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す。**

☞ 記号を入力するには

1 “きごう”と入力する

2 [青] を押す

●画面上のキーボードが消え、記号を表示します。

●他の記号に変換したいときは、[▼] を押し、候補の中から選び、[決定] を押します。

お知らせ

●電話回線での通信中は、本体の表示部に“TEL”が点灯します。このときは、電源ボタン以外が動作しなくなることがありますが、故障ではありません。また、同じ回線に接続された電話機などが使えません。“TEL”が消えるまでしばらくお待ちください。

●電話回線の使用時には回線接続料がかかります。

有料番組について

●「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているため、本機へ録画することはできません。

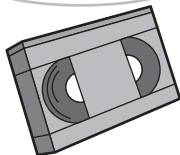
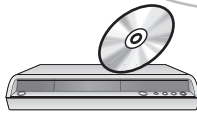
●購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。

● 一度視聴購入をした番組は、録画購入できません。

録画について

ビデオテープのように録画部分を気にする必要はありません

ディスクに残量があるかぎり、自動的に未記録の部分に記録を行います。

●残量がない場合は番組を消去してください。(➔53)

録画の画質と時間について(録画モード)

DR(ダイレクトレコーディング)

デジタル放送をデジタル信号のまま HDD に録画しますので、ハイビジョン画質やサラウンド音声などもそのままの状態で記録できます。(データ放送は録画されません。)
複数の映像や音声を含む番組を録画した場合、再生時に映像や音声を切り換えることができます。

XP(高画質)〜EP(長時間録画)

録画モードを高画質にするほど、録画番組の画質は向上しますが、ディスクの容量を多く使い、記録できる時間は少なくなります。

これらの録画モードでデジタル放送を HDD に録画したいときは、**初期設定**「デジタル放送録画モード DR 固定」(➔84)を「切」にしてください。

FR(フレキシブルレコーディング)

ディスクの残量に合わせて XP 〜 EP(8H)の間で画質を自動調整します。HDD 録画時に選ぶと、4.7 GB のディスクにぴったりダビングができるように調整します。
ぴったり録画(➔35)や予約録画、ダビング時にのみ設定できます。

予約録画時に、この録画モードでデジタル放送を HDD に録画したいときは、**初期設定**「デジタル放送録画モード DR 固定」(➔84)を「切」にしてください。

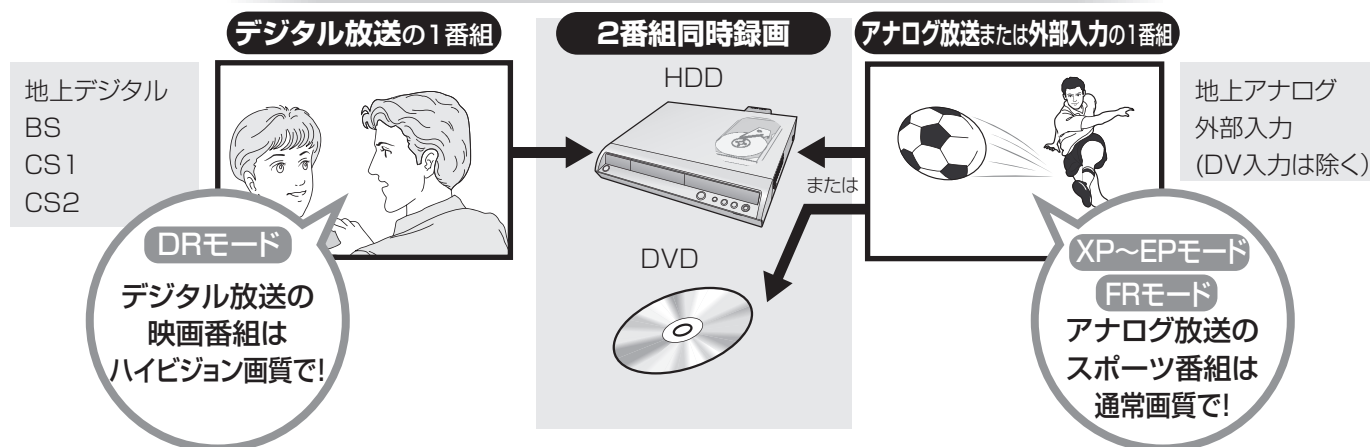
点灯

ディスク / 録画モード			HDD(内蔵)			DVD-RAM		DVD-R DVD-RW +R (4.7GB)	DVD-R DL※1 (8.5GB)
			DMR-EX150 (200GB)	DMR-EX350 (400GB)	DMR-EX550 (500GB)	片面 (4.7GB)	両面※2 (9.4GB)		
DR※3	BS デジタル	HD 放送 (<24Mbps)	約 18 時間	約 36 時間	約 45 時間				
		SD 放送 (<12Mbps)	約 36 時間	約 72 時間	約 90 時間				
	地上デジタル	HD 放送 (<17Mbps)	約 25 時間 15 分	約 50 時間 30 分	約 63 時間				
XP(高画質)			約 44 時間	約 89 時間	約 110 時間	約 1 時間	約 2 時間	約 1 時間	約 1 時間 45 分
SP(標準)			約 89 時間	約 177 時間	約 222 時間	約 2 時間	約 4 時間	約 2 時間	約 3 時間 35 分
LP(長時間)			約 177 時間	約 355 時間	約 442 時間	約 4 時間	約 8 時間	約 4 時間	約 7 時間 10 分
EP(長時間)			約 355 時間 (約 266 時間※4)	約 709 時間 (約 532 時間※4)	約 887 時間 (約 665 時間※4)	約 8 時間 (約 6 時間※4)	約 16 時間 (約 12 時間※4)	約 8 時間 (約 6 時間※4)	約 14 時間 20 分 (約 10 時間 45 分※4)

※1 DVD-R DL に直接録画することはできません。表はダビングでの数値です。
※2 両面の連続再生･録画はできません。
※3 録画時間は放送(転送レート)により異なります。転送レートは現在運用されている数値を基準にしています。規格上は 24Mbps です。
※4 **初期設定**「EP時の記録時間」(➔84)で「EP(6H)」に設定した場合。
●EP モードの音質は「EP(6H) モード」の方が高音質です。
●**RAM** EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM 再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6H)モードで録画してください。

表の数値はめやすです。
本機では、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に録画できる時間が異なることがあります。(**HDD** と **-R DL(VR)** **-R DL(V)** では、特にその差が著しくなります。)残量に余裕がある状態で録画してください。

デジタル・アナログどっちも録り

本機ではデジタル放送の番組とアナログ放送の番組を同時に録画することができます。

デジタル・アナログどっちも録りをするには…

デジタル放送は、録画モード「DR」でHDDに録画してください。

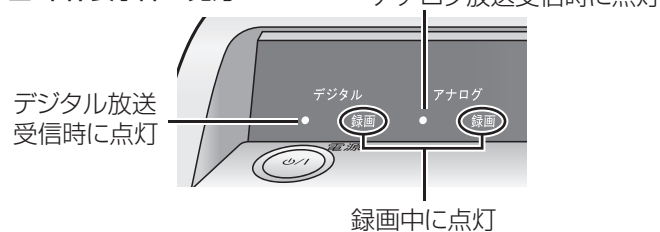
アナログ放送はHDDまたはDVDに録画することができます。

- DVDに2番組を同時に録画することはできません。
- アナログ放送の2番組、またはデジタル放送の2番組を同時に録画することはできません。
- DV入力から録画中は2番組を同時に録画することはできません。
- 本機の外部入力に接続したホームターミナルやセットトップボックスなどからデジタル放送の番組を録画する場合、「アナログ録画」として録画されます。

操作方法については(➜35)

お知らせ

- 高速ダビング中には、2番組同時に録画できません。
- 2番組を同時に録画しているときには、追っかけ再生、同時録画再生はできません。
- デジタル放送を録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画する場合
  - －アナログ放送や外部入力から録画はできません。
  - －放送の切り換えはできません。
  - －右図の「アナログ放送受信時に点灯」部分が橙色に点灯します。

■ 本体表示部の見方

アナログ放送や外部入力※からの録画にかかる制限 ※ DV 入力を含む

ワイド放送などの16:9映像を録画する場合

初期設定「高速ダビング用録画」(➜84)が「入」のときに録画すると4:3映像※で記録されます。

- HDD RAM -R(VR) に録画する場合
  初期設定「高速ダビング用録画」を「切」にすると、**16:9の映像で記録**することができます。
- -R(V) -RW(V) +R に録画する場合
  初期設定「高速ダビング用録画」の設定に関わらず、**4:3の映像で記録**※します。

※初期設定「TVアスペクト」(➜86)を「16:9フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードで変更できる場合もあります。

二重音声放送を録画する場合

設定やディスクによって記録できる音声は異なります。
詳しくは ➜33「音声多重放送の録画について」

1枚のディスクに記録できる番組数

HDD 「ビデオ DR」最大500番組 「ビデオ」最大 500 番組
(長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます。)

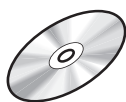
RAM -R(VR) -R(V) -R DL(V) -R DL(VR) -RW(V) 最大99番組
+R 最大49番組

録画した後に

[再生 ▶] を押して再生すると最後に録画した番組から再生されます(➜44)。 番組を選びたいときは [再生ナビ] を押して番組を選んで再生してください。(➜45)

録る

録画について

デジタル放送の録画について

HDD	CPRM対応 DVD-RAM	CPRM対応 DVD-R (VR方式)※

に録画することができます。

※録画するにはまずフォーマットをしてVR方式にしてください。(➔77)

●8 cmのDVD-RAMには記録できません。 DVD-R DL(VR方式)には直接録画できません。

不正なダビングを防止し、著作権を保護するため、デジタル放送には「1回だけ録画可能」※1のコピー制御信号が加えられています。
※1「デジタル1COPY」や「一世代のみコピー可」などとも呼ばれています。 (2004年4月から)

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 地上デジタル放送推進協会 http://www.d-pa.org/
社団法人 BSデジタル放送推進協会 http://www.bpa.or.jp/

CPRM とは
1 回だけ録画が許可された番組を記録することができる著作権保護技術。ディスクのジャケットなどでご確認ください。

録画時に注意が必要です

下図のように録画された番組は、録画制限のない番組でも録画制限のある番組として扱われます。そのため、ダビング時、移動するなどの制限がかかります。

●番組分割などの編集を行っても、録画制限のある番組として扱われます。

録画制限のある番組	録画制限のない番組

続けて 1 つの番組として録画すると…

録画制限のある番組

録画したディスクを他の機器で再生するには

本機で録画した「1 回だけ録画可能」の番組を他の機器で再生する場合、その機器が CPRM に対応している必要があります。またそれぞれのディスクの再生に対応している必要もあります。

データ放送とラジオ放送を録画することはできません。

本機では、デジタル放送のハイビジョン番組やサラウンド番組を、高画質・高音質そのままでHDDに録画することができます。

デジタル放送をハイビジョン画質のままで録画するには
録画モード「DR」でHDDに録画してください。

録画モードによるちがい

	録画モード「DR」で録画した場合 (HDD)	録画モード「XP」～「EP」「FR」で録画した場合 (HDD / DVD)
ハイビジョン画質の映像は?	そのままの画質で録画	通常の画質に変換されて録画
サラウンドの番組の音声は?	そのままの音声で録画	ステレオ音声で録画
複数の音声が含まれている番組は?	複数の音声をすべて録画	音声は1つだけ録画※
複数の映像が含まれている番組は?	複数の映像をすべて録画	映像は1つだけ録画※
字幕情報が含まれた番組は?	再生時、字幕表示の入/切ができる	再生時、字幕表示の入/切はできない※

※録画したい映像や音声、字幕表示の入/切などの内容を、「信号切換」(➔25)または、「信号設定」(➔39)で選んでください。

●CATVデジタルセットトップボックスなどを本機の外部入力に接続した場合、ハイビジョン画質での録画はできません。アナログ放送と同等の画質での録画となります。

音声多重放送の録画について

海外ドラマやスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組、複数の音声を含んだ番組があります。このような音声を含んだ番組を録画するときは設定やディスクにより記録される音声が異なります。以下の内容を参考にして正しく記録してください。

放送される番組によっては、音声の種類などは上記の限りではありません。

Q どのような音声の番組を録画しますか?
- デジタル放送のマルチ音声放送
- デジタル放送の二重音声放送
- アナログ放送や外部入力からの二重音声放送

Q どのディスクに録画しますか?

Q 録画モードは?

Q 「高速ダビング用録画」(➜84)の設定は?

どのような音声の番組	ディスク	録画モード	「高速ダビング用録画」	記録される音声
デジタル放送のマルチ音声放送	HDD	「DR」で録画	「入」「切」にかかわらず	複数の音声をすべて記録します。
デジタル放送のマルチ音声放送	HDD	「XP」~「EP」、「FR」で録画	「入」「切」にかかわらず	どれかひとつだけ音声を記録します。
デジタル放送のマルチ音声放送	RAM※ -R(VR)※	「XP」~「EP」、「FR」で録画	「入」「切」にかかわらず	どれかひとつだけ音声を記録します。
デジタル放送の二重音声放送	HDD RAM※ -R(VR)※	録画モードにかかわらず	「入」「切」にかかわらず	主音声・副音声を両方記録します。
アナログ放送や外部入力からの二重音声放送	HDD RAM -R(VR)	録画モードにかかわらず	「切」	主音声・副音声を両方記録します。
アナログ放送や外部入力からの二重音声放送	HDD RAM -R(VR)	録画モードにかかわらず	「入」(お買い上げ時)	主音声か副音声どちらか一方のみ記録します。
アナログ放送や外部入力からの二重音声放送	-R(V) -RW(V) +R	録画モードにかかわらず	「入」「切」にかかわらず	主音声か副音声どちらか一方のみ記録します。

※CPRM対応

記録される音声はこうなります。

[録画 ●]を押して録画する場合
視聴されている音声が録画されます。録画する前に「信号切換」の「音声」で記録したい音声を選んで録画してください。(➜25)

番組表を使って録画する場合
番組予約の「信号設定」の「音声」で記録したい音声を選んでください。(➜39)

外部入力から録画する場合
外部機器側で「主/副」音声を出力するように設定してください。
● 録画後、-R(V) -RDL(V) -RW(V) +R にダビングする予定のときは「主」または「副」音声のどちらかを選んでください。

本機チューナーで録画する場合
録画前に**初期設定**「二重放送音声記録」(➜85)で選択

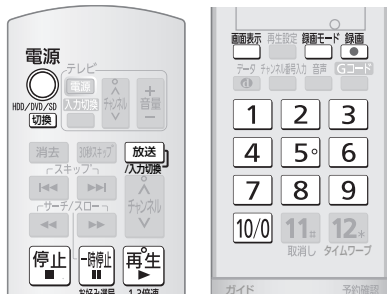
外部入力から録画する場合、
外部機器側で記録したい音声を出力するように設定

録る

デジタル放送の録画について／音声多重放送の録画について

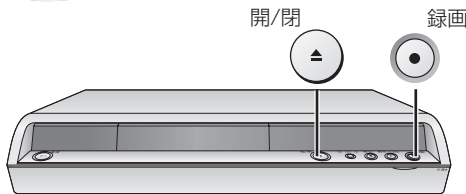
録画する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ１など)
- [電源]を押して、本機の電源を入れる。
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜18)
  (フォーマット確認画面が表示されたら➜76)

■ふたを開いたところ

上下左右
([▲][▼][◀][▶])
を押す

一時停止するには

 を押す

一時停止したい番組と異なる放送や録画先が選ばれている場合は、
[放送/入力切換][HDD/DVD/SD 切換]
を押して切り換えてください。
- もう一度押すと録画を続けます。
  (番組は分割されません。)
- 録画モード「DR」で録画中に一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になります。

録画を止めるには(➜36)

HDD に録画した番組について(➜19)
本機では、録画モード「DR」で録画した場合は「ビデオ DR」として、録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した場合は「ビデオ」として再生ナビ画面などでは別々に管理しています。

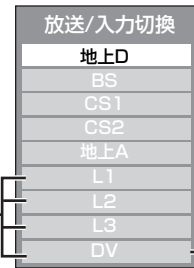
1 HDD/DVD/SD 切換 を押して「HDD」または「DVD」を選ぶ

- 選択されたドライブ名が本体表示窓に点灯します。

例) HDD を選択 ― HDD 地上D CH 011 DR

2 放送/入力切換 を押して録画したい放送を選ぶ

放送/入力切換
地上D
BS
CS1
CS2
地上A
L1
L2
L3
DV

外部入力 (CATV セットトップボックスなど) から録画する時に選択してください。(手順４へ)

3 録画したいチャンネルを選ぶ

選局方法は(➜23)

録画モードを選ぶには(➜ 下記)

4 録画 (ふた内部)を押して録画を始める

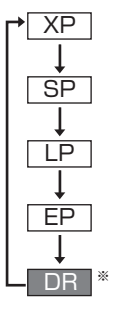
HDD 0:00.02 録画 DR

- 本体表示窓に経過時間が表示されます。
- 録画中に同じ放送のチャンネルや録画モードを変えることはできません。
- 番組表(G ガイド)(➜26)に放送内容がある場合は、録画終了後に、自動的に番組名が付きます。

録画モードを選ぶ

デジタル放送を HDD に録画する場合	お買い上げ時： **録画モードは「DR」しか選べません。** **初期設定**「デジタル放送録画モード DR 固定」(➜84)を「切」にすると録画モードを選べます。

録画モード (ふた内部)を押して選ぶ

- 録画モードを「XP」で録画する場合は、記録する音声の設定を変更できます。(➜85「記録音声モードの設定 [XP 時]」)

※ デジタル放送をHDDに録画するときのみ。
- 「DVD」選択時に表示される残量は本機におけるものです。他の機器では表示が異なることがあります。

録画の便利な機能

録画中に放送を切り換える

[放送/入力切換]を押す

●デジタル放送を録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画中は、放送の切換えはできません。

地上デジタル放送録画時　地上アナログ放送録画時

デジタル・アナログどっちも録りをする

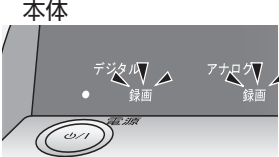
左ページの手順 1 ～4で別の番組を録画する

●デジタル放送は HDD に録画モード「DR」で録画してください。

デジタル・アナログどっちも録りについて(➜31)

どっちも録りの状態

例)HDDにデジタル放送を録画し、DVD-RAMにアナログ放送を録画したとき

本体　テレビ画面

録画の終了時間を指定する(終了時間予約録画)

本体の を押す

指定したい番組と異なる放送や録画先が選ばれている場合は、[放送 / 入力切換][HDD/DVD/SD 切換] を押して切り換えてください。

●押すごとに本体表示窓の録画終了時間が変わります。

録画経過時間 →30 分後 →1 時間後 ⟶1 時間 30 分後
↑—— 4 時間後 ⟵3 時間後 ⟵2 時間後 ⟵┘

終了時間の設定を取消すには、"録画経過時間" を選びます。(録画は続きます。)

〇〇お知らせ〇〇

●リモコンの [録画●] では働きません。
●ぴったり録画中(➜ 下記)や予約録画中は指定できません。
●録画終了時、本機を操作していなければ自動的に電源も切れます。

ディスクの残量に合わせて録画する ぴったり録画

設定した時間に合わせて自動的に最適な画質(➜30「FR(フレキシブルレコーディング)」)で録画できます。

左ページ手順 1 ～3のあと

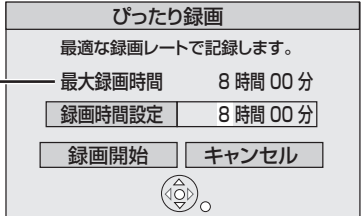
1 停止中に、 を押す

2 [▲][▼] で「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す

3 [▲][▼] で「ぴったり録画」を選び、(決定) を押す

4 [◀][▶] で"時間"または"分"を選び、[▲][▼]で録画時間を設定する

●[1]～[10/0]も使えます。
●8時間を超えて設定することはできません。

5 [▲][▼][◀][▶]で「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で(決定) を押す

最大録画時間
EP(8H)モードで計算した残量時間です。

点灯

録画せずに画面を消すには
[戻る]を数回押す

録画の残り時間を確認するには
[画面表示]を押す
異なる放送や録画先が選ばれている場合は、
[放送 / 入力切換][HDD/DVD/SD 切換] を押して切り換えてください。

例) HDD

録画の残り時間

録る　録画する

録画する（つづき）

録画しながら再生する

HDD RAM

本機では録画を続けながら、録画中の番組や、録画済の番組を再生することができます。

録画中の番組を頭から見る（追っかけ再生）

録画中に [再生▶ 1.3倍速] を押す

録画中に他の録画済みの番組を見る（同時録画再生）

1 [HDD/DVD/SD 切換] を押して、再生するドライブ（「HDD」または「DVD」）を選ぶ

2 [再生ナビ] を押す

再生ナビ画面の便利な機能（➜45）

例）HDD

録画中の番組（● が表示されます）

3 [▲][▼][◀][▶]で番組を選び、[決定] を押す

再生ナビ画面を消すには

[再生ナビ] を押す

再生を止めるには

 を押す

録画を止めるには

再生停止後、約2秒待って（➜ 下記）

予約録画を止めるには（➜42）

お知らせ

- デジタル放送を「XP」～「EP」、「FR」で録画しているときは、「ビデオDR」で録画した番組は再生できません。
- 2番組同時に録画しているときは、再生できません。

録画を止める

録画を止めたい番組をテレビ画面に映っている状態にしてから停止させます。

[放送/入力切換] を押して録画中の放送を選び、 を押す

- 停止した位置までが１番組になります。

-R(V) -RW(V) +R

[停止 ■]を押してから他の操作ができるようになるまでに、約３０秒かかります。

予約録画を止めるには（➜42）

下記の画面が表示された場合は

[◀][▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

ディスク取り出し時、「他の DVD 機器で再生」画面が表示されたら

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R（未ファイナライズのディスクのみ）

停止中に、[⏏ 開 / 閉] を押して、記録済みのディスクを取り出そうとすると下記画面が表示され、ファイナライズを行うか、行わずディスクを取り出すかを選べます。ファイナライズを行うと、再生専用ディスクとなり、他の DVD 機器で再生できるようになります。ただし、後から記録や編集をすることはできなくなります。

ファイナライズを行う場合

本体 [録画 ●] を押す

- ファイナライズが実行されます。

ファイナライズを行わない場合

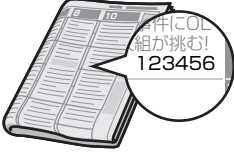
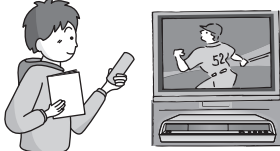
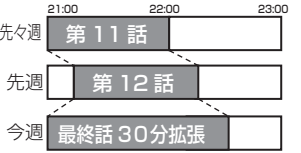
本体 [⏏ 開 / 閉] を押す

- ディスクトレイが開きます。

他のDVD機器で再生(ファイナライズ)

このディスクは他のDVD機器で再生できる処理を行うことができます。処理を行うと記録や編集はできなくなります。処理には約○分かかります。
処理を開始してもよろしいですか?

録画ボタンを押すと処理を開始します。

開/閉ボタンを押すと処理を終了します。
処理を行わないで終了した場合、本機以外で再生できません。

- ファイナライズ後のディスクのトップメニュー画面の背景の色や再生方法を設定したい場合は、ファイナライズを実行する前に DVD 管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。（➜78）

予約録画について

本機では 1 ヶ月以内の番組を 32 番組まで予約できます。[毎日・毎週予約(➜ 下記)は 1 番組として数えます。]
録画先は自動的に HDD が選ばれます。(DVD に録画する場合は、予約時に録画先を修正してください。)

予約方法には以下の３つの方法があります。

番組表（G ガイド）を使って予約（➜38）	Gコード入力を使って予約（➜40）	録画時間を指定して予約（➜41）
	地上アナログ放送のみ	予約設定を手動で行う方法です。

予約録画の Q ＆ A は(➜43)

Ir システムを使って予約録画する(➜41)

予約録画の便利な機能

録画を毎日•毎週予約する

連続ドラマを**毎日・毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録り貯めていきます。

HDD
前回の番組を消去し新たに録画するには
自動更新

自動更新(オートリニューアル)録画を設定しておくと、前回の放送分は消去され、新たに番組を録画しますので、HDD の容量を効率よく使えます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中やダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)
- 自動更新すると、前回録画した番組から作られたプレイリスト**(➜57)**は消去されます。
- HDDの残量が少ないと番組の最後まで更新されないことがあります。

番組追従機能

- 番組表(Gガイド)から予約した番組にのみ働きます。

野球中継などの番組延長に対応
(デジタル放送のみ)

予約登録後に番組の放送時間が変わっても、番組表が更新されれば、番組追従機能が働き、録画時間を自動的に変更します。

- 放送時間が変更された場合、3 時間の変更まで追従します。
- 野球延長などで延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
(番組は分割されます。)
- アナログ放送には働きません。

毎日•毎週予約したドラマなどの時間変更に対応
(毎日･毎週予約時のみ)

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送予定に時間変更があったり、最終回だけ 30 分拡張版だった」などの場合に対応します。

- 次回以降の予約登録するときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。

- 番組が以下のように変更された場合は追従できません。
  – 番組表データの更新によって、番組名が変更された場合
  – 放送開始時刻または終了時刻に 2 時間以上の変更があった場合
  このような場合は最初の予約内容のまま登録します。

- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。G ガイド固有の機能ではありません。

番組追従機能を無効にするには
時間指定予約で予約を行ってください。(➜41)

ディスクの残量不足に対応 リリーフ(代替)録画

以下のような場合、録画先が“DVD”の予約番組は、自動的に録画先を“HDD”に変更して録画されます。
– ディスク残量が足りない場合(トレイにディスクがない場合や録画できないディスクが入っている場合も含む)
– 高速ダビング中に予約録画が実行された場合
– デジタル放送を録画できないディスク(CPRM 非対応のディスクや DVD-Video 方式のディスクなど)を入れて、デジタル放送を予約録画した場合
- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- **初期設定**「デジタル放送録画モード DR 固定」**(➜84)**が「入」のとき、デジタル放送は録画モード「DR」で録画されます。

予約録画する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

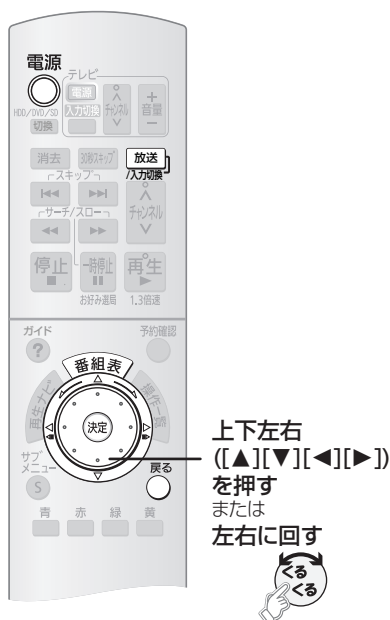
番組表(G ガイド)はお買い上げ後すぐには表示されません。チャンネルを設定し、放送局から送信されるデータを受信してください。(詳しくは ➜ 準備編 28)

準備

- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ 1 など)
- [電源] を押して、本機の電源を入れる。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(➜ 準備編 32「時刻合わせ」)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜18)
  (フォーマット確認画面が表示されたら ➜76)

上下左右 ([▲][▼][◀][▶]) を押す
または
左右に回す

前の画面に戻るには

 を押す

番組表(G ガイド)を消すには

 を押す

予約録画を止めるには(➜42)

予約の確認、修正をするには(➜42)

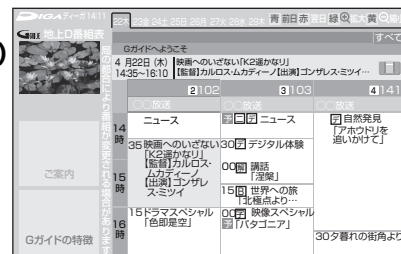
暗証番号に関する表示が出たときは(➜40)

HDD に録画した番組について(➜19)
本機では、録画モード「DR」で録画した場合は「ビデオ DR」として、録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した場合は「ビデオ」として再生ナビ画面などでは別々に管理しています。

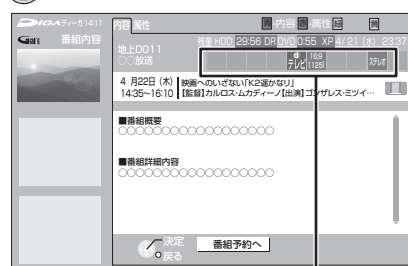
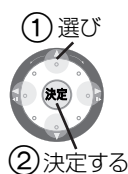
番組表(G ガイド)を使って予約録画する

1 番組表 を押す

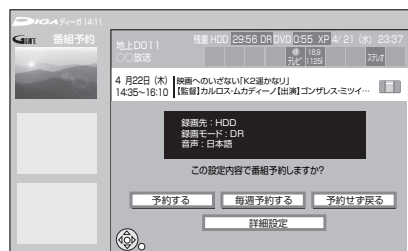
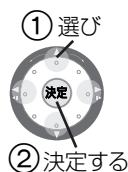
別の放送の番組表(G ガイド)を見たいときは

放送/入力切換 を押す

番組表(G ガイド)の見方は(➜27)

2 予約したい番組を選び、決定 を押す

① 選び
② 決定する

アイコンの詳細は(➜102)

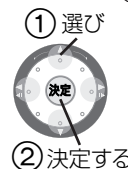
3 「番組予約へ」を選び、決定 を押す

① 選び
② 決定する

予約内容を確認してください。

- 「録画先」は自動的に「HDD」が選ばれます。

予約録画が重なっている場合(➜ 右ページ)

4 項目を選び、決定 を押す

① 選び
② 決定する

予約する：予約を登録します。(録画先：HDD)

毎週予約する：毎週予約を登録します。(録画先：HDD)(➜37)

詳細設定：「詳細設定」画面に移り、予約内容を変更します。
(➜ 右ページ　詳細設定画面)

DVD に予約する場合は、「詳細設定」を選んでください。

- 番組表(G ガイド)上で、予約した番組に "予" が表示され、予約待機状態になります。(「時間指定予約へ」で予約したときは、表示されません。)
- 続けて予約する場合は手順 2 へ戻ります。(予約待機状態でも予約できます。)

点灯

本体表示窓

DR

詳細設定画面

左ページ手順４などで「詳細設定」を選んだあと

予約を登録する	
毎週予約	しない
録画先	HDD
録画モード	DR
自動更新	入　切
信号設定	
時間指定予約へ	

●番組の時間変更に追従して録画されます。
追従したくない場合は「時間指定予約へ」を選んでください。

1 [▲][▼] で変更したい項目を選ぶ
2 「信号設定」、「時間指定予約へ」は、[決定] を押す
3 [◀][▶] で設定する（右記へ）

設定終了後、
[▲][▼] で「予約を登録する」を選んで [決定] を押す
●予約修正の場合は「修正を反映する」を選んで **[決定]** を押す

項目	説明
毎週予約	[◀][▶] を押すたびに、録画予定日を変更できます。 しない ↔ 毎週同じ曜日 ↔ 毎週(月)~(金) ↔ 毎週(月)~(土) ↔ 毎日 ペイ・パー・ビューの番組にはできません。 録画する曜日によって表示内容は変わります。
録画先	「HDD」または「DVD」を選びます。
録画モード	デジタル放送を HDD に録画するとき、**初期設定**「デジタル放送録画モード DR 固定」(**➜84**) が「入」の場合、「DR」に固定されます。「XP」～「EP」、「FR」で録画したい場合は「切」に設定してください。
自動更新 HDD	毎日･毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から自動的に前回録画した番組を消去し、新たに録画しますので、HDD 容量を効率よく使って録画できます。
信号設定 地上デジタル BS デジタル CS デジタル	複数の音声や映像の信号があるときや、番組の追加購入が必要なときに設定します。 マルチビュー：主番組／映像：映像１／音声：日本語／字幕：オフ　オン／字幕言語：日本語　英語／追加購入選択：追加金額:0円 ●録画モードを「XP」～「EP」、「FR」にして録画する場合 複数の映像や音声、字幕情報を含む番組は、録画後の再生中に映像･音声や字幕の入 / 切の切り換えを行うことはできません。録画する前に設定項目を選択してください。(番組によっては、設定が無効になる場合があります。) ●番組の中に購入が必要な信号があるときに、「追加購入選択」で料金を払うと録画ができます。 ●選べる設定項目は番組によって変わります。1 つしかない場合は、切り替えられません。 ●有料放送の番組を予約するときは、その放送会社と契約したB-CAS カードを挿入してください。
時間指定予約へ	録画時間やタイトル名などを変更したい場合に行います。 ●番組追従は行いません。 ●信号設定は反映されません。 **(➜41「時間指定予約画面」へ)**

予約番組が重なっている場合
(左ページ手順 3 のあと)

地上アナログ　地上デジタル

以前に予約している番組と時間が重なっているときは右記の画面が表示されます。
●地上デジタル放送と地上アナログ放送で、同時間帯に同じ内容の番組が放送されている場合があります。デジタル放送の予約(録画モード「DR」で録画)とアナログ放送の予約は重複しても 2 番組を同時に録画できるので、他方の放送に切り換えて、同じ内容の番組を探すことが可能です。

例) 地上デジタル放送のとき
予約が重複しています。
このまま予約する
地上アナログで探す
戻る

「このまま予約する」:録画は、開始時刻の早い番組から実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。**(➜ 左ページ手順 4 へ)**
「地上アナログで探す」:地上アナログ放送の番組表（G ガイド）を表示 **(➜ 左ページ手順 2 へ)**
「地上デジタルで探す」:地上デジタル放送の番組表（G ガイド）を表示 **(➜ 左ページ手順 2 へ)**

番組表(G ガイド)上で予約を取消す･修正する

項目	手順
予約取り消し	1 番組表(G ガイド)上で、 [▲][▼][◀][▶]で “予” が付いている番組を選び、決定 を押す 2 [◀][▶]で「予約取り消し」を選び、決定 を押す ● “予” が消えます。
予約修正	1 番組表(G ガイド)上で、 [▲][▼][◀][▶]で “予” が付いている番組を選び、決定 を押す 2 [◀][▶]で「予約修正」を選び、決定 を押す **(➜ 上記「詳細設定画面」へ)**

録る
予約録画する

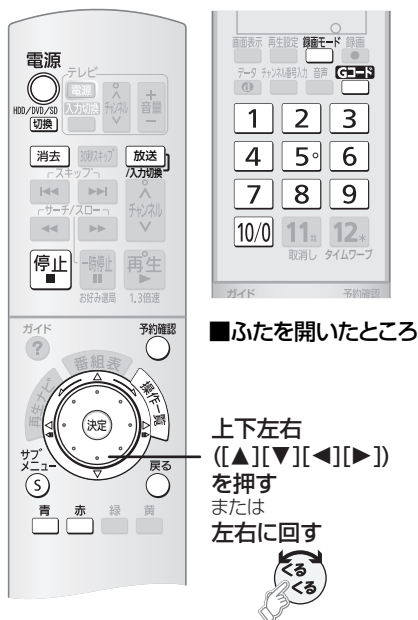
予約録画する(つづき)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -RW(V) +R

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。(ビデオ1など)
- [電源]を押して、本機の電源を入れる。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。(➜ 準備編 32「時刻合わせ」)
- DVDに録画する場合は、録画可能なディスクを入れる。(➜18)
  (フォーマット確認画面が表示されたら➜76)

HDDに録画した番組について(➜19)

前の画面に戻るには

 を押す

予約一覧画面を消すには

 を押す

予約録画を止めるには(➜42)

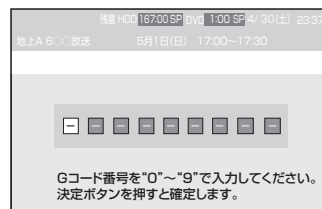
予約を取消すには(➜42)

予約の確認、修正をするには(➜42)

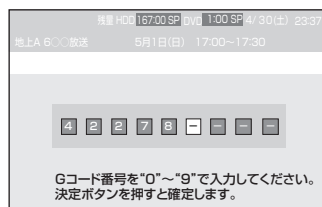
暗証番号に関する表示が出たときは

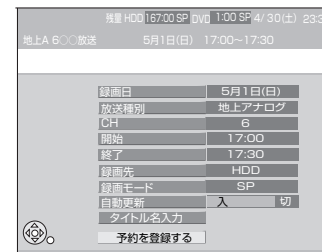
視聴制限のある番組を録画するには暗証番号の入力が必要です。視聴制限のない番組は入力の必要はありません。
- **視聴制限(➜82)を登録していない場合**
  暗証番号登録画面になります。画面の指示に従ってください。(登録すると"無制限"になります。)(暗証番号は視聴制限を変更するときに必要です。忘れないでください。)
- **視聴可能年齢に制限をかけている場合(➜82)**
  設定した暗証番号を入力しないと制限のある番組は録画できません。

Gコード® 入力を使って予約録画する 地上アナログ

1 Gコード(ふた内部)を押す

2 1 ~ 10/0 (ふた内部)で Gコード番号を入力する

- [▲][▼]で数字を選び、[▶]を押しても入力できます。

Gコード番号を間違えたときは
[◀]で戻り、再度入力する

3 決定 を押す

- 予約内容を確認してください。

- 「録画先」は自動的に「HDD」が選ばれます。

予約内容を変更するには(➜ 右ページ「時間指定予約画面」)

「CH」の項目が「G ーー」となっているときは
ガイドチャンネルが正しく設定されていません。[◀][▶]で予約したいチャンネルに合わせてください。(➜ 準備編 42)
- 予約を完了すると、ガイドチャンネルも設定されます。

4 「予約を登録する」を選び、決定 を押す

「不可」が表示されているときはディスクの残量などを確認してください。

- 予約待機状態になります。

点灯
本体表示窓
DR

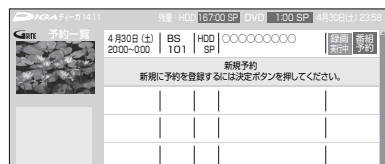
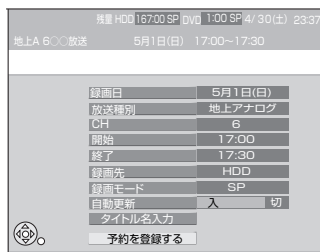
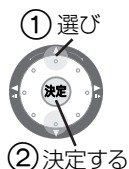
- 続けて予約する場合は手順1へ戻ります。

予約一覧画面のアイコン表示について(➜103)

録画時間を指定して予約録画する(時間指定予約)

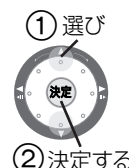
1

予約確認 を押す

2

「新規予約」を選び、決定 を押す

3

予約内容を設定する
(➜ 下記「時間指定予約画面」)

4

「予約を登録する」を選び、決定 を押す

「不可」が表示されているときは
ディスクの残量などを確認してください。

●予約待機状態になります。

●続けて予約する場合は手順 2 へ戻ります。

予約一覧画面のアイコン表示について(➜103)

Ir システムを使って予約録画する

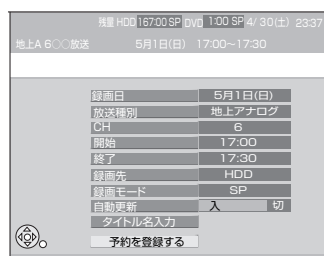
本機は、当社製の CATV 用セットトップボックスなどの Ir システム(➜105)に対応しています。Ir システムを使えば、接続機器側で受信している放送を本機で予約録画(連動予約またはタイマー予約)することができます。

1 **本機の外部入力端子 (L1、L2、L3) とセットトップボックスなどの出力端子を接続し、Ir システムケーブルを接続する(➜準備編 16)**
2 **セットトップボックス側で Ir システムの設定と予約の設定を行う**
3 **本機の操作と確認を行う**
- **連動予約のとき**
  ① **[HDD/DVD/SD 切換]**で録画先を、**[録画モード]** で録画モードを設定する
  ② **[放送/入力切換]**で接続した外部入力端子(L1 、L2、L3)を選ぶ
  ③ 本機の電源を切る
- **タイマー予約のとき**
  予約待機状態であることを確認する
  (本体表示窓の"⌚"点灯)
  – 録画先は自動的に「HDD」になります。
  – 録画先や録画モードを変更するには(➜42)

予約時刻になると録画が実行されます。

お知らせ

- セットトップボックスなどの Ir システムが DVD レコーダーに対応していることをご確認ください。
- Ir システムの設置、設定操作はセットトップボックスなどの説明書をご覧ください。
- 本機が動作中に予約登録を行うと正しく登録されない場合があります。
- 連動予約の録画中に予約録画が始まると、予約録画が優先され、連動予約の録画は中断されます。予約待機をすべて解除(本体表示窓の"⌚"消灯)しないと、正しく連動予約がされない場合があります。(➜42)

時間指定予約画面

[▲][▼] で変更したい項目を選んで、[◀][▶] で設定する(右記へ)

設定終了後、上記手順4へ
- 予約修正の場合は「修正を反映する」を選んで **[決定]** を押す

項目	説明
録画日	[◀][▶] を押すたびに、録画予定日を変更できます。 1ヵ月以内の日付を指定 ⟷ 毎日 ⟷ 毎週同じ曜日 毎日 ⟷ 毎週(月)～(土) ⟷ 毎週(月)～(金)
放送種別	録画する放送を設定します。
CH	録画するチャンネルを設定します。
開始	録画の開始時刻を設定します。
終了	録画の終了時刻を設定します。
録画先	「HDD」または「DVD」を選びます。
録画モード	デジタル放送を HDD に録画するとき、**初期設定**「デジタル放送録画モード DR 固定」(➜84) が「入」の場合、「DR」に固定されます。「XP」～「EP」、「FR」で録画したい場合は「切」に設定してください。
自動更新 HDD	毎日･毎週予約時に「入」に設定しておくと、次回から自動的に前回録画した番組を消去し、新たに録画しますので、HDD 容量を効率よく使って録画できます。
タイトル名入力	●文字入力について(➜60) ●入力しなくても、番組表(G ガイド)に放送内容がある番組を録画すると、録画後に自動的に番組名が付きます。

予約録画する（つづき）

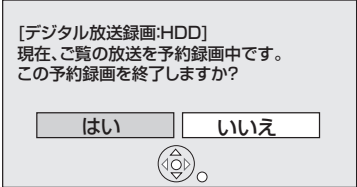
録画中の予約録画を止める

1 [放送/入力切換] を押して、録画中の放送を選び、 **を押す**

2 [◀][▶]で「はい」を選び、[決定] を押す

[デジタル放送録画:HDD]
現在、ご覧の放送を予約録画中です。
この予約録画を終了しますか?
はい　いいえ

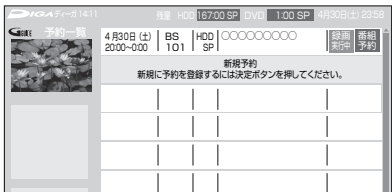
お知らせ

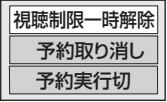
- 予約録画を止めると、予約一覧画面に「一部未実行」が表示されます。
毎日･毎週予約を設定している場合は、次回の予約を新たに追加登録します。
- 予約登録がない場合やすべての予約が「実行切」の場合は、本体表示窓の"◷"が消灯します。

予約内容の確認や修正、取消しなどをする

予約内容を確認する

本体の電源が「切」の状態でも操作できます。

[予約確認] を押す

- 予約状況が絵文字などで表示されます。(➜103「アイコン一覧」)
- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。

「予約を取消す」や「予約の実行をやめる」などを行いたい場合は以下に進んでください。

予約を取消す	**[▲][▼] で予約内容を選び、[消去] を押す** ●予約一覧から予約内容が消えます。 ●予約登録がない場合やすべての予約が「実行切」の場合は、本体表示窓の"◷"が消灯します。
予約の実行をやめる	**1 [▲][▼] で予約内容を選び、[サブメニュー] を押す** **2 [▲][▼] で「予約実行切」を選び、[決定] を押す** （視聴制限一時解除／予約取り消し／予約実行切） ●予約内容に"予約実行切"が付きます。 ●もう一度**[サブメニュー]**を押して**「予約実行入」**を選ぶと、待機状態に戻ります。 ●すべての予約登録を「実行切」に設定すると、本体表示窓の"◷"が消灯します。
視聴制限を一時解除する	暗証番号(➜82)を入力して視聴制限を一時解除します。 **1 [▲][▼] で予約内容を選び、[サブメニュー] を押す** **2 [▲][▼] で「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す** **3 暗証番号を入力する**
履歴を削除する	「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。 **1 [▲][▼] で予約内容を選び、[決定] を押す** **2 [◀][▶] で「履歴削除」を選び、[決定] を押す**
予約内容を修正する	**1 [▲][▼] で予約内容を選び、[決定] を押す** **2 [◀][▶] で「修正」を選び、[決定] を押す** 「番組予約」の場合は、39 ページ「詳細設定画面」へ 「時間指定予約」の場合は、41 ページ「時間指定予約画面」へ ●時間指定予約の場合、予約録画中の番組でも、録画モードが「FR」のときを除いて、予約終了時刻の変更ができます。

番組表(G ガイド)の便利な機能

検索機能を使う

1 [操作一覧] 押す

2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

3 [▲][▼]で「番組表の検索」を選び、[決定]を押す

4 [▲][▼]で検索方法を選び、[決定]を押す

5 [▲][▼]で検索したい項目を選び、[決定]を押す

この操作を繰り返して、検索項目を絞り込みます。

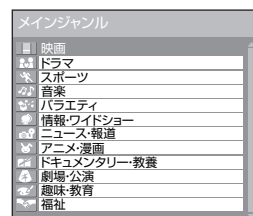
例）ジャンル検索を選んだ場合の最初の画面

メインジャンル
- 映画
- ドラマ
- スポーツ
- 音楽
- バラエティ
- 情報・ワイドショー
- ニュース・報道
- アニメ・漫画
- ドキュメンタリー・教養
- 劇場・公演
- 趣味・教育
- 福祉

検索する放送を変更するには
[放送 / 入力切換]を押す

別の日の検索結果を表示するには
[青](前日)または [赤](翌日)を押す

6 [▲][▼]で予約したい番組を選び、[決定]を押す

(➜38 手順 3 へ)

予約録画 Q & A

予約録画待機中に再生や録画はできますか?

はい。できます。
ただし、以下の場合は予約時刻になると予約録画が実行され、録画や再生は中断されます。
−デジタル放送録画中に、デジタル放送の予約時刻になった場合
−アナログ放送や外部入力から録画中に、アナログ放送または録画モード「DR」以外で予約したデジタル放送の予約時刻になった場合
−「ビデオDR」の番組を再生中に、録画モード「DR」以外で予約したデジタル放送の予約時刻になった場合

他の操作を実行中に予約録画が実行されなくなるのはどんな場合?

- **編集中**
- **1倍速でダビング中**
- **写真をダビング中**
- **フォーマット実行中**
- **ファイナライズ実行中**

などを実行中は、予約録画は開始されません。各作業の実行前の画面に予約録画に関するメッセージが表示されますので、ご確認ください。

電源を入れたままでも予約録画は実行されるの?

はい。実行されます。
電源の入／切にかかわらず、予約録画は実行されます。

電源を入れたまま予約録画が始まった場合、録画終了後、自動的に電源は切れるの?

切れません。
終了後も電源は入ったままになります。予約録画中に電源を切ることはできます。

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合、どうなりますか?

前の予約の終わりの約1分が録画されません。
[デジタル放送(録画モード「DR」)とアナログ放送が続けて予約されている場合は、録画されます。]

予約時刻が重なっている番組はどうなりますか?

開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
[デジタル放送(録画モード「DR」)とアナログ放送が重なって予約されている場合は、両方とも録画されます。]

再生する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD CD -RW(VR)

準備
- テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える。（ビデオ 1 など）
- [電源] を押して、本機の電源を入れる。
- ＤＶＤ を再生する場合は、再生可能なディスクを入れる。(➔18)

1 HDD/DVD/SD 切換 **を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ**
- 選択されたドライブ名が本体表示窓に点灯します。

例) HDD を選択 ― HDD 地上D 011 DR

2 再生 1.3倍速 **を押して再生を始める**

HDD
再生 ▶
音声 L R

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR):
最後に記録した番組から再生します。
DVD-V DVD-A VCD :ディスクが指定した位置から再生します。
CD:トラック 1 から再生します。
- ただし続き再生メモリー機能(➔46「停止」)が働いている場合は、停止した位置から再生します。

メニュー画面が表示されたら

市販の DVD ディスクなどを入れて、メニュー画面が表示されたら、画面に従って操作してください。

DVD-V DVD-A

[▲][▼][◀][▶]で項目を選び、決定 を押す

VCD

(ふた内部)で項目を選ぶ(2ケタ)

（番号の入力方法 ➔46「ダイレクト再生」）

再生の途中でメニュー画面を表示させるには

DVD-V 再生ナビ (サブメニュー S を押して、「メニュー」を選んで表示させることもできます。)

DVD-A 再生ナビ を押す

VCD を押す

○○ お知らせ ○○
- 誤消去防止（プロテクト）(➔77)を設定しているカートリッジ付きディスクを入れると、自動的に再生が始まります。
- ディスクによっては、メニュー画面や映像･音声が出るまで時間がかかることがあります。
- -R DL(VR) -R DL(V) は層の変わり目で映像や音声が一瞬止まることがあります。(➔11)
- 「ビデオ DR」の番組の再生時、番組の切り換わり部分や、編集を行った部分、録画中に一時停止した部分などで、映像や音声が一瞬止まることがあります。

- **映像が縦に引き伸ばされていたら**

  16:9 映像を、以下のように録画、ダビングした場合、4:3 映像で記録されます。
  – **初期設定**「高速ダビング用録画」(➔84)を「入」にして地上アナログ放送や外部入力（DV 入力含む）から録画
  – **初期設定**「高速ダビング用録画」(➔84)を「入」にしてファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビング
  – -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に記録

  初期設定「TV アスペクト」(➔86)を「16:9 フル」に設定すれば、16:9 映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードで変更できる場合もありますので、ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

SD カードの MPEG2 動画の再生について

当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画を見るには、まず HDD などにダビングしてください。(➔70)
- SD カードから直接再生することはできません。

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)

録画した番組を一覧表から簡単に選んで再生できます。

再生ナビから再生する

1 HDD/DVD/SD [切換] を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ

2 [再生ナビ] を押す

●録画した番組が一覧表示されます。

HDD RAM

☞**「番組一覧(ビデオ DR)」を表示するには**

HDD [青] を押す

☞**「番組一覧(ビデオ)」を表示するには**

HDD [赤] を押す　RAM [青] を押す

3 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[決定] を押す

●選んだ番組の再生が始まります。

☞**前後のページを表示するには**

[|◀◀] または [▶▶|] を押す

☞**再生ナビ画面を消すには**

[再生ナビ] を押す

☞**再生ナビ画面のアイコンについて(➜102)**

例) HDD

番組や写真の切り換え表示

再生ナビ画面では、番組や写真を別々に管理しています。それぞれを再生するには、切換が必要です。

RAM 青 ビデオ 赤 写真

ハイビジョン画質で録画した番組は「ビデオ DR」にあるよ！

「ビデオ DR」(HDD のみ)：
録画モード「DR」で録画した番組
「ビデオ」：
録画モード「XP」〜「EP」、「FR」で録画した番組
「写真」：
SD カードなどからダビングした写真

再生ナビ画面の便利な機能

再生ナビ画面では、サブメニューを使用して、番組の並び替えや他の画像への切り換えなどの操作が行えます。

再生ナビ画面上で、

サブメニュー [S] **を押す**

例)HDD のサブメニュー

[▲][▼] で項目を選んで、[決定] を押す (右記へ)

➡

項目	内容
番組消去	番組を消去します。(➜54)
内容確認	番組の内容を確認できます。(➜54)
番組編集	番組の編集ができます。(➜54)
チャプター一覧へ	チャプターの作成·編集·再生ができます。(➜56)
サムネイル表示 **リスト表示**	**再生ナビ画面の表示方法を変更します。** 「ビデオ DR」はリスト表示のみ。 サムネイル表示　リスト表示
並び替え HDD (リスト表示時のみ)	番組の表示順を項目ごとに並び替えます。 たくさんの番組の中から番組を探すときなどに便利です。 **[▲][▼] で並び替えたい項目を選び、[決定] を押す** ●再生ナビ画面を消したり、「写真(JPEG) 一覧」画面に切り換えると並び替えの情報は取消されます。 ●「No」以外の項目で並び替えているときは – 選んだ番組の再生が終わると再生ナビ画面に戻ります。(連続再生はできません。) – スキップ(➜46)やタイムワープ(➜47)は、再生中の番組内でのみ働きます。
他の画像一覧へ HDD RAM	「番組一覧」または「写真(JPEG) 一覧」画面に切り換えます。 **[▲][▼] で「ビデオ」、「ビデオ DR」、「写真」を選び、[決定] を押す** 「ビデオ DR」は HDD のみ選べます。

再生中のいろいろな操作

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD CD -RW(VR)

停止

を押す

続き再生メモリー機能

[停止■] を押すと止めた位置を一時的に記憶します。
(停止された位置のみが記憶されます。番組単位で記憶はされません。)
[再生▶]を押すと、止めた位置から再生します。

- 記憶した位置は、以下の場合解除されます。
  - 数回 [停止■] を押す。
  - トレイを開ける。(HDD を除く)
  - DVD-A VCD CD 電源を切る。
  - 録画や予約録画を行った場合。

一時停止(静止画)

を押す

- もう一度押す、または [再生▶] を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し(サーチ)

を押す

- 押すごとに、速度が速くなります (5段階)。
- マルチジョグの左回し / 右回しでも動作します。(CD、VCD では動作しません。)
- [再生▶] で通常再生に戻ります。
- 早送り 1 速時のみ音声が出ます。(「ビデオ DR」の番組をのぞく)
  [DVD-A (動画部以外) CD (MP3 含む)はすべての速度で音声が出ます。]
- ディスクによっては速くならないことがあります。

スキップ

再生中または一時停止中に
スキップ [|◀◀] [▶▶|] を押す

押した回数だけ番組、場面や曲を飛びこして再生します。

ダイレクト再生

[1] ～ [10/0] (ふた内部)で番組や曲の番号を入力する

- 停止中(右の画面表示中)のみ働くディスクもあります。

HDD の番組 CD のMP3、写真 (JPEG や TIFF)	3けたで入力 例) 5の場合…[10/0] → [10/0] → [5] 15の場合…[10/0] → [1] → [5]
写真(JPEG や TIFF)が入っているディスク(CD は除く)	4 けたで入力 例) 5の場合…[10/0] → [10/0] → [10/0] → [5] 15の場合…[10/0] → [10/0] → [1] → [5]
DVD-A のグループ	停止中(上の画面表示中)に 1 けたで入力 例) 5の場合…[5]
それ以外のディスク、 DVD-A のトラック	2けたで入力 例) 5の場合…[10/0] → [5]、 15の場合…[1] → [5] ●プレイバックコントロール(➔106「PBC」)付き VCD では、停止中(上の画面表示中)にこの方法で項目を選ぶと、メニュー再生が解除されます。(本体表示窓の“PBC”が消えます)

早見再生(1.3倍速)

HDD RAM

通常よりも速く再生します。

を約 1 秒以上押す

- もう一度 [再生▶] を押すと、通常再生に戻ります。
- 早見再生中は、自動 CM 早送り (➔50) は働きません。
- 「ビデオ DR」の番組では働きません。

スロー再生

CD 除く
DVD-A (動画部のみ)

一時停止中に

を押す

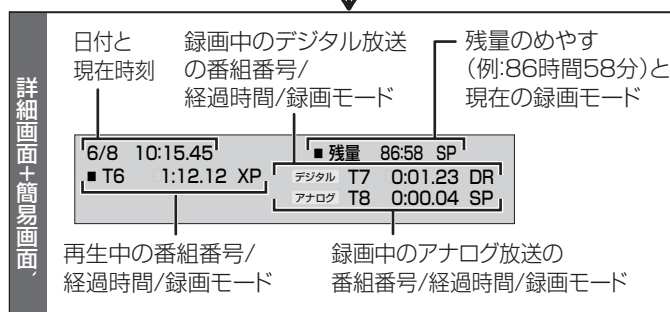
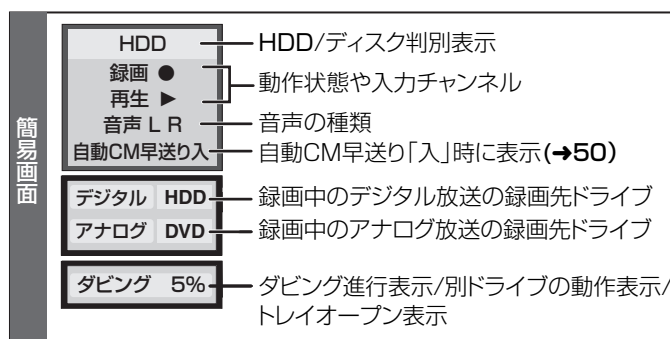
- 押すごとに、速度が速くなります (5段階)。
- マルチジョグの左回し / 右回しでも動作します。
  (VCD では動作しません。)
- [再生▶] で通常再生に戻ります。
- VCD や「ビデオ DR」の番組では、送り方向 [▶▶] にのみ働きます。
- スロー再生を約5分以上続けたときは、一時停止します。
  (DVD-V DVD-A VCD は除く)

コマ送り / コマ戻し

CD 除く
DVD-A (動画部のみ)

一時停止中に
[◀❚❚] [❚❚▶] を押す

- 押すごとに 1 コマずつ送り (戻し) ます。
- 押し続けると、連続してコマ送り (戻し) します。
- [再生▶] で通常再生に戻ります。
- VCD は送り方向 [❚❚▶] にのみ働きます。
- 「ビデオ DR」の番組は、10 数コマ単位でコマ戻しします。

機能	操作	説明
時間を指定して飛びこす(タイムワープ) HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)	**1 12* タイムワープ (ふた内部)を押す** **2 [▲][▼]で飛びこす時間を設定し、決定を押す** ●[▲][▼]を押すごとに1分ずつ(押し続けると10分ずつ)、送り[▲]、戻し[▼]します。	
30秒先へスキップする HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)	**30秒スキップ を押す**	●押すごとに、約30秒飛びこして再生します。 ●自動 CM 早送り(➜50)が働かないときに使うと便利です。
音声を切り換える HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) DVD-V DVD-A VCD -RW(VR)	**音声(ふた内部)を押す**	押すたびに、収録されている内容に応じて切り換わります。 HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) VCD -RW(VR) 例) 音声L → 音声R → 音声LR DVD-V DVD-A 音声情報 1日 Digital 2/0ch (➜50「言語」) HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) 二重放送の主、副両音声を記録した場合は、主音声が"L"、副音声が"R"に記録されています。 ディスク再生時、二重放送の番組の場合は、自動的に「主」が選ばれます(2カ国語オート再生)。音声を切り換えても、電源を切ると「主」に戻ります。
操作の状態を表示する(情報表示)	本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。 **画面表示(ふた内部)を押す** ●押すたびに切り換わります。	例)HDD

SD カードなどの写真を再生する / MP3 を再生する

写真(JPEG/TIFF)再生について

HDD **RAM** **SD** **CD**

- 本機では、8MB～2GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➜13)
- **CD** パソコンなどで写真(JPEG/TIFF)を記録したCD-R、CD-RWが再生可能です。
- 録画中やダビング中は写真の再生はできません。

MP3 再生について

CD

- パソコンなどで MP3 を記録した CD-R、CD-RWが再生できます。
- 静止画を含む MP3 は再生できないことがあります。

準備

- [HDD/DVD/SD 切換]を押して、再生するドライブを選ぶ。
- ディスクまたはカードを入れる。(➜18)
- 必要に応じて下記操作を行う。

下記の画面が出たときは

CD

再生対象をMP3に設定しました。
写真(JPEG)を再生するには操作一覧のメニューからJPEGメニューを選んでください。

MP3 と写真(JPEG/TIFF)が混在したディスクです。[決定] を押してから下記操作を行ってください。

☞MP3 を再生したいときは
右記「MP3 を再生する」手順 1 へ

☞写真を再生したいときは
1 [操作一覧] を押す
2 [▲][▼] で「メニュー」を選び、[決定] を押す
3 [▲][▼] で「JPEG メニュー」を選び、[決定] を押す
右記「写真(JPEG/TIFF) を再生する」手順２へ

SD

SDカードにMPEG2動画があるとき表示

[▲][▼]で「写真(JPEG)一覧を表示」を選び、[決定] を押すと、右記「写真 (JPEG/TIFF) を再生する」手順2に進むことができます。

☞停止するには

を押す

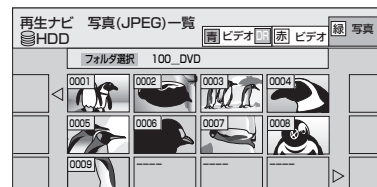
☞再生ナビ / メニュー画面を消すには

を押す

☞前後のページを表示するには
[|◀◀] または [▶▶|] を押す

写真(JPEG/TIFF) を再生する

1 再生ナビ を押す

例) **HDD**

HDD **RAM**

☞「番組一覧」が表示されていたら

HDD 緑、**RAM** 赤 を押して「写真(JPEG)一覧」に切り換える

- サブメニューを使って切り換えることもできます。
(➜45「他の画像一覧へ」)

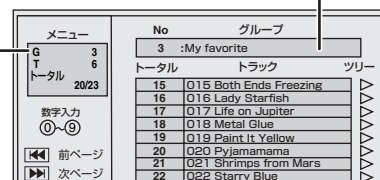
2 写真を選び、決定 を押す

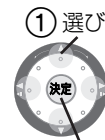
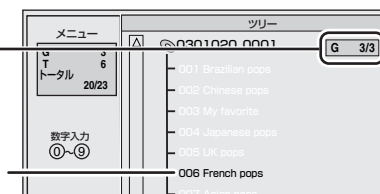
- 選んだ写真が表示されます。
- [1] ～ [10/0] でも写真を選べます。
HDD **RAM** **SD** (4 けたで入力) **CD** (3 けたで入力)
(番号の入力方法 ➜46「ダイレクト再生」)

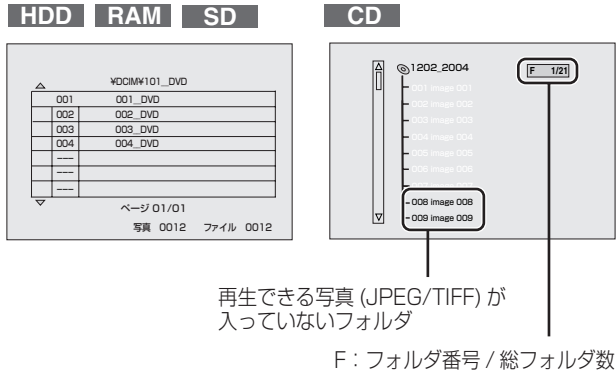
☞別のフォルダを選ぶには(➜ 右ページ)

MP3 を再生する

1 再生ナビ を押す

- フォルダやファイルに付けた名前(S-JIS 第 1 水準)がそれぞれグループ名、トラック名として表示されます。

2 トラックを選び、決定 を押す

- 選んだトラックの再生が始まります。
- [1] ～ [10/0] でもトラックを選べます。
(3 けたで入力)
(番号の入力方法 ➜46「ダイレクト再生」)

☞別のグループを選ぶには
1 [▶] を押す
2 [▲][▼]でグループを選び、[決定] を押す

写真再生のいろいろな機能

別のフォルダを選ぶには (本機で表示されるフォルダ構造例 ➜104)	**1 「写真(JPEG)一覧」画面で、[▲][▼][◀][▶]で「フォルダ選択」を選び、決定 を押す** **2 [▲][▼]でフォルダを選び、決定 を押す** HDD RAM SD / CD 再生できる写真(JPEG/TIFF)が入っていないフォルダ F:フォルダ番号/総フォルダ数 RAM SD **上位フォルダを切り換えるには**(上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ) 1 [サブメニュー]を押す 2 [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、[決定]を押す 3 [◀][▶]でフォルダを選び、[決定]を押す
写真を連続して再生する (スライドショー)	**1 「写真(JPEG)一覧」画面で、[▲][▼][◀][▶]で「フォルダ選択」を選び、サブメニュー S を押す** **2 [▲][▼]で「スライドショー開始」を選び、決定 を押す** **表示間隔を変えるには** 1 上記手順2で「スライドショーの表示間隔」を選び、[決定]を押す 2 [◀][▶]で表示間隔(0～30秒)を設定し、[決定]を押す
画像を回転、拡大する	**1 写真を再生中に、サブメニュー S を押す** **2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す** 画素数の少ない写真のみ表示されます お知らせ ●回転・拡大情報は保持されません。 ●拡大すると画像の一部が欠ける場合があります。 **拡大した写真を元に戻すには** [サブメニュー]を押し、「元のサイズで表示」を選んで、[決定]を押す **回転を元に戻すには** [サブメニュー]を押し、逆方向への回転を選んで、[決定]を押す
写真の情報を見る (情報表示)	**写真を再生中に、画面表示 (ふた内部)を2回押す** **情報表示を消すには** [画面表示]を押す 例) HDD 1/8 11:02 フォルダー写真No. 115-0001 作成日 2005/ 6/21 枚数 1/10
再生中に前後の写真を見る	**[◀][▶]を押す**

写真(JPEG/TIFF)について
- 写真の表示順は、写真が作成された日時の順に表示します。
- フォルダの表示順は、作成された順に表示します。
- 写真再生中に停止すると、止めた写真位置を一時的に記憶しますが、以下の場合解除されます。
  —SD CD 電源を切る、またはカードやディスクを取り出す。
  —RAM ディスクを取り出す。

再生設定

設定の基本操作
(マルチジョグの左回し/右回しで選ぶことはできません。)

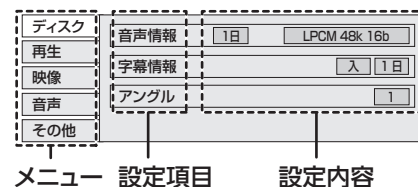
1 [再生設定](ふた内部)を押す
- ディスクにより設定項目は異なります。

2 [▲][▼]で設定したいメニューを選び、[▶]を押す

3 [▲][▼]で設定項目を選び、[▶]を押す

4 [▲][▼]で選んで設定する
- [決定]を押して設定変更を実行するものもあります。

ディスク / 再生 / 映像 / 音声 / その他
音声情報 1日 LPCM 48k 16b
字幕情報 入 1日
アングル 1
メニュー 設定項目 設定内容

設定を終了するには
[再生設定]を押す

ディスク独自の機能を設定する(ディスク)

音声情報※ DVD-V DVD-A
音声や言語を選びます。(➜右記「音声属性/言語」)
- HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)
  音声属性表示のみ

信号切換
- HDD(「ビデオ DR」の番組のみ)
  映像や音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
  - ·マルチビュー
  - ·映像
  - ·音声
  - ·二重音声
  - ·字幕(オン/オフ)
  - ·字幕言語(日本語/英語)

字幕情報※ DVD-V DVD-A
字幕表示の入/切や、言語を選びます。(➜右記「言語」)
- HDD(「ビデオ」の番組のみ)
  RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)
  (他機で録画したディスクなど、字幕の入/切情報が記録されたディスクのみ切り換えられます。本機では、アナログ放送の字幕情報は記録されません。デジタル放送の字幕情報は、録画モード「DR」でHDDに録画する場合を除き、録画時の「字幕」の設定(➜25、39)のまま記録され、再生時に入/切を切り換えることはできません。)

音声チャンネル HDD(「ビデオ」の番組のみ)
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) VCD
音声(L/R)を切り換えます。

アングル※ DVD-V DVD-A
アングルを選びます。

静止画 DVD-A
静止画の再生方法を選びます。
- スライドショー:決められた順番で再生
- ページ　:静止画を選んで再生
  - ·ランダム　:順不同に再生
  - ·リターン　:決められた静止画を再生

PBC(プレイバックコントロール)(➜106) VCD
PBC付きビデオCDでメニューの入/切が確認できます。(変更はできません)

※ディスクに収録されているメニュー画面(➜44)でのみ切り換えできるものもあります。
- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生方法を設定する(再生)

リピート(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
- オール　:ディスク全体
- 番組　:番組全体
- タイトル　:タイトル全体(DVD ビデオなど)
- チャプター　:チャプター
- プレイリスト:プレイリスト
- グループ　:グループ全体
- トラック　:トラック

自動CM早送り HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)
(音声が下記の場合のみ)
CMを飛ばして再生します。
- 録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
  例:下記図の CM 部分が 5 分以上の場合など

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生 ➜	スキップ ➜	再生 ➜

- 以下の場合は働きません。
  -「ビデオ DR」の番組
  – 外部入力から録画した番組
  – 早見再生中(➜46)のとき
- 設定した内容は電源を切っても保持されます。

〈音声属性〉
LPCM/PPCM/DDDigital/DTS/MPEG/AAC:信号タイプ
ch:チャンネル数　k:サンプリング周波数(kHz)　b:ビット数(bit)

〈言語〉

日:日本語	英:英語	仏:フランス語	独:ドイツ語
伊:イタリア語	西:スペイン語	蘭:オランダ語	中:中国語
露:ロシア語	韓:韓国語	＊:その他	

お好みの画質を設定する(映像)

画質選択 HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD -RW(VR)

映像ディスク再生時の画質を選びます。
「ビデオ DR」の番組には、「シネマ」「3 次元 NR」の設定は効果がありません

- **ノーマル** :標準
- **ソフト** :ざらつきの少ない柔らかな画質
- **ファイン** :輪郭の強調されたくっきりした画質
- **シネマ** :映画鑑賞向け
- **ユーザー** :さらに画質を調整

[▲][▼][◀][▶] で「詳細画質設定」を選び、**[決定]** を押す

- **コントラスト**(白黒の強弱)
- **ブライトネス**(画面全体の明るさ)
- **シャープネス**(鮮やかさ)
- **カラー**(色の濃さ)
- **ガンマ**(暗くて見えにくい映像の輪郭)
- **3 次元 NR**(画面全体のノイズを除去)

MPEG-DNR

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A VCD -RW(VR)

「入」を選ぶと、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

プログレッシブ

プログレッシブ(525 p)出力するかしないかを設定します。

- **初期設定**「D 端子出力解像度」で「D2」〜「D4」を選んでいる場合(➜**86**)
  プログレッシブ(525p)出力を入 / 切 します。
- **初期設定**「 HDMI 映像優先モード」で「入」を選んでいる場合(➜**86**)
  プログレッシブ(525 p)出力は「入」固定になります。

映像が左右に引き伸ばされるときは「切」にしてください。

変換モード(「プログレッシブ」(**➜ 上記**)が「入」の場合のみ)

プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- **Auto1** (標準) :フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換します。
- **Auto2** :Auto1 に加えて、フレーム数の異なるフィルム素材も自動で識別し、適切に変換します。
- **Video** :Auto1 または Auto2 でぶれが生じるとき

外部入力NR(外部入力「L1、L2、L3」を選んでいるときのみ)

テープからのダビング前に設定しておけば、ノイズを減らして高画質で記録します。(ソフトによって映像にぶれが生じることがあります)

- **自動** (標準) :テープからの入力かどうかを自動判別して映像処理を行うとき
- **入** :テープ以外も含む外部入力に対して常に映像処理を行うとき
- **切** :映像処理を行わず、入力信号のまま記録するとき

お好みの音声効果を設定する(音声)

サラウンド(アドバンスドサラウンド)

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) (ドルビーデジタル2ch以上の音声のみ)

フロントスピーカー(L/R)だけで音の臨場感を出します。

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- 接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。
- 本機で録音した二重音声には働きません。

シネマボイス

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(V) -R DL(VR) -RW(V) +R DVD-V DVD-A -RW(VR) (ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ)

セリフを聞き取りやすくします。

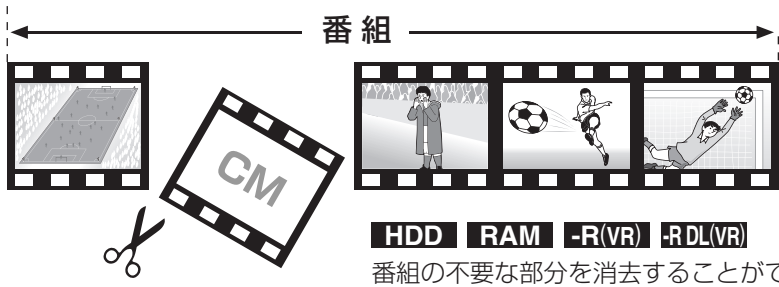
画面表示の位置を設定する(その他)

表示位置

- **1**(標準位置)〜**5**:設定値が大きいほど、画面が下に移動します。

番組の編集について

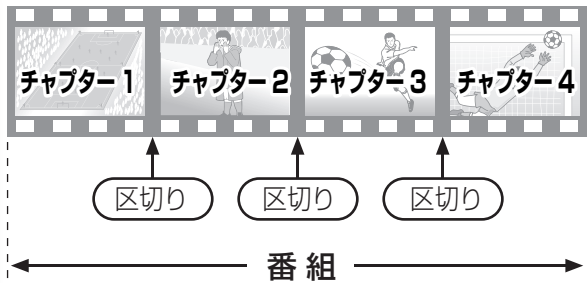
本機では、録画した番組を必要に応じて編集することができます。

➜54 録画した番組を編集する

番組の不要な部分を消去することができます。

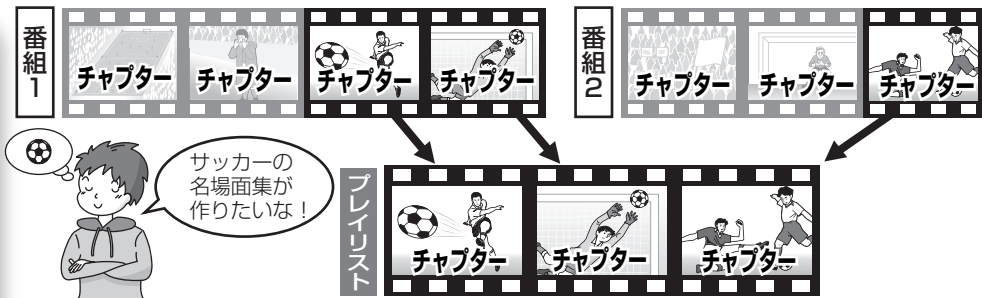
好みの位置で区切りを付けられます

チャプター

➜56 チャプターの作成・再生・編集

区切りから区切りの間をチャプターと呼びます。

お気に入りの場面のみを集めることができます

プレイリスト

➜57 プレイリストの作成・再生・編集

お気に入りのチャプターを集めて再生したい順に並べたものをプレイリストと呼びます。
（複数の番組からチャプターを集めて作成することもできます。）

本機でできること		HDD		RAM	-R(VR)	-R(V)	-R DL(VR)	-R DL(V)	-RW(V)	+R
		「ビデオ DR」	「ビデオ」							
番組の編集（➜54）	番組消去	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	内容確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	番組名入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	プロテクト設定	○	○	○	○	×	○	×	×	×
	部分消去	○	○	○	○	×	○	×	×	×
	サムネイル変更	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	番組分割	○	○	○	○	×	○	×	×	×
チャプターの作成・編集（➜56）		×	○	○	○	×	○	×	×	×
プレイリストの作成・編集（➜57）		×	○	○	○	×	○	×	×	×

番組や写真を消去する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(V) -R DL(VR) -RW(V) +R SD
（ファイナライズしたディスクではできません。）

準備
- [HDD/DVD/SD 切換] を押して、ドライブを選ぶ。
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定（プロテクト）(→77)を解除しておく。

消去すると記録内容が消え、元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。
録画中やダビング中は消去できません。

消去後のディスクの残量について
- HDD RAM 記録した番組（または、写真）を消去すると、消去した分、ディスク残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます				
番組	番組	·····	最後に記録した番組	残量

- -RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組	番組	·····	最後に録画した番組	残量

- SD 記録した写真を消去すると、消去した分、カード残量が増えます。

どれを消去しても残量が増えます				
写真	写真	·····	最後に記録した写真	残量

- -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R 消去しても残量は増えません。

消去ナビ画面上（右記手順 **3**）では [サブメニュー] を使って、内容確認やプロテクト解除などの操作が行えます。
サブメニュー操作について
- 「番組一覧」(**→54 手順 2**)
- 「写真（JPEG）一覧」(**→59 手順 2**)

前の画面に戻るには
戻る を押す

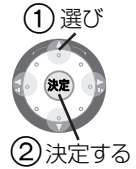
画面を消すには
戻る を数回押す

音声ガイドを止めるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(**→83**)

消去ナビを使って消去する

ディーガがしゃべる!

不要になった番組や写真を、一覧表から簡単に選んで消去することができます。

1 **停止中に、** **を押す**

2 **「消去する」を選び、** **を押す**

例） HDD

「ビデオ DR」（HDD のみ）：
録画モード「DR」で録画した番組
「ビデオ」：
録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した番組
「写真」：
SD カードなどからダビングした写真

HDD RAM
「番組一覧（ビデオ DR）」を表示するには
HDD 青 を押す
「番組一覧（ビデオ）」を表示するには
HDD 赤 を押す　RAM 青 を押す
「写真（JPEG）一覧」を表示するには
HDD 緑 を押す　RAM 赤 を押す

3 **消去する番組または写真を選び、決定 を押す**

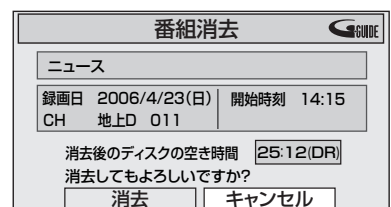
前後のページを表示するには
[|◀◀] または [▶▶|] を押す
複数の番組などをまとめて選択するには
[▲][▼][◀][▶] で番組などを選び、[**一時停止❚❚**] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度 [**一時停止❚❚**] を押すと解除されます。

別のフォルダの写真を選ぶには(→49)

4 **「消去」を選び、決定 を押す**
番組または写真が消去されます。

番組または写真を再生中に消去する

1 **番組または写真を再生中に、** 消去 **を押す**

2 **「消去」を選び、決定 を押す**
番組または写真が消去されます。

録画した番組を編集する

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R -RW(VR)
（ファイナライズしたディスクでは編集できません。ただし、
-R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) はファイナライズ後でも「内容確認」のみできます。）

- ディスクの内容を直接編集します。消去などを行った場合には、元に戻すことはできません。ご注意ください。
- 録画中やダビング中などは編集できません。

編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。編集は HDD 上で行い、その後ダビングすることをおすすめします。

- [HDD/DVD/SD 切換] を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ。
- ディスクやカートリッジの誤消去防止設定（プロテクト）(➜77)を解除しておく。

1 再生中または停止中に、 を押す

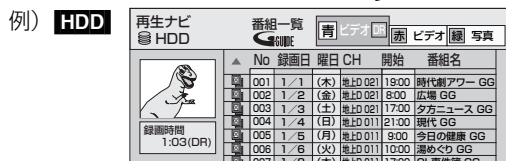
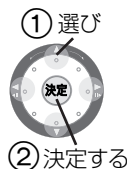
例）HDD

HDD RAM

☞**「番組一覧（ビデオ DR）」を表示するには**

HDD 青 を押す

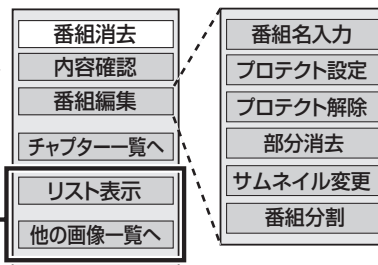
☞**「番組一覧（ビデオ）」を表示するには**

HDD 赤 を押す　RAM 青 を押す

2 編集する番組を選び、 を押す

☞**前後のページを表示するには**

[|◀◀] または [▶▶|] を押す

☞**複数の番組をまとめて選択するには**

[▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度 [一時停止 ❚❚] を押すと解除されます。

3 編集する項目を選び、(決定) を押す（右記へ）

- 「番組編集」を選んだときは、さらに [▲][▼] で項目を選び、[決定] を押す。

☞**「チャプター一覧へ」を選んだときは**

チャプター一覧画面に切り換わります。
（➜56「チャプターの作成・再生・編集」）

☞**前の画面に戻るには**

 を押す

☞**画面を消すには**

 を押す

番組を消す
番組消去
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

内容を確認する
内容確認

番組名を付ける
番組名入力
HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

誤消去防止の設定 / 解除
プロテクト設定 / 解除
HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

番組の不要な部分を消す
部分消去
HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

番組一覧で表示される画像（サムネイル）を変更する
サムネイル変更
HDD 「ビデオ DR」ではできません
RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

番組を 2 つに分割する
番組分割
HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

消去すると録画内容が消え、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。

[◀] で「消去」を選び、(決定) を押す

● -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R 消去してもディスク残量は増えません。
● -RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみ、ディスク残量が増えます。

番組名、録画日、チャンネルなどの確認ができます。

画面を消すには
[決定] を押す

文字入力については(➜60)

大切な録画内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。

[◀] で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、(決定) を押す

プロテクト設定すると 🔒 が表示されます。解除すると消えます。

録画した番組の消したい部分を指定して消去します。

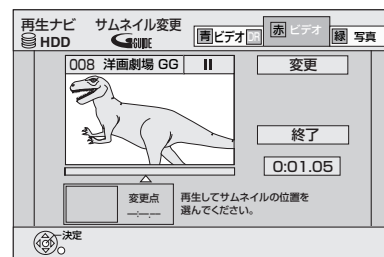
1 [▲][▼] で「イン点」を選び、消去する開始点で (決定) を押す※
2 [▲][▼] で「アウト点」を選び、消去する終了点で (決定) を押す
3 [▼] で「終了」を選び、(決定) を押す

続けて別の不要な部分を消去するとき
「次へ」を選んで [決定] を押す

4 [◀] で「消去」を選び、(決定) を押す

1 [再生 ▶] で再生を始める
2 [▲][▼] で「変更」を選び、お好みの場面で (決定) を押す※

選び直すには
① [▲][▼] で「変更」を選び、[再生 ▶] で再生を始める
② お好みの場面で [決定] を押す

3 [▲][▼] で「終了」を選び、(決定) を押す

分割すると元に戻すことができません。分割してよいか確認してから行ってください。

1 [▲][▼] で「分割」を選び、分割する場面で (決定) を押す※

分割する場面を確認するには
[▲][▼] で「プレビュー」を選び、[決定] を押す
– 分割点の前後 10 秒間が再生されます。

分割する場面を選び直すには
① [▲][▼] で「分割」を選び、[再生 ▶] で再生を始める
② 分割する場面で [決定] を押す

2 [▲][▼] で「終了」を選び、(決定) を押す
3 [◀] で「分割」を選び、(決定) を押す

●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。「プレビュー」(➜ 上記)で確認の上、実行してください。
●番組名(➜ 上記)や録画禁止などの情報は、分割した番組の両方に反映されます。

※編集中の便利な機能(編集したい場面を探すのに便利です)
●早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜46、47)を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
●スキップ(➜46)を使うと、チャプターを飛びこすことができます。

チャプターの作成・再生・編集

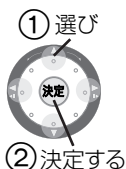
HDD（「ビデオ」の番組のみ）RAM
-R(VR) -R DL(VR)（ファイナライズ後は再生のみ）
-RW(VR)（再生のみ）

チャプターとは（➜52「番組の編集について」）

最大記録数
チャプター：HDD（1 番組あたり）約 1000
RAM -R(VR) -R DL(VR) 約 1000
（記録状態によって変化します）

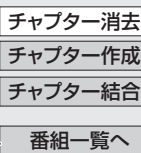
- **「ビデオ DR」の番組ではチャプターの作成、再生、編集はできません。**
- 二重放送の番組を録画した場合、CM 部分などが自動的に複数のチャプターとして作成される場合があります。
ただし、録画モード「DR」で録画した場合や、外部入力から録画した場合は、作成されません。

-R(VR) -R DL(VR)
編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。
編集は HDD 上で行い、その後ダビングすることをおすすめします。

54 ページ手順 3 で「チャプター一覧へ」を選んだあと

4

チャプターを再生する場合は：
チャプターを選び、決定 を押す
チャプターが再生されます。

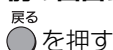
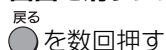
チャプターを編集する場合は：
チャプターを選び、サブメニュー S を押す
（手順５へ）

「チャプター作成」するときは、チャプターを選ばずに［サブメニュー］を押す。

前後のページを表示するには
［|◀◀］または［▶▶|］を押す

複数のチャプターをまとめて選択するには
［▲］［▼］［◀］［▶］でチャプターを選び、
［一時停止 ❚❚］を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度［一時停止 ❚❚］を押すと解除されます。

5

編集する項目を選び、決定 を押す
（右記へ）

前の画面に戻るには
戻る ○ を押す

画面を消すには
戻る ○ を数回押す

チャプター部分を消す（部分消去）
チャプター消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。

元に戻すことはできません。消去してよいか確認してから実行してください。

［◀］で「消去」を選び、決定 を押す

チャプターをすべて消去すると、その番組自身も消去されます。
- チャプターの区切りのみ消去したい場合は「チャプター結合」（➜ **下記**）を行ってください。（録画内容は消去されません。）

チャプターを作成する
チャプター作成

映像を見ながら区切りたい部分を指定します。

1 ［▲］［▼］で「作成」を選び、区切りたい場面で 決定 を押す
- 早送りやスロー再生、タイムワープなど（➜46、47）を使うと、目的の部分を探すのに便利です。
- 繰り返して複数の位置を指定できます。

2 ［▲］［▼］で「終了」を選び、決定 を押す

区切りをなくしてチャプターをつなぐ
チャプター結合

選択中のチャプターと次のチャプターの区切りをなくして、1 つにつなぎます。

区切り 番組の録画内容が消去されることはありません。

［◀］で「結合」を選び、決定 を押す

プレイリストのチャプターを作成・再生・編集する場合は
（➜58）

プレイリストの作成・再生・編集

準備
- ●[HDD/DVD/SD切換]を押して、「HDD」または「DVD」を選ぶ。
- ●ディスクやカートリッジの誤消去防止設定(プロテクト)(➜77)を解除しておく。

プレイリストとは
(➜52「番組の編集について」)

- ●プレイリストは再生順を登録するだけなので、ディスク容量はほとんど使いません。ただし、-R(VR) -R DL(VR) でプレイリスト編集を行う場合は、残量の減少に注意が必要です。**(➜ 下記)**
- ●プレイリストやプレイリストのチャプターは、消したり新たに作成しても元の番組やチャプターには影響しません。
- ●録画中やダビング中は、プレイリストの作成、編集はできません。
- ●**「ビデオ DR」の番組ではプレイリストの作成、再生、編集はできません。**

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)
最大記録数
プレイリスト: 99
プレイリストのチャプター: 約 1000
(記録状態によって変化します)

-R(VR) -R DL(VR)
編集するたびに情報が未記録部分に書き込まれるため、何度も繰り返すとディスク残量が減少します。
編集は HDD 上で行い、その後ダビングすることをおすすめします。

前の画面に戻るには

戻る を押す

画面を消すには

戻る を数回押す

前後のページを表示するには
[|◀◀]または [▶▶|] を押す

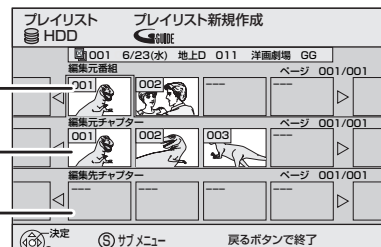
プレイリストを作成する

HDD (「ビデオ」の番組のみ) RAM
-R(VR) -R DL(VR) (ファイナライズしたディスクではできません。)

1 停止中に、 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「プレイリスト」を選び、決定 を押す

4 「新規作成」を選び、決定 を押す

1行目、2行目は、録画した番組とそのチャプターの一覧です。これらをお好みの順番で3行目に登録し、プレイリストを作成します。

5 プレイリストに加えたいチャプターの入っている編集元番組を選び、[▼] を押す

(1行目)

編集元番組内のチャプターをすべて選ぶには
番組を選んで、[決定] を押す(➜ 手順 **7** へ)

6 プレイリストに加えたい編集元チャプターを選び、決定 を押す

(2行目)

編集元チャプターを選び直すには
[▲] を押す

別の編集元番組を選ぶには
[▲] を数回押して編集元番組の行を選び、手順 **5** に戻る。

編集元番組のチャプターを新たに作成するには
1 編集元番組や編集元チャプターを選んで、[**サブメニュー**] を押す
2 「チャプター作成」を選んで [**決定**] を押す
(➜56「チャプターを作成する」)

7 選んだ編集元チャプターの挿入位置を選び、決定 を押す

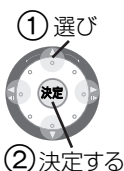
(3 行目)

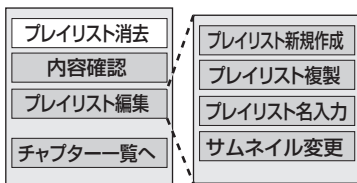
続けて編集元チャプターを追加するには
手順 **6** ～ **7** を繰り返す

8 戻る を押して、作成を終了する

プレイリストを再生・編集する

HDD(「ビデオ」の番組のみ) RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)
(-RW(VR)、ファイナライズした -R(VR) -R DL(VR) では、再生と「内容確認」のみ可能です。)

57 ページ手順 3 のあとに操作します。

4 プレイリストを再生する場合は:
プレイリストを選び、決定を押す
プレイリストが再生されます。

プレイリストを編集する場合は:
プレイリストを選び、サブメニュー S を押す(手順5へ)
「プレイリスト新規作成」のときは、プレイリストを選ばずに [サブメニュー] を押す。

5 **編集する項目を選び、決定を押す**(右記へ)
- 「プレイリスト編集」を選んだときは、さらに [▲][▼] で項目を選び、[決定] を押す。

「チャプター一覧へ」を選んだときは
チャプター一覧画面に切り換わります。(手順 6 へ)

6 チャプターを再生する場合は:
チャプターを選び、決定を押す
チャプターが再生されます。

チャプターを編集する場合は:
チャプターを選び、サブメニュー S を押す(手順7へ)
「チャプター作成」するときは、チャプターを選ばずに [サブメニュー] を押す。

プレイリスト一覧に戻る

7 **編集する項目を選び、決定を押す**
(右記へ)

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

前後のページを表示するには
[|◀◀] または [▶▶|] を押す

複数のプレイリストやチャプターをまとめて選択するには
[▲][▼][◀][▶] でプレイリストなどを選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
- が表示されます。もう一度 [一時停止 ❚❚] を押すと解除されます。

項目	操作
プレイリストを消す プレイリスト消去	消去すると、元に戻すことができません。消去してよいか確認してから行ってください。**[◀]で「消去」を選び、決定を押す**
内容を確認する 内容確認	作成日などの確認ができます。**画面を消すには** [決定] を押す
プレイリストを新しく作る プレイリスト新規作成	**操作方法は** 57 ページ「プレイリストを作成する」の手順 5 へ
プレイリストを複製する プレイリスト複製	**[◀]で「複製」を選び、決定を押す** 複製されたプレイリストは、最も新しいプレイリストとして登録されます。
プレイリスト名を付ける プレイリスト名入力	**文字入力については(➜60)**
プレイリスト一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する サムネイル変更	**操作方法は** 54 ページ「番組一覧で表示される画像(サムネイル)を変更する」へ

項目	操作
チャプターを追加する チャプター追加	**操作方法は** 57 ページ「プレイリストを作成する」の手順 5 へ
チャプターの順番を変える チャプター移動	**[▲][▼][◀][▶] で移動先を選び、決定を押す**
チャプターを作成する チャプター作成	**操作方法は** 56 ページ「チャプターを作成する」へ
区切りをなくしてチャプターをつなぐ チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの区切りをなくして、一つにつなぎます。**[◀]で「結合」を選び、決定を押す**
チャプター部分を消す(部分消去) チャプター消去	**[◀]で「消去」を選び、決定を押す** チャプターをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。

写真を編集する

HDD RAM SD

●写真単位、あるいはフォルダ単位で編集することができます。
●本機では、8MB ～ 2GB までの SD メモリーカードが使用できます。(➜13)
●CD-R や CD-RW に記録された写真は編集できません。

●[HDD/DVD/SD 切換] を押して、編集したい写真が入っているドライブを選ぶ。
●ディスク、カートリッジ、カードの誤消去防止設定 (プロテクト) を解除しておく。(➜77)

1 再生中または停止中に、再生ナビ を押す

例） HDD

HDD RAM

「番組一覧」が表示されていたら

HDD 緑、RAM 赤 を押して
「写真(JPEG)一覧」に切り換える

2 写真を編集する場合は：
編集する写真を選び、サブメニュー を押す

フォルダごと編集する場合は：

1 「フォルダ選択」を選び、決定 を押す

2 フォルダを選び、サブメニュー を押す

前後のページを表示するには
[|◀◀] または [▶▶|] を押す

複数の写真やフォルダをまとめて編集するには
[▲][▼][◀][▶] で写真やフォルダを選び、
[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。もう一度[一時停止❚❚]を押すと解除されます。

例） SD 写真編集の場合
- 写真の消去
- 写真のプロテクト設定
- 写真のプロテクト解除
- 写真のDPOF設定

例） SD フォルダ編集の場合
- フォルダごと消去
- フォルダ名入力
- フォルダのプロテクト設定
- フォルダのプロテクト解除
- フォルダ内のDPOF設定
- 上位フォルダ選択

RAM SD
上位フォルダが異なる対応フォルダがある場合のみ表示されます。

上位フォルダを切り換えるには
1 [▲][▼]で「上位フォルダ選択」を選び、[決定] を押す
2 [◀][▶]でフォルダを選び、[決定] を押す

3 編集する項目を選び、決定 を押す

(右記へ)

項目	操作
消去する 写真の消去 フォルダごと消去	**消去すると記録内容が消え、元に戻すことができません。**消去してよいか確認してから行ってください。 **[◀] で「消去」を選び、決定 を押す** フォルダを消去する場合は、フォルダ内の写真以外のファイルも消去されます。(フォルダ内の下位フォルダは除く)
フォルダ名を付ける※ フォルダ名入力	**文字入力については(➜60)**
誤消去防止の設定 / 解除※ 写真のプロテクト設定 / 解除 フォルダのプロテクト設定 / 解除	**[◀] で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す** プロテクト設定すると🔒が表示されます。解除すると消えます。
プリンタや写真店でプリントする枚数を設定する※ 写真の DPOF 設定 フォルダ内の DPOF 設定 SD	本機で設定すると、他の機器で行った設定は解除されます。 写真やフォルダが DCF 規格 (➜13) でない場合や、カードに残量がない場合は設定できません。 **[◀][▶] で枚数(0 枚～ 9 枚)を選び、決定 を押す** DPOF マークが表示されます。 **設定を解除するには** 「0 枚」に設定する

※他の機器では設定が無効になる場合があります。

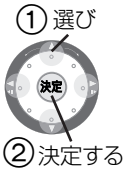
前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには

を押す

文字入力

HDD RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R SD

録画した番組などに名前を付けたりすることができます。

1 入力画面を表示する

予約番組の番組名
(➜ 40「G コード® 入力を使って予約録画する」手順 3)
(➜ 41「録画時間を指定して予約録画する」手順 3)

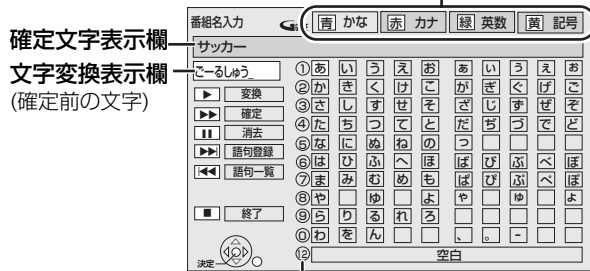
録画後の番組名(➜ 54「番組名入力」)

プレイリスト名(➜ 58「プレイリスト名入力」)

ディスク名(➜ 77「ディスク名入力」)

写真のフォルダ名(➜ 59「フォルダ名入力」)

2 青(かな)、赤(カナ)、緑(英数)、黄(記号)で文字の種類を選び、決定 を押す

●漢字を入力するときは、まず「かな」を選びます。

3 入力する文字を選び、決定 を押す

☞ひらがなのまま入力するには
[▶▶](確定)を押す

☞ひらがなを漢字変換するには

1 [再生▶](変換)を押す
- ●変換候補選択画面が表示されます。

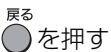
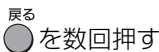
2 [▲][▼]で変換候補を選び、[決定] を押す
- ●[|◀◀] または [▶▶|] で、前ページまたは次ページの文字候補選択画面が表示されます。
- ●[戻る] で入力画面に戻ります。

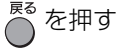
☞よく使う語句を登録したり、登録した語句を呼び出すには(➜ 右記)

☞消去するには
[一時停止 ❚❚] (消去) を押す

4 入力が終わったら、停止■(終了)を押す

番組一覧などのそれぞれの画面に戻ります。

☞前の画面に戻るには
戻る を押す

☞途中で終わるには
戻る を数回押す
(入力した文字は保存されません)

よく使う語句を登録する	**登録できる語句数**:20 個まで **登録できる文字数**(1 個あたり): 半角英数 先頭から 20 文字 その他 先頭から 10 文字 **1** 登録したい語句を入力する **2** ▶▶|(語句登録)を押す **3** [◀] で「登録」を選び、決定 を押す **☞登録を中止するには** 戻る を押す
登録した語句を呼び出す	**1** |◀◀(語句一覧)を押す **2** [▲][▼][◀][▶]で呼び出す語句を選び、決定 を押す
登録した語句を消去する	**1** |◀◀(語句一覧)を押す **2** [▲][▼][◀][▶]で消去する語句を選び、サブメニュー S を押す **3** 「語句消去」を選び、決定 を押す **4** [◀] で「消去」を選び、決定 を押す

数字ボタン [1]～[10/0]、[12]でも文字を入力できます。

例:ひらがな「す」を選ぶ場合

1 [3]を押す
- ●「さ」行に移動します。

2 [3]を2回押し、[決定]を押す
- ●「す」が入力されます。

入力できる文字数について

	種類	半角英数	その他
HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)	番組名※	64	32
	プレイリスト名	64	32
	フォルダ名(-R(VR) -R DL(VR) をのぞく)	36	18
	ディスク名(HDD をのぞく)	64	32
-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R	番組名	44	22
	ディスク名	40	20
SD	フォルダ 名	36	18

※予約録画時　半角英数:44文字　その他:22文字

- ●予約録画時の番組名など、入力したすべての文字が表示されない画面もあります。

デジタル放送の番組のダビングについて

CPRM対応 **DVD-RAM** ／ CPRM対応 **DVD-R**（VR方式）※ ／ CPRM対応 **DVD-R DL**（VR方式）※ にダビングすることができます。

- 8 cmのDVD-RAMには記録できません。

ダビングすると HDD の番組は 消去されます

「1回だけ録画可能」の番組は、HDD から CPRM 対応の DVD-RAM、DVD-R (VR 方式)、DVD-R DL(VR 方式) へ移動のみできます（HDD からは消去されます）。
複製はできません。

- DVD-RAM、DVD-R（VR 方式）、DVD-R DL(VR 方式) から HDD への移動はできません。
- DVD-R（VR 方式）にダビング（移動）する場合は、当社製の DVD-R（CPRM 対応）のご使用をおすすめします。
- ビデオテープへダビングする場合でも、コピーガードにより正常に複製できない場合があります。

ダビングできません

プロテクト（➜54）を設定した番組

「1 回だけ録画可能」の番組から作ったプレイリスト

ハイビジョン画質で録画した番組(ビデオ DR) のダビングについて

ハイビジョン画質やサラウンド音声をそのままダビングできるの?

いいえ。

画質や音声をそのままダビングすることはできません。以下のようにダビングされます。

「ビデオDR」の番組		ダビング後
ハイビジョン画質	ハイビジョン画質の映像は?	通常の画質に変換されてダビング
サラウンド番組	サラウンド番組の音声は?	ステレオ音声でダビング
複数の音声をすべて録画	複数の音声が含まれている番組は?	音声は1つだけダビング
複数の映像をすべて録画	複数の映像が含まれている番組は?	映像は1つだけダビング
字幕情報	字幕情報が含まれた番組は?	再生時、字幕表示の入/切はできない

ダビング速度は?

1倍速のダビングになります。
高速でダビングすることはできません。

(複数の音声や映像、字幕情報が含まれている番組の場合)
音声や映像などを選んでダビングするにはどうしたらいいの?

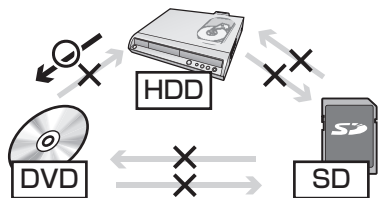
DR番組のDVD保存でダビングを行ってください。
おまかせダビング·詳細ダビングだと、ダビングしたい映像や音声などが選ばれずにダビングされる場合があります。

番組のダビングについて

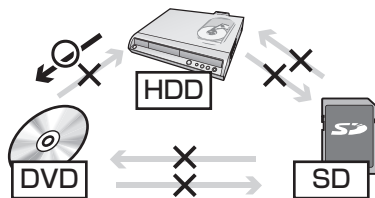
本機では以下の3種類のダビングがあります。

おまかせダビング

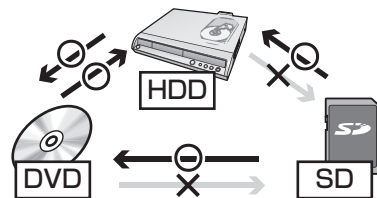
難しい設定なしにHDDにある番組をDVDへかんたんにダビングできます。操作手順も音声ガイドが案内してくれます。

番組のダビングできる方向

DR番組のDVD保存

再生中の「ビデオDR」の番組をダビングすることができます。
複数の音声や映像などが含まれる番組の場合、ダビングする音声･映像などを選ぶことができます。

番組のダビングできる方向

詳細ダビング

お好みの設定で番組やプレイリストのダビングを行うことができます。

番組のダビングできる方向

写真のダビングは(➜74)

Q ダビング元は?

HDD

Q ダビング先は?

RAM -R(VR) -R DL(VR)

ファイナライズ前の -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R

Q 何をダビングしますか?

選べるダビングはこうなります。

- RAM / -R(VR) / -R DL(VR)
  - 「ビデオDR」の番組
    - おまかせダビング：FR ／ 1倍速
    - DR番組のDVD保存：FR ／ 1倍速
    - 詳細ダビング：XP~EP、FR ／ 1倍速
  - 「ビデオ」の番組
    - おまかせダビング：高速 ／ 高速
    - 詳細ダビング：高速、XP~EP、FR ／ 高速OK、1倍速 ／ CM早送り
  - プレイリスト
    - 詳細ダビング：高速、XP~EP、FR ／ 高速OK、1倍速
- ファイナライズ前の -R(V) / -R DL(V) / -RW(V) / +R
  - 「ビデオ」の番組
    - おまかせダビング：高速、FR ／ 高速「入」、1倍速 ／ ファイナライズ自動
    - 詳細ダビング：高速、XP~EP、FR ／ 高速「入」、1倍速 ／ CM早送り ／ ファイナライズ選択
  - プレイリスト
    - 詳細ダビング：高速、XP~EP、FR ／ 高速「入」、1倍速 ／ ファイナライズ選択

マークの見かた

録画モード

- 高速：ダビング元と同じ録画モードになります。
- XP~EP：録画モードを変更します。
- FR：ディスク残量ぴったりに画質を調整します。

ダビング速度

- 高速：高速でダビングすることができます。
- 高速OK：録画モードを「高速」にすると、高速でダビングできます。
- 高速「入」：「高速ダビング用録画」(➜84)を「入」にして録画した番組をダビングする場合は、高速でダビングできます。
- 1倍速：番組の記録時間またはそれ以上の時間がかかります。

こういうときはどのダビングで行えばいいの？

Q ダビング先の残量が気になるときは?

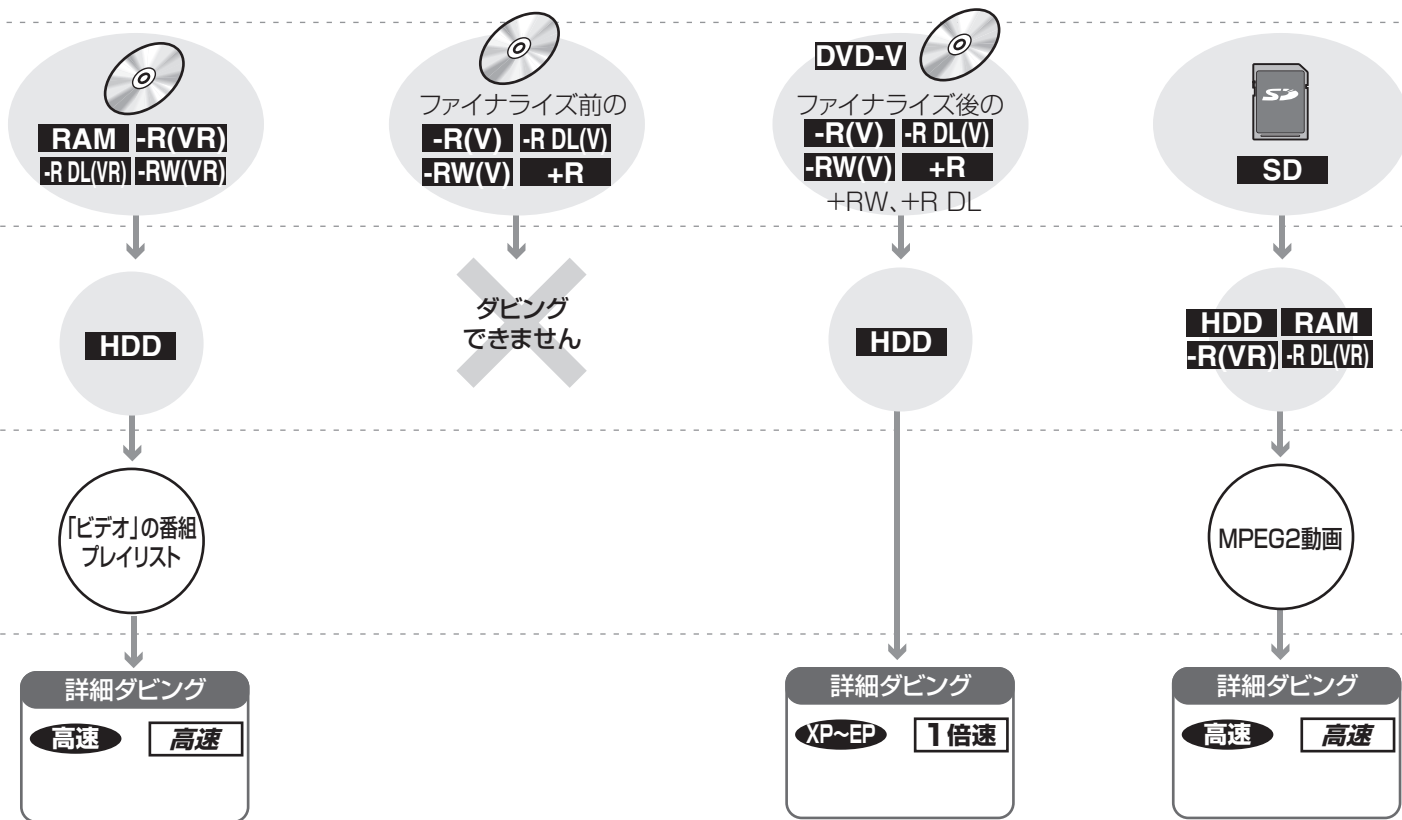
詳細ダビングです。
録画モードを変更してダビングすれば、ダビング先の容量に合わせてダビングできます。
「FR」でダビングすると、ディスク残量ぴったりに画質を自動で調節して記録します。ただし、何番組かをまとめてダビングする場合、ディスク残量ぴったりにならないことがあります。
※ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。（劣化防止にはなります。）

Q 複数の音声や映像を含んだ「ビデオDR」の番組をダビングするときは?

DR番組のDVD保存をおすすめします。
DVDには音声や映像を1つしかダビングできません。
「DR番組のDVD保存」だとダビングしたい音声や映像を選んだ状態でダビングできます。

Q 番組のCMを飛ばしてダビングしたいときは?

詳細ダビングです。
録画モードを「高速」以外に設定したときに実行できます。
（「ビデオDR」番組をダビングするときはできません。）
—5分以上のCMやプレイリスト内のCMには働きません。
—番組の一部がCMとまちがえられて、ダビングされない場合があります。
デジタル放送などの移動される番組(➔61)では、元の番組が消されてしまうので、元に戻すことができません。
CMを「部分消去」(➔54)で消してから、「切」(➔68「詳細設定」)でダビングすることをおすすめします。

自動 CM 早送り
音声が右記の場合のみ働きます。

番組	CM	番組
モノラル／二重	ステレオ	モノラル／二重
再生	スキップ	再生

録画内容によっては正しく働かない場合があります。

ファイナライズとは
記録したディスクを他の DVD 機器でも再生できるように、再生専用ディスクに処理することです。

※再生する機器が、ファイナライズしたディスクの再生に対応している必要があります。

ファイナライズの実行

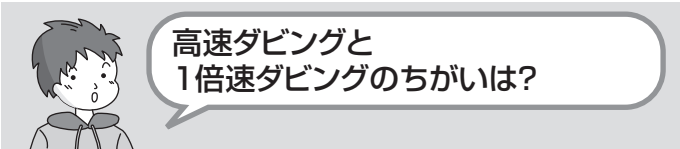
ファイナライズ **自動** ダビングのあと自動でファイナライズします。

ファイナライズ **選択** ダビングのあとファイナライズを行うか選択できます。

「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」は選べません。背景の色や再生方法を設定したい場合は、ダビングする前に、DVD管理の「トップメニュー」や「ファーストプレイ選択」を変更してください。(➔78)

自動CM早送り

CM早送り 録画モードが「高速」以外のときに番組のCMを飛ばしてダビングすることができます。

番組のダビングについて(つづき)

高速ダビングは…

ダビングする番組の記録時間よりもすばやくダビングすることができます。

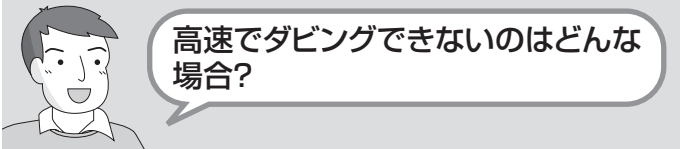
1倍速ダビングは…

ダビングする番組の記録時間またはそれ以上の時間がかかります。

	高速ダビング	1倍速ダビング
チャプター(番組内の区切り)の保持	○	×※1
「サムネイル変更」の保持	○※2	×
ダビング中の録画・再生	○※3	×

※1　RAM -R(VR) -R DL(V) -R DL(VR) 1番組1チャプターとなります。
　　-R(V) -RW(V) +R ダビング後にファイナライズすると、自動的に約5分ごとのチャプターを作成します。

※2　プレイリストをダビングする場合、サムネイルの変更位置が反映されないことがあります。

※3　HDDの番組のみ可能(ただしおまかせダビング中やファイナライズを含むダビング中、SDカードのMPEG 2動画をダビング中はできません。)
- 追っかけ再生や編集などはできません。
- デジタル放送などの「移動される番組」(➜61)を含むダビング中は、プレイリストは再生できません。
- 写真の再生はできません。

●「ビデオ DR」の番組をダビングする場合

「ビデオ DR」の番組は**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画しても、高速でダビングできません。

● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に下記のようにダビングする場合

- 初期設定「高速ダビング用録画」を「切」にして録画した番組を含むダビング
- 部分消去を繰り返した番組
- SDカードのMPEG2動画をHDDにダビングした番組
- 録画モードが異なる番組やFRの複数の番組から作ったプレイリスト
- 音声が混在するプレイリスト(Dolby DigitalとLPCMなど)

●詳細ダビングで「録画モード」を「高速」以外にした場合

上記の場合、1倍速でのダビングになります。

高速でのダビング所要時間のめやす(最高速時/JEITA測定基準によるダビング時間と倍速表示値を示す)

HDD 録画モード	HDD 録画時間	5X高速記録対応 DVD-RAM 所要時間	倍速	16X高速記録対応 DVD-R※1 所要時間	倍速	4X高速記録対応 DVD-R DL(片面2層) 所要時間	倍速	4X高速記録対応 DVD-RW※2 所要時間	倍速	8X高速記録対応 +R※3 所要時間	倍速
XP	1時間	約12分	約5倍	約5分46秒	約10倍	約15分	約4倍	約15分	約4倍	約8分34秒	約7倍
SP	1時間	約6分	約10倍	約2分30秒	約24倍	約7分30秒	約8倍	約7分30秒	約8倍	約4分	約15倍
LP	1時間	約3分	約20倍	約1分17秒	約47倍	約3分45秒	約16倍	約3分45秒	約16倍	約2分	約30倍
EP(6H)	1時間	約2分	約30倍	約55秒	約66倍	約2分30秒	約24倍	約2分30秒	約24倍	約1分20秒	約45倍
EP(8H)	1時間	約1分30秒	約40倍	約45秒	約80倍	約1分53秒	約32倍	約1分53秒	約32倍	約1分5秒	約55倍

1時間の番組をHDDに録画し、表に記入した高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合のダビング速度の最速値です。
ディスク上の書き込み位置やディスクの特性などの条件により時間や速度が変わります。

※1 本機では16× 高速記録対応DVD-Rを使用しても、最大12× の速度でダビングします。

※2 本機では6× 高速記録対応DVD-RWを使用しても、最大4× 高速記録対応DVD-RWの速度でダビングします。

※3 本機では16× 高速記録対応+Rを使用しても、最大8× 高速記録対応+Rの速度でダビングします。

●ダビング中に録画や再生をすると、最高速度にならないことがあります。

高速記録対応ディスク(RAM 5×、-R(VR) -R(V) +R 8× 以上など)に高速ダビングする場合

動作音が気になるときは、**初期設定**「DVDの高速ダビング速度」(➜84)を「静音モード」にしてください。ただし、ダビングにかかる所要時間は長くなります。

DVD-R DL(片面2層)へのダビング

2層にまたがって記録された番組は、再生時に層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。(➜11)

-R DL(V) にダビングする場合

高速モード以外でダビングする場合、1倍速で番組をHDDに一時的に複製した後、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製したHDDの番組は消去されます。以下の場合、-R DL(V) にダビングすることができなくなります。

●HDDの残量が少ない場合(新品のディスク1枚全部にダビングする場合、HDDの残量がSPモードで最大4時間必要になります。)

●HDDに記録されている番組数とダビングする番組数の合計が500を超える場合

Q ダビング実行中にダビングを中止するとどうなる?

例)番組A·B·Cの順にダビングして番組Cの途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

高速 番組 A・B のみダビングされます。

1 倍速 番組 A・B と番組 C の途中までがダビングされます。

ただし

- 番組Cが「1回だけ録画可能」の番組の場合
  - 番組 C はダビング(移動)されず、HDD に残ります。
- -R DL(V) にダビングする場合
  - (HDDに複製中のとき)番組 A・B・C はダビングされません。
  - (ディスクに高速ダビング中のとき)番組 C はダビングされません。

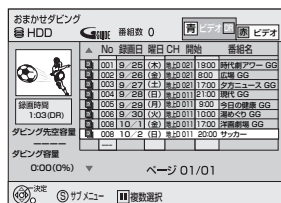
-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R にダビングの場合
番組 C がダビングされない場合でも、番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、ディスク残量は減少します。

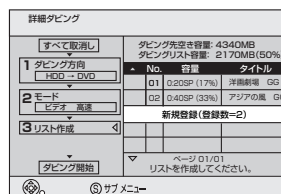
Q ダビング中に予約録画の開始時刻になるとどうなる?

高速 予約録画は、録画先の設定に関わらず HDD に録画されます。(ただし、ファイナライズを含むダビング中は実行されません。)

1 倍速 予約録画は実行されません。

ダビング中のため予約録画が実行されなかった場合、ダビング終了後の時間から、予約録画は開始されます。

Q 複数の番組をダビングする場合、ダビングされる順番はどうなる?

おまかせダビング

画面の上から順にダビングされます。(登録した順にダビングはされません)

詳細ダビング

画面の上から順にダビングされます。

●お好みの順にダビングしたい場合は「詳細ダビング」で、1つずつ番組を登録してください。

ダビングにかかる制限について

16:9映像の番組のダビング

横縦比16:9映像

- -R(V) -R DL(V) +R -RW(V) にダビングする場合
- **初期設定**「高速ダビング用録画」(➜84) を「入」にしてファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングする場合

4:3映像で記録されます

横縦比4:3映像

主·副両音声を記録した番組のダビング

- -R(V) -R DL(V) +R -RW(V) にダビングする場合
- **初期設定**「高速ダビング用録画」(➜84) を「入」にしてファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングする場合
- **初期設定**「記録音声モードの設定[XP時]」(➜85) を「LPCM」にし、XPモードで、1倍速でダビングする場合

こんにちは ✕

どちらか一方のみ記録されます。

ダビング前に**初期設定**「二重放送音声記録」で記録したい音声を選んでください。

ダビングした後に

●再生するときは、[**再生ナビ**] を押して番組を選んで再生してください。(➜45)

番組をダビングする

おまかせダビング

HDD に録画された番組を DVD ディスクにダビングすることができます。

ダビング方向: HDD ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングする場合、**自動的にファイナライズ(➔104)**を行い、再生専用ディスクを作成します。他の DVD 機器でも再生できるようになりますが、後から記録や編集をすることはできなくなります。

おまかせダビング時の速度と録画モードについて

「ビデオ DR」の番組をダビングする場合
1 倍速(録画モードは"FR")

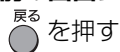
「ビデオ」の番組を以下のディスクにダビングする場合
RAM -R(VR) -R DL(VR) :高速
-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R :下表参照

高速ダビング用録画(➔84)	ダビング速度
「入」で録画した番組のみの場合	高速
「切」で録画した番組のみの場合	1 倍速(録画モードは"FR")
「入」と「切」で録画した番組をまとめてダビングする場合	1 倍速(録画モードは"FR")

ダビング先のディスク容量を超える場合、1 倍速(録画モードは"FR")になります。

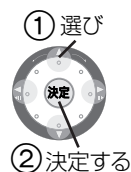
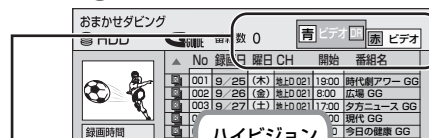
〇〇 お知らせ 〇〇

- **ダビング容量について**
  (ダビング先に記録される容量)
  管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

前の画面に戻るには
戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押したままにする
(ファイナライズ中は中止できません。)

音声ガイドを止めるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➔83)

準備
- ダビング可能なディスクを入れる。
  (フォーマット確認画面が表示されたら ➔76)
- ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

1 停止中に、 を押す

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

番組一覧を切り換えるには
「ビデオ DR」 青 を押す　**「ビデオ」** 赤 を押す

アイコン表示については(➔102)

3 ダビングしたい番組を選び、決定 を押す

前後のページを表示するには
[|◀◀] または [▶▶|] を押す

まとめて登録するには
[▲][▼]で番組を選び、[一時停止 ❚❚]を押す操作を繰り返す
- ☑ が表示されます。もう一度**[一時停止❚❚]**を押すと解除されます。

番組の内容を確認する/並び替えをする/画像を切り換えるには
1 [▲][▼]で番組を選び、サブメニュー を押す
2 [▲][▼]で項目を選び、決定 を押す
内容確認: 選んだ番組の番組名、録画日、チャンネルなどを表示します。
並び替え: 番組の表示順を変更します。表示順は録画日や CH などが選べます(番組に ☑ が付いているときはできません)。表示順は、おまかせダビングの画面を閉じると取消されます。
他の画像一覧へ: 「ビデオ DR」と「ビデオ」を切り換えます。(番組に ☑ が付いているときはできません)

4

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R
ダビングを開始すると自動的にファイナライズを行います。ディスクは再生専用となり、後から記録できなくなります。

「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- ダビングが開始されます。

DR 番組の DVD 保存

HDD に録画した「ビデオ DR」の番組を再生中に、ディスクへダビングすることができます。
ダビング方向： HDD ➡ RAM -R(VR) -R DL(VR)

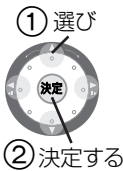
「DR 番組の DVD 保存」時の速度と録画モードについて

ダビング速度： 1 倍速
録画モード： FR

でダビングします。

準備
●ダビング可能なディスクを入れる。
（フォーマット確認画面が表示されたら ➜76）
●ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

前の画面に戻るには
戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押したままにする

1 ダビングする「ビデオ DR」の番組を再生する

複数の映像や音声、字幕情報を含む番組をダビングする場合
ディスクには再生されている内容しかダビングできません。
ダビングする音声などの内容を変更するには
再生設定「信号切換」(➜50)でダビングする内容を選ぶ

2 サブメニュー S を押す

3 「DR 番組の DVD 保存」を選び、決定 を押す

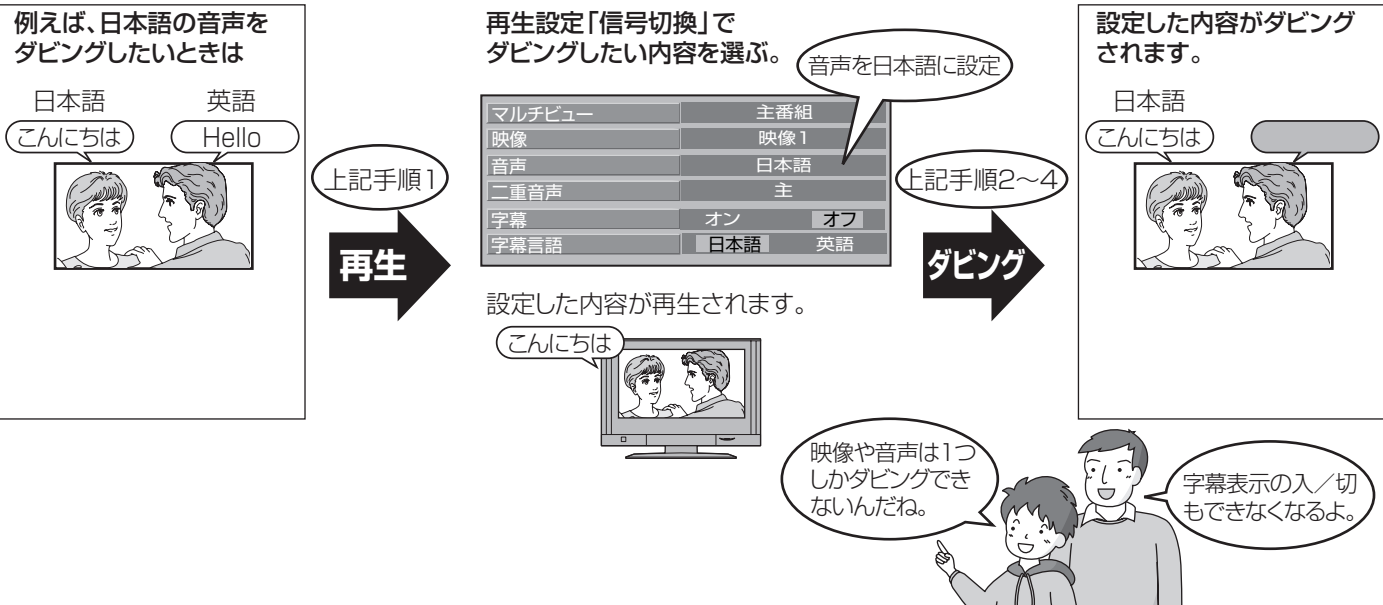
4 「はい」を選び、決定 を押す

●番組のはじめから再生され、ダビングを開始します。

番組をダビングする
残す

複数の映像や音声、字幕情報を含む番組をダビングする場合

番組をダビングする(つづき)

手順5で ディーガがしゃべる!

詳細ダビング

ダビング方向: HDD ➡ RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R
RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR) ➡ HDD (録画モードは「高速」のみ選べます。)
DVD-V (ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R) ➡ HDD (➜70)
SD (MPEG2)➡ HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

準備
- ●ダビング可能なディスクを入れる。(フォーマット確認画面が表示されたら ➜76)
- ●ディスクに十分な残量があることを確認しておく。

基本操作 ①選び ②決定する

1 停止中に、操作一覧 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 設定項目を選び、設定する

1 ダビング方向 HDD → DVD

2 モード ビデオ 高速

3 リスト作成 0

3 ダビング時間 2:00

4 詳細設定

ダビングの詳細な設定ができるのね。

設定したい項目を選び、[▶] を押す(➜ 右記へ)
必要に応じて、この手順を繰り返してください。

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

ダビングが開始されます。

HDD ➡ -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R の場合
「ダビングとファイナライズ」または「ダビングのみ」を選び、決定 を押す

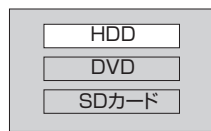
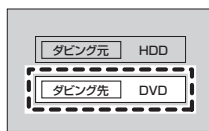
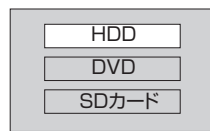
「ダビングとファイナライズ」を選ぶと、ダビング終了後、引き続きファイナライズを行い、再生専用ディスクを作成します。
他の DVD 機器でも再生できるようになりますが、後から記録や編集をすることはできなくなります。

ダビングのみ行います。他のDVD機器で再生することはできません。
ダビングとファイナライズ ダビングのみ
ファイナライズは他のDVD機器で再生できる状態にすることです。

前の画面に戻るには
戻る を押す

音声ガイドを止めるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜83)

ダビングを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押したままにする(ファイナライズ中は中止できません。)

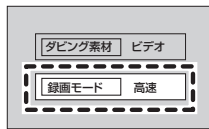
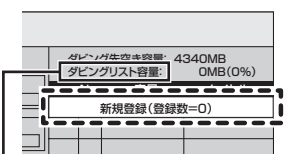
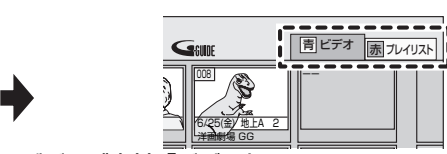
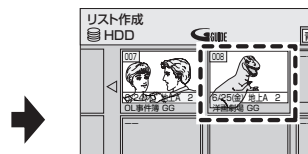
ダビング中に HDD の再生や録画をするには
(高速で、ファイナライズを含まないダビング時のみ)
決定 を押して確認画面を消したあと、再生・録画の操作をする。
[画面表示] を押すと、ダビングの進行状況が確認できます。

何から何にダビング?
1 ダビング方向

ダビング素材を選ぶ
録画モードを設定する
2 モード

ダビングする番組などを選ぶ※
3 リスト作成

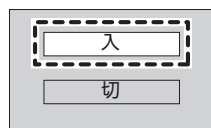
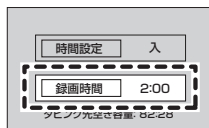
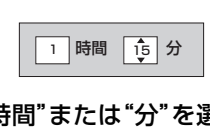
ダビング時間を設定する
3 ダビング時間
(ファイナライズ後のディスクをダビングするときのみ ➜70)

CM を飛ばしてダビングする※
4 詳細設定
(ダビング素材が「ビデオ」で、録画モードを「高速」以外に設定したときのみ)

※ファイナライズ後のディスクをダビングする場合(➜70)はのぞく。

●高速モードで -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R にダビングする場合、 表示のあるもののみ登録できます。

前後のページを表示するには
[|◀◀] または [▶▶|] を押す

まとめて登録するには
[▲] [▼] [◀] [▶] で番組などを選び、[一時停止 ❚❚] を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。もう一度 [一時停止 ❚❚] を押すと解除されます。
●ビデオとプレイリスト一覧を切り換えると、☑ が消えます。

詳細ダビングの便利な機能(➜71)　　**アイコン表示については(➜102)**

「時間設定」を選び、決定 を押す
「入」を選び、決定 を押す
「録画時間」を選び、決定 を押す
"時間"または"分"を選び、[▲] [▼] で設定し、決定 を押す
●[1]～[10/0] も使えます。

●再生を始めるまでの操作時間も含むため、ダビングしたい番組より数分長めに設定してください。

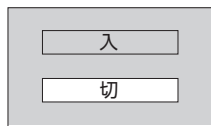
「時間設定」を「切」にした場合は
HDD の容量がなくなるまでダビングを続けます。

「自動 CM 早送り」を選び、決定 を押す
「入」または「切」を選び、決定 を押す

[◀] を押す

(左ページ手順 4 に戻る)

番組をダビングする（つづき）

残す

お知らせ

●再生時間が８時間を越えるプレイリストはダビングできません。またダビング先では番組となります。
●当社製 DVD ビデオカメラで撮影した映像を DVD-RAM から HDD にダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
●**ダビングリスト容量について**(ダビング先に記録される容量)
– 1 倍速の場合は、録画モードによって変化します。
– 管理情報が含まれるなどの理由により、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

ファイナライズ後のディスク(DVDビデオ)をダビングする

ダビング方向: DVD-V (ファイナライズ後の -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R) ➡ HDD
(ファイナライズ後の +RW、+ R DL からもダビングできます)

テレビ画面に表示される内容をそのまま記録します。

トップメニュー画面の操作もそのまま記録されます。

ただし、早送り・早戻し、コマ送り・コマ戻し、一時停止をすると、その部分の映像は記録されません。

お知らせ

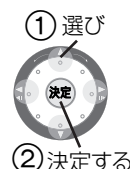
- **市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- ファイナライズした -R(VR) -RW(VR) -R DL(VR) の番組をダビングしたい場合は68ページ「詳細ダビング」へ

前の画面に戻るには
戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押したままにする

音声ガイドを止めるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜83)

68 ページ「詳細ダビング」手順 4 で以下のように設定したあと
「ダビング方向」:「ダビング元」➜「DVD」、「ダビング先」➜「HDD」
「モード」:「ダビング素材」➜「DVD-Video」
「録画モード」を選ぶ(「高速」と「FR」は選べません。)
「ダビング時間」:設定した時間まで HDD にダビングします。

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

ダビングが開始され、終了するまでが 1 番組として記録されます。
(ただし、8 時間を越える場合は、8 時間ごとに分割されます。)

7 ダビングしたい番組を再生する

ディスクの設定によっては、自動的に再生が始まります。
- 最初に右の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までHDDにダビングを続けます。

トップメニューが表示された場合は
[▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[**決定**] を押す

好みの番組を再生するには
1 [**再生ナビ**] を押す
2 [▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[**決定**] を押す

ディスクの再生が始まらない場合は
1 [**再生 ▶**] を押す
2 (**トップメニューが表示されたら**)
[▲][▼][◀][▶] で番組を選び、[**決定**] を押す

SD カードの MPEG2 動画をダビングする

当社製SDビデオカメラなどで撮影したMPEG2の動画を、SDカードから HDD や DVD-RAM、DVD-R(VR 方式)、DVD-R DL(VR 方式) に保存できます。
ダビングをするとダビング先では、撮影した日付単位で 1 番組(ビデオ)として扱われます。
- SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。まず HDD などにダビングしてください。
- MPEG2 動画をダビング中は録画や再生はできません。

※通常の録画番組

停止中に、SD カードをスロットに入れると、右記の画面が自動的に表示されます。
[▲][▼]で「ビデオ(MPEG2)を取込」を選び、[**決定**] を押すと、68 ページ「詳細ダビング」手順 **5** に進むことができます。
(画面上で設定項目を確認し、必要に応じて手順 **4** で設定を変更してください。)

SDカードの操作
SDカードが認識されました。
以下の項目を選択してください。
写真(JPEG)一覧を表示
写真(JPEG)を取込
ビデオ(MPEG2)を取込
決定

- カード内にあるMPEG2動画は自動的にダビングリストへ登録されます。
- カード内に MPEG2 動画がない場合、「ビデオ(MPEG2) を取込」は表示されません。

ダビングの操作方法は

「詳細ダビング」(➜68)をご覧ください。
手順 4 の設定項目は以下のように設定してください。
「ダビング方向」:「ダビング元」➜「SD カード」
「モード」:「ダビング素材」➜「ビデオ」

詳細ダビングの便利な機能

リスト作成画面が表示されているとき
(68 ページ「詳細ダビング」の「リスト作成」時)

1 番組などを選び、[サブメニュー] を押す

2 項目を選び、[決定] を押す

番組などの内容を確認する 内容確認	●選んだ番組などの番組名、録画日、チャンネルなどを確認できます。
並び替えをする 並び替え (HDD リスト表示時のみ)	●番組の表示順を変更します。表示順は No、録画日、曜日、CH、開始時刻、番組名が選べます。 (番組に ☑ が付いている場合はできません) 表示順はリスト登録画面の「リスト作成」に戻るか、ダビングの画面を閉じると、取消されます。
表示方法を変更する リスト表示 サムネイル表示	(「ビデオ」選択時のみ) ●リスト作成画面の表示方法を変更します。 (プレイリストはサムネイル表示のみ可能) (番組に ☑ が付いている場合はできません)
他の画像一覧に切り換える 他の画像一覧へ HDD RAM -R(VR) -R DL(VR) -RW(VR)	(「ビデオ」選択時のみ) ●「ビデオ」または「プレイリスト」一覧画面に切り換えます。
チャプターの確認をする チャプター一覧へ (SD MPEG2 動画のみ)	●SD カードの MPEG2 動画の記録内容(チャプター)を確認できます。

リスト登録画面が表示されているとき
(68、75 ページ「詳細ダビング」の「リスト作成」時)

1 番組などを選び、[サブメニュー] を押す

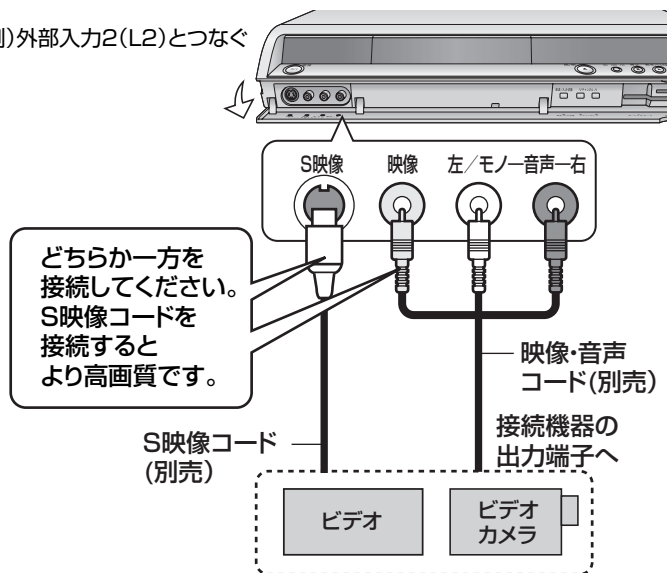
2 項目を選び、[決定] を押す

リストの項目を入れ替える	1[▲][▼]で不要な項目を選び、[決定] を押す 2[▲][▼][◀][▶]で新たに登録したい番組や写真などを選び、[決定] を押す ●項目が入れ替わります。
登録されたリストや設定を取消す すべて取消し	1[▲][▼]で「すべて取消し」を選び、[決定] を押す 2[◀]で「はい」を選び、[決定] を押す ●設定やリストは以下の場合にも消去されることがあります。 – ダビング元で番組や写真の記録や消去をした場合 – ディスクトレイを開ける、電源を切る、カードを取り出す、ダビング方向を変えるなどを行った場合
リストに登録された項目を変更する リスト全消去 追加 消去 移動	**リスト全消去:** リストに登録された項目をすべて消去します。 **追加:** 選んだ項目の上に新しい項目を追加します。追加を選んだときは、さらに [▲][▼][◀][▶] で追加する番組や写真などを選び、[決定] を押してください。 **消去:** 選んだ項目を消去します。まとめて消去することもできます。(➜ 上記「リスト全消去」) **移動:** 選んだ項目を移動して、リストの順番を入れ替えます。「移動」を選んだときは、さらに [▲][▼] で移動先を選び、[決定] を押してください。 (ダビング素材が「写真」のときはできません。)

ビデオやビデオカメラからダビングする

接続

接続時には、本機とビデオやビデオカメラなどの電源を切ってください。

外部入力に接続する場合

☞二重放送の音声を入力する場合

３３ページ「音声多重放送の録画について」をご覧ください。

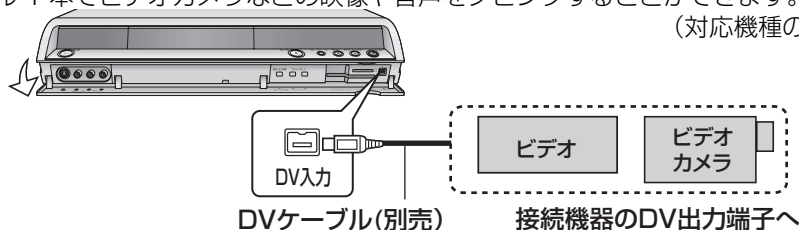
☞モノラル音声を入力する場合

– 外部入力２の映像端子（黄または S 映像）と左音声端子（白）にのみ接続してください。
再生時に音声が左右両方から出力されるように記録されます。

☞外部入力１または３に接続するには

準備編 11 ページ**「ビデオと接続する場合」**をご覧ください。

DV 入力に接続する場合（DMR-EX350 DMR-EX550 のみ）

DV ケーブル 1 本でビデオカメラなどの映像や音声をダビングすることができます。
（対応機種のみ）

- 記録する音声を**初期設定**「DV 入力時の音声の設定」**(➜85)**で選べます。
- 接続した機器から本機を操作することはできません。
- 本機の DV 入力は DV 機器専用です。
- DV 入力経由で本機に接続できる DV 機器（ビデオカメラなど）は 1 台のみです。

16:9 の映像をダビングしようと思うんだけど…

初期設定「高速ダビング用録画」（➜84）が「入」のときに
ダビングすると、４：３の映像※で記録されます。

- **HDD RAM -R(VR) にダビングする場合**
  初期設定「高速ダビング用録画」を「切」にすると、**16：9の映像で記録**することができます。
- **-R(V) -RW(V) +R にダビングする場合**
  初期設定「高速ダビング用録画」の設定に関らず、**4：3 の映像**※**で記録**します。

※**初期設定**「TVアスペクト」**(➜86)**を「16：9フル」に設定すれば、16：9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードで変更できる場合もありますので、ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

ダビング

接続した機器を再生してダビングする

HDD RAM -R(VR)
-R(V) -RW(V) +R

（-R DL(VR) -R DL(V)
にはできません）

DV おまかせ取込機能を使ってダビングする

DV おまかせ取込

（DV 入力に接続したときのみ）

HDD RAM -R(VR)
-R(V) -RW(V) +R

（-R DL(VR) -R DL(V)
にはできません）

準備
- [HDD/DVD/SD 切換] を押して「HDD」または「DVD」を選ぶ。
- [録画モード] を押して録画モード(➜34)を選ぶ。

1 放送/入力切換 を押して、ビデオなどを接続した端子(L1、L2、L3、DV)を選ぶ

2 接続した機器で再生を始め、録画(ふた内部)を押す

録画が開始されます。

一時停止するには

 を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

 を押す

ディスクの残量に合わせて録画するには

ぴったり録画(➜35)

HDD **RAM** **-R(VR)** ダビングされると同時に、映像の切れ目をチャプターの区切りとして、プレイリスト(➜57)が自動作成されるので、ダビング後の編集に便利です。

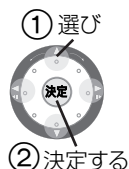
- 本機の電源を入れる。(起動が完了するのを待ちます。)
- [録画モード] を押して録画モード(➜34)を選ぶ。
- ビデオカメラなどの電源を入れ、録画したい映像の先頭でビデオカメラなどを一時停止しておく。(再生モードにしておく。)

準備終了後、右記画面が表示されます。
ダビング先(「HDDへ取込」または「DVDへ取込」)を選び、[決定] を押すと、下記手順 4 へ進むことができます。

DV機器の接続
DV機器が接続されました。 DV機器からの取込を行いますか?
HDDへ取込 / DVDへ取込 / キャンセル

画面が表示されなかったときなどは
[HDD/DVD/SD 切換] を押して「HDD」または「DVD」を選んだあと、下記手順 1 へ。

1 停止中に、 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「DV おまかせ取込」を選び、決定 を押す

DV 機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。

DVおまかせ取込	
DV機器	Panasonic NV-○○○
残量	66:40(SP)
DVおまかせ取込を開始します。	

4 「録画開始」を選び、決定 を押す

録画が開始されます。

録画を止めるには

 を押す

必要なら ダビングした番組を編集する

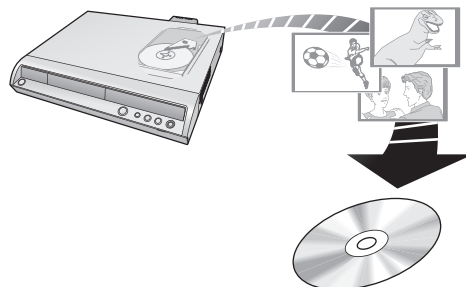
ダビングした番組は、必要に応じて整理・編集を行ってください。詳しくは参照ページの操作説明をご覧ください。

番組名を付ける ➜54「番組名入力」
番組を2つに分割する ➜54「番組分割」
番組の不要な部分を消去する ➜54「部分消去」
その他の編集については**54〜58ページ**をご覧ください。

保存 HDD から DVD にダビングする

HDDにダビングした番組を、DVDにダビングする場合、以下の2つの方法があります。

難しい設定なしにダビングしたいなら
操作手順を音声ガイドが案内してくれます。
➜66「おまかせダビング」

お好みの設定でダビングしたいなら
➜68「詳細ダビング」

お知らせ

- 以下の場合、予約録画の開始時刻になると、予約録画が実行され、ダビングは中止されます。
  – DV 入力からダビング中の場合
  – 外部入力(L1、L2、L3)からダビング中に、アナログ放送の予約録画または、録画モード「DR」以外で予約したデジタル放送の予約録画が開始された場合
- 日付や時刻情報は記録されません。
- DV 機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
- DV おまかせ取込中は、追っかけ再生や同時録画再生はできません。
- 「DV おまかせ取込」がうまく働かない場合は、接続と DV 機器の設定を確かめ、電源を入れなおしてください。それでも働かない場合は、「接続した機器を再生してダビングする」(➜ **左ページ**)を行ってください。
  DV 機器との互換性については、当社ホームページ (http://panasonic.jp/support/dvd/) をご覧ください。

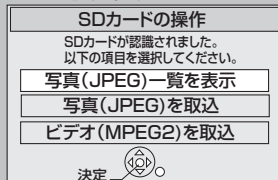
SD カードなどの写真をダビングする

HDD RAM SD

- 本機では、8MB～2GBまでのSDメモリーカードが使用できます。(➔13)
- CD-RやCD-RWに記録された写真はダビングできません。

SD

停止中に、SD カードをスロットに入れると、下記の画面が自動的に表示されます。[▲][▼]で「写真(JPEG)を取込」を選び、[決定] を押すと、右記「カードの写真を一度に HDD や DVD-RAM にダビングする」手順 4 に進むことができます。

SDカードの操作
SDカードが認識されました。
以下の項目を選択してください。
写真(JPEG)一覧を表示
写真(JPEG)を取込
ビデオ(MPEG2)を取込
決定

画面を消す場合は、[戻る] を押す

お知らせ

- フォルダ単位でダビングする場合や「写真(JPEG)一括取込」の場合は、フォルダ内の写真以外のファイルもダビングされます(フォルダ内の下位フォルダは除く)。
- ダビング先のフォルダにすでに写真がある場合、続けて記録されます。
- ダビング先の容量や、ファイルやフォルダの数(➔13)がいっぱいになった場合は、途中でダビングを中止します。
- ダビング元のフォルダ名が入力されていない場合は、ダビング先ではフォルダ名の番号が変わることがあります。ダビング前にフォルダ名を入力することをおすすめします。(➔59「フォルダ名入力」)
- プリント枚数の設定(DPOF)はダビングされません。
- ダビング後の写真の表示順は、写真が作成された日時の順になります。
- ダビングリストへの登録順は、ダビング先に反映されないことがあります。

前の画面に戻るには
戻る を押す

ダビングを実行中に中止するには
戻る を3秒以上押したままにする

音声ガイドを止めるには
初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➔83)

詳細ダビング

手順5で ディーガがしゃべる!

準備 ●DVD-RAM または SD カードを入れる。(➔18)

1 停止中に、 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 設定項目を選び、設定する

3 リスト作成 0

設定したい項目を選び、[▶] を押す
(➔ 右ページへ)

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

- (写真単位の場合のみ)別のフォルダをダビング先に指定できます。(➔ 右ページ)

6 「はい」を選び、決定 を押す

ダビングが開始されます。

カードの写真を一度に HDD や DVD-RAM にダビングする 写真(JPEG)一括取込

準備 ●[HDD/DVD/SD 切換] を押して SD ドライブを選ぶ。

上記「詳細ダビング」手順 2 のあと

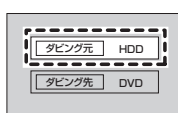
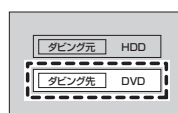
3 「写真(JPEG) 一括取込」を選び、決定 を押す

4 「どこへ」を選び、[◀][▶] でダビング先を設定する

5 「実行」を選び、決定 を押す

ダビングが開始されます。

何から何にダビング？

1 ダビング方向

「ダビング元」を選び、決定を押す → ダビング元を選び、決定を押す → 「ダビング先」を選び、決定を押す → ダビング先を選び、決定を押す

●ダビング元とダビング先を同じにすることもできます。

ダビング素材を設定する

2 モード

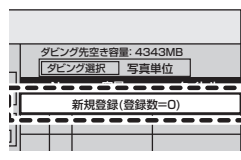
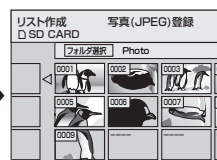
「ダビング素材」を選び、決定を押す → 「写真」を選び、決定を押す

録画モードは自動的に「高速」になり、変更できません。

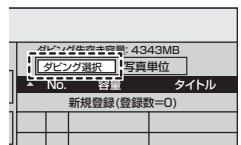
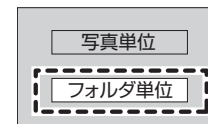
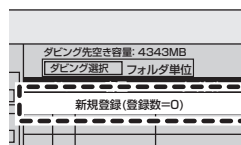
ダビングする写真やフォルダを選ぶ

3 リスト作成

（写真とフォルダや、別々のフォルダの写真を同じリストに登録することはできません。）

写真単位で登録する

「新規登録」を選び、決定を押す → ダビングする写真を選び、決定を押す

●まとめて登録するには(➜下記)
●別のフォルダの写真を選ぶには(➜ 下記)

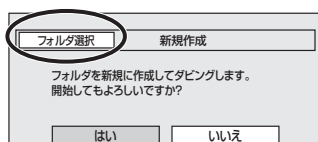
フォルダ単位で登録する

「ダビング選択」を選び、決定を押す → 「フォルダ単位」を選び、決定を押す → 「新規登録」を選び、決定を押す → ダビングするフォルダを選び、決定を押す

●まとめて登録するには(➜下記)
●上位フォルダを切り換えるには(➜ 下記)

前後のページを表示するには
[|◀◀] または [▶▶|] を押す

まとめて登録するには
[▲][▼][◀][▶]で写真またはフォルダを選び、[一時停止 ❚❚]を押す操作を繰り返す
● ☑ が表示されます。もう一度[一時停止 ❚❚] を押すと解除されます。

詳細ダビングの便利な機能(➜71)

[◀] を押す（左ページ手順 4 に戻る）

別のフォルダの写真を選ぶには		1「フォルダ選択」を選び、決定を押す ●上位フォルダを切り換えるには（➜ 下記） 2 フォルダを選び、決定を押す
別のフォルダをダビング先に指定するには		1「フォルダ選択」を選び、決定を押す 2 フォルダを選び、決定を押す
上位フォルダを切り換えるには （本機で認識できる上位フォルダがある場合のみ）	1 [サブメニュー] を押す 2「上位フォルダ選択」を選び、[決定] を押す 3 [◀][▶]でフォルダを選び、[決定] を押す ●上位フォルダの異なるフォルダを同じリストに登録することはできません。	

フォーマット/ディスク名入力/ディスクプロテクト/全番組消去

フォーマットとは

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。(パソコンデータなども含む。)すべて消去してよいか確認してから行ってください。(番組やフォルダ、ディスクやカードにプロテクトを設定していても消去されます。)

フォーマット確認画面が表示されたら

例) RAM

フォーマット確認

このディスクは規定のフォーマットがされていません。
DVD管理でフォーマットを行いますか?

はい　いいえ

DVD-RAM、DVD-RW を入れたとき

ディスクが本機で記録できる状態になっていないときに表示されます。

CPRM 対応の DVD-R、DVD-R DL を入れたとき

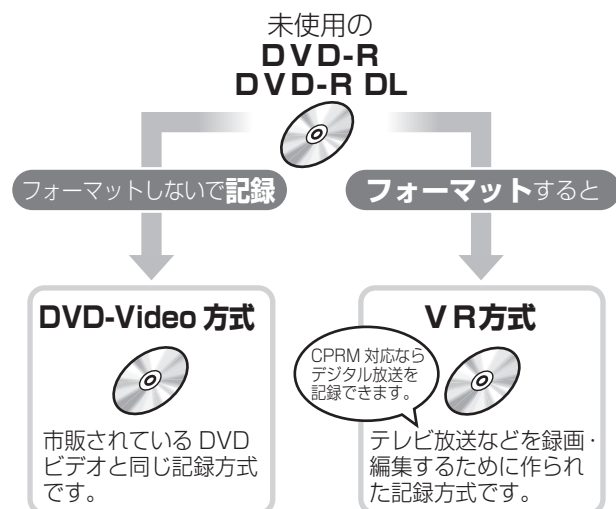
ディスクに記録する方式が未定のときに表示されます。

フォーマットを行う場合は

[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す

(➜ 右ページ「ディスクやカードを初期化する」手順1へ)

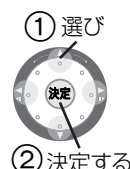
DVD-R、DVD-R DL の記録方式とフォーマットについて

- 本機では、DVD-R、DVD-R DL をフォーマットせずに使用した場合、DVD-Video 方式で記録されます。
- ＶＲ方式で記録する場合はフォーマットを行ってください。

いったん記録またはフォーマットすると、後から記録方式を変更することはできません。

記録方式の特徴については(➜9)

HDD　RAM　-R(VR)　-R(V)　-R DL(VR)　-R DL(V)　-RW(V)　-RW(VR)　+R　SD

準備

- ディスクやカードを編集する場合は、ディスクやカードを入れる。(➜18)
- [HDD/DVD/SD切換]を押して、編集したいドライブを選ぶ。
- ディスクやカードの誤消去防止設定(プロテクト)を解除しておく。(➜ 右ページ)

1 停止中に、 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、(決定) を押す

3 「HDD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、(決定) を押す

例) RAM

例) -R(V)

4 整理したい項目を選び、(決定) を押す

(右ページへ)

前の画面に戻るには

 を押す

画面を消すには

 を数回押す

音声ガイドを止めるには

初期設定「音声ガイドの出力」を「切」にする(➜83)

左ページ手順 1 ～ 4 のあとに操作します。

ディスクに名前を付ける

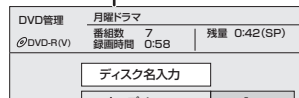
ディスク名入力

RAM -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

（ファイナライズしたディスクにはできません。）

文字入力については（➜60）

●未使用の DVD-R、DVD-R DL にディスク名を入力すると、DVD-Video 方式になります。VR 方式で記録したい場合は、先にフォーマットしてください。（➜ 下記）

入力したディスク名は「DVD管理」画面に表示されます。

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

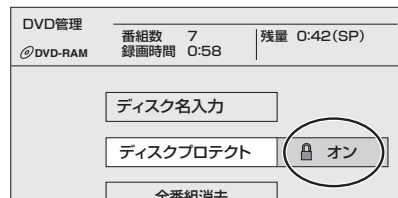
誤消去防止の設定/解除

ディスクプロテクト

RAM -R(VR) -R DL(VR)

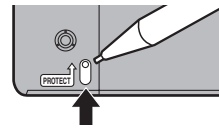
（ファイナライズしたディスクにはできません。）

ディスクの内容を誤って消去しないように設定できます。

[◀]で「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定を押す

プロテクト設定すると“🔒 オン”が表示されます。

カートリッジ付き DVD-RAM やカードの場合

本機で左記の設定をしなくても、ディスクやカードで誤消去防止設定ができます。

カートリッジ付きディスク

設定すると、本体に入れたとき自動的に再生します。

SD カードなど

スイッチを「LOCK」側にする。

番組をすべて消去する

全番組消去

HDD RAM -R(VR) -R DL(VR)

（ファイナライズしたディスクにはできません。）

全番組消去

全番組消去を行うと、ディスクの番組とプレイリストが全て消去されます。
全番組消去を実行してもよろしいですか?

はい　いいえ

1 [◀] で「はい」を選び、決定 を押す

2 [◀] で「実行」を選び、決定 を押す

●**実行すると元に戻すことはできません。**
よく確認してから実行してください。

お知らせ

●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。

●プロテクトを設定した番組がある場合は、働きません。

● HDD RAM 写真は消去されません。

● -R(VR) -R DL(VR) 消去しても残量は増えません。

ディスクやカードを初期化する

HDD のフォーマット

HDD

ディスクのフォーマット

RAM -RW(V) -RW(VR)

フォーマット (VR 方式)

-R(V) -R DL(V)（未使用のディスクのみ）

カードのフォーマット

SD

例）RAM

ディスクのフォーマット

フォーマットを行うと、ディスク内容が全て消去されます。このディスクのフォーマットには、約○分かかります。
フォーマットを実行してもよろしいですか?

はい　いいえ

1 [◀]で「はい」を選び、決定 を押す

2 [◀]で「実行」を選び、決定を押す

●フォーマットが始まり、通常は数分（RAM 最大約70分）かかります。

フォーマットを中止するには

戻る を押す

● RAM フォーマットが2分以上かかる場合のみ中止できます。ただし、再度フォーマットを行わないと使えません。

お願い

フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。

●CD-R/RWはフォーマットできません。

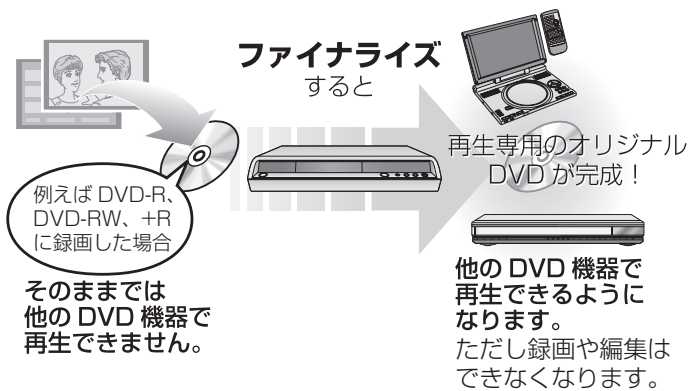
● -RW(V) -RW(VR) フォーマットすると DVD-Video 方式になります。VR 方式にフォーマットすることはできません。

●未使用の DVD-R、DVD-R DL をフォーマットすると、VR 方式になります。（フォーマットすると、DVD-Video 方式では記録できなくなります。）

他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

ファイナライズとは

そのままでは他の DVD 機器で再生できません。

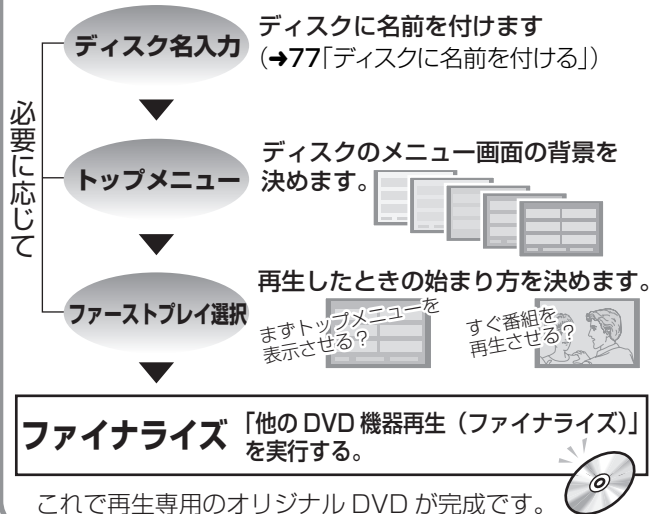
他の DVD 機器で再生できるようになります。
ただし録画や編集はできなくなります。

-R(VR) -R DL(VR) はファイナライズしても、-R(VR) -R DL(VR) の再生に対応した機器でしか再生できません。

- 他のＤＶＤ機器で再生するには、それぞれの機器がファイナライズしたディスク(記録方式)の再生に対応している必要があります。
- ファイナライズ後も、録画状態によっては他の機器で再生できない場合があります。

ファイナライズの前に

ファイナライズ 「他の DVD 機器再生（ファイナライズ)」を実行する。

これで再生専用のオリジナル DVD が完成です。

76 ページ手順 4 のあとに操作します。

メニュー画面の背景を設定する

トップメニュー

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

[▲][▼][◀][▶] でお好みの背景を選び、決定 を押す

- トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。
  (➜54「サムネイル変更」)

再生の始まり方を設定する

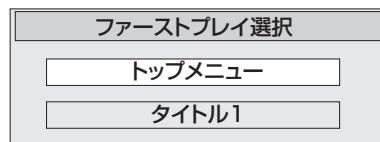
ファーストプレイ選択

-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R

ファイナライズ後のディスクの再生の始まり方を設定できます。

[▲][▼] で「トップメニュー」または「タイトル１」を選び、決定 を押す

トップメニュー :再生時、メニュー画面を表示する
タイトル１ :再生時、ディスクの先頭(タイトル１)から再生する

ファーストプレイ選択
トップメニュー
タイトル1

他の DVD 機器で再生できるようにする

他の DVD 機器再生（ファイナライズ)

-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R

1 [◀] で「はい」を選び、決定 を押す

2 [◀] で「実行」を選び、決定 を押す

- ファイナライズが始まります。実行中は中止できません。
- ファイナライズは数分から最大１５分（-R DL(V) -R DL(VR) 最大 60 分)かかります。
- 高速記録対応ディスクの場合、確認画面に表示される時間より長くかかることがあります。(最大で約４倍)

他のDVD機器で再生する(ファイナライズ)
他のDVD機器で再生するには、ファイナライズが必要です。開始すると約○分かかります。
ファイナライズを行いますか?
はい いいえ

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

ファイナライズすると…

- -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R **再生専用となり、記録や編集はできなくなります。**
- -RW(V) 再生専用となりますが、フォーマット(➜77)すると、繰り返してダビングや編集ができます。ただし録画していた番組などはすべて消去されます。
- -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R
  – 高速モードでダビングした番組では、ダビング時に複製されたチャプターがファイナライズ後も保持されます。
  – 直接録画した番組や高速モード以外でダビングした番組では、約５分ごとのチャプターが自動的に作成されます。(-R DL(V) は作成されません。)
  (実際に作成されるチャプターの長さは、録画状態や録画モードによって大きく変化します）
  – 番組やチャプターのつなぎ目が数秒間静止するようになります。

チャプターの最大記録数:
-R(V) -R DL(V) -RW(V) 約 1000
+R 約 250
(記録状態によって変化します）

お知らせ

- 本機以外の機器で録画したディスクはファイナライズできないことがあります。
- 再生互換などのDVD関連情報は、当社ホームページをご覧ください。(http://panasonic.jp/support/dvd/)

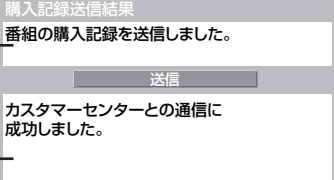
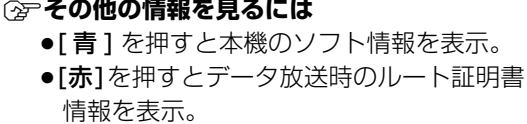
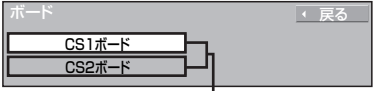
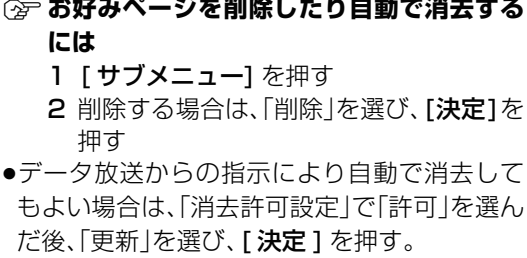
いろいろな情報を見る（メール / 情報）

放送局から届くメールや、その他本機が送受信する情報などを確認します。

メール / 情報の基本操作

1 [操作一覧] を押す
2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
3 [▲][▼]で「メール / 情報」を選び、[決定] を押す
4 [▲][▼]で確認する項目を選び、[決定] を押す

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

画面を消すには
[戻る] を数回押す

項目	内容	
放送メール	放送メールには、放送局からのお知らせ（最大 31 通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の 1 通のみ保存）などがあります。 **[▲][▼] で確認したいメールを選び、[決定] を押す** ●本機の機能向上のためのダウンロード情報が届いた場合、メールの内容画面の下部にダウンロード予約ボタンが表示されます。ダウンロードの予約を「する」または「しない」を選んでください。 「する」を選んだ場合、メールに記載されているダウンロード開始時刻の約５分前には、電源を切っておいてください。 ※ダウンロード予約の設定が「自動」の場合は、ダウンロード予約ボタンは表示されず、自動的にダウンロードが行なわれます。 **ダウンロード予約の設定については（➜ 準備編 34）** ●メールが最大保存数を超えると、未読／既読に関係なく、日付けの古い順に消去されます。また、最大保存数を超えていなくても、受信から14 日経過したメールは消去されます。 ●メールはお客様自身で消去することはできません。 ●メールの送信や返信はできません。	
購入記録	購入した有料番組を確認できます。 価格改定などにより請求金額は異なる場合があります。	**累計金額をリセット（0円に戻す）には** 1 **[取消し]** を押して、リセット画面を表示させる 2 [◀][▶]で「はい」を選び、**[決定]** を押す リセットした項目は、うすい文字で表示されます。
購入記録送信結果	有料放送の購入情報が正しく送信されているかどうか確認します。 ●前回の送信結果として、送信失敗のために再送信をうながす旨が表示される場合があります。その場合は「送信」を選び、**[決定]**を押すと再送信できます。	最新の送信記録を表示 前回の送信結果を表示 （画面例）購入記録送信結果 番組の購入記録を送信しました。 送信 カスタマーセンターとの通信に成功しました。
双方向通信一覧	データ放送で電話回線を利用した履歴などを確認します。	
B-CAS カード	契約されている各委託放送事業者のカスタマーセンターへの問い合わせのときなど、B-CAS カードの番号が必要なときに使用します。	
ID 表示	当社の「お客様ご相談センター」への問い合わせのときなど、本機の情報を調べたいときに使用します。	**その他の情報を見るには** ●**[青]** を押すと本機のソフト情報を表示。 ●**[赤]** を押すとデータ放送時のルート証明書情報を表示。
ボード	110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。 **1 [▲][▼] で「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、[決定] を押す** **2 [▲][▼] で確認したい情報を選び、[決定] を押す**	 **CS1 ボード**:「CS1」からの情報 **CS2 ボード**:「CS2」から情報
お好みページ	データ放送の画面上で、「お好みページ」の登録操作を行ったときに登録されます。今後、このようなデータ放送が徐々に増えてくる予定です。（2006 年 3 月現在） ただし、ページによっては本機で登録や表示ができないものがあります。 **[▲][▼] で実行したいタイトルを選び、[決定] を押す** 登録されている内容に従った動作が行われます。 例えば、指定されたテレビ放送のチャンネルに切り換わったりします。	**お好みページを削除したり自動で消去するには** 1 **[サブメニュー]** を押す 2 削除する場合は、「削除」を選び、**[決定]**を押す ●データ放送からの指示により自動で消去してもよい場合は、「消去許可設定」で「許可」を選んだ後、「更新」を選び、**[決定]** を押す。

放送設定を変える(放送設定)

放送設定一覧(➜80 ～ 82)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

放送設定の基本操作

1 [操作一覧] を押す
2 [▲][▼]で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
3 [▲][▼]で「放送設定」を選び、[決定] を押す
4 [▲][▼]でメニューを選び、[決定] を押す
5 [▲][▼]で設定項目を選び、[決定] を押す
●さらに項目がある場合はこの操作を繰り返してください。
6 [◀][▶]で設定内容を選び、[決定] を押す

放送設定
かんたん設置設定
放送設置
デジタル放送･再生
ダウンロード
放送設定リセット
決定(3秒)
戻る

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

画面を消すには
[戻る] を数回押す

お知らせ
●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。
●[決定] を押すときは、周囲のボタンを押さないように注意してください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
かんたん設置設定	かんたん設置設定(➜ 準備編 19)	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。
放送設置	→[決定]を3秒以上押して、さらに設定します。	
	チャンネル設定(➜ 準備編 41 ～ 45)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上アナログ	
	地上デジタル	
	BS	
	CS1	
	CS2	
	スキップ設定	●視聴する ●スキップする:[放送 / 入力切換] で選択できなくなります。
	番組表設定(➜ 準備編 29)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	G ガイド地域設定	●札幌～沖縄:(「かんたん設置設定」の実行で自動的に設定)
	番組表受信設定	BS908:(放送局からの案内がない限り、変更しないでください)
	G ガイド受信確認	G ガイド受信スケジュールを確認できます。
	地域設定(➜ 準備編 34)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	県域設定	●東北海道～沖縄県
	郵便番号	――― - ――――(郵便番号)
	地域設定消去	●はい ●いいえ
	アンテナ設定(➜ 準備編 30)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上デジタル ― アッテネーター	●オフ ●オン
	衛星 ― アンテナ電源	●オン ●オフ
	電話設定(➜ 準備編 36)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	回線設定	●自動 ●プッシュ ●ダイヤル 20 ●ダイヤル 10
	トーン検出 「回線設定」(➜ 上記)が「自動」以外の時に設定できます。	●する ●しない
	内線設定	―――――――――(内線番号)
	電話テスト	――
	発信者番号通知	●指定なし ●通知する ●通知しない
	電話会社設定	―――――――――(電話会社番号)
	マイラインプラス 「電話会社設定」(➜ 上記)を設定した時のみ設定できます。	●解除する ●解除しない

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
放送設置	B-CAS カードテスト(➜ 準備編 34)	――
	ネットワーク設定 DMR-EX350 DMR-EX550 (➜ 準備編 38)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	接続テスト	――
	IP アドレス自動取得	●する　●しない
	IP アドレス	―――.―――.―――.―――
	サブネットマスク	―――.―――.―――.―――
	ゲートウェイアドレス	―――.―――.―――.―――
	DNS-IP 自動取得	●する　●しない
	プライマリ DNS	―――.―――.―――.―――
	セカンダリ DNS	―――.―――.―――.―――
	接続速度自動設定	●オン　●オフ
	接続速度設定 「接続速度自動設定」(➜ 上記)が「オフ」時のみ設定できます。	●10BASE 半二重　●10BASE 全二重 ●100BASE 半二重　●100BASE 全二重
	MAC アドレス	＊＊-＊＊-＊＊-＊＊-＊＊-＊＊(MAC アドレス表示)
	ブラウザ設定 DMR-EX350 DMR-EX550 (➜ 準備編 40)	→[決定]を押して、さらに設定します。
	標準に戻す	―
	プロキシアドレス	(初期値は空欄)
	プロキシポート番号	(初期値は 0)
	受信設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	地上デジタル 物理チャンネル(➜準備編49)を指定してアンテナレベルを確認します。	●物理チャンネル選択　―― CH
	衛星 衛星周波数などを変えます。(放送局からの案内がない限り、変更しないでください。)	●トランスポンダ選択　BS-1 ～ BS-15、CS-2 ～ CS-24 ●衛星周波数　――.――――GHz
デジタル放送・再生	字幕の設定 デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど(文字スーパー)を表示させるための設定です。 HDD RAM -R(VR) 録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時にはその設定内容で再生されます。	→[決定]を押して、さらに設定します。 字幕の設定　◀ 戻る 字幕　オン　オフ 字幕言語　日本語　英語 文字スーパー　オン　オフ 文字スーパー言語　日本語　英語 ●「字幕」/「文字スーパー」が「オン」でも、字幕/文字スーパーのない番組や設定した言語の字幕 / 文字スーパーがない場合、字幕 / 文字スーパーは表示されません。 ●強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。 ●地上アナログ放送の文字放送(字幕)は見られません。
	字幕	●オン　●オフ
	字幕言語	●日本語　●英語
	文字スーパー	●オン　●オフ
	文字スーパー言語	●日本語　●英語

放送設定を変える（放送設定）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
デジタル放送・再生（つづき）	**視聴制限設定** ●年齢や購入金額の上限を設定できます。 ●上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。入力すると番組を見ることができます。 ●年齢制限を超える番組は、番組表（G ガイド）などで「･･･」と表示されます。	→[決定] を押して、さらに設定します。 暗証番号登録 0 ～ 9 番号入力 # 1文字削除 戻る 視聴制限を利用するには暗証番号登録が必要です。 暗証番号を入力してください。 ― ― ― ― **画面の指示に従って [1] ～ [10/0] を押して，暗証番号（4 桁）を入力する** ●10 秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。 ●初めて入力するときは番号を2 回入力し、登録します。暗証番号は、忘れないようにメモをしておいてください。 〇〇お知らせ〇〇 **4 桁の暗証番号は自由にお決めいただけます。もし忘れた場合は、契約されている各委託放送事業者にお問い合わせください。** ●暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。
	視聴可能年齢	●<u>無制限</u>　●4 才～ 19 才（1 才刻み）
	一番組限度額	●<u>無制限</u>　●100 円　●500 円　●1000 円　●1500 円　●2000 円　●2500 円　●3000 円
	暗証番号変更	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は残ります。
	暗証番号取消し	●「視聴可能年齢」と「一番組限度額」の設定は「無制限」に戻ります。
	設定した年齢や購入金額を超える番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。 視聴制限があります。 暗証番号を入力してください。 ― ― ― ―	●暗証番号を入力すると、番組が映ります。 ●「視聴可能年齢」の場合は、一度暗証番号を入力すると、電源を「切」にするまで見ることができます。
	選局対象 デジタル放送で [∧∨ チャンネル] ボタンを押して順送りできるチャンネルを選びます。	●**お好み**：リモコンの [1] から [12] に設定されているチャンネルとデジタル放送で設定した 13 ～ 36 までのチャンネル ●**テレビ**：テレビ放送（映像＋音声）のチャンネルのみ ●**ラジオ**：ラジオ放送（音声）のチャンネルのみ ●**データ**：データ放送のチャンネルのみ ●**<u>すべて</u>**：受信できるすべてのチャンネル
ダウンロード	**ダウンロード予約（➜ 準備編 34）** デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。	●**<u>自動</u>**：電源「切」時に、自動的にダウンロードします。 ●**手動**：情報が届いた場合、メールで知らせます。 **（➜79「放送メール」）**
放送設定リセット	→[決定] を３秒以上押して、さらに設定します。	
	設定項目リセット アンテナ設定、電話設定の設定値をお買い上げ時に戻します。	●**はい**　●**<u>いいえ</u>**
	個人情報リセット 本機に記録されているお客様の操作に関する個人情報（メールや購入記録、データ放送のポイントなど）が、すべて消去されます。 廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。	●**はい**　●**<u>いいえ</u>** 〇〇お知らせ〇〇 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。

本機の設定を変える（初期設定一覧）

初期設定一覧(➜83 ～ 86)をご覧になり、必要であれば設定を変更してください。設定内容は、電源を切っても保持されます。

前の画面に戻るには
戻る を押す

画面を消すには
戻る を数回押す

〇〇 お知らせ 〇〇

操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
設置	**自動電源〔切〕** 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	●2H　●6H　●切 時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから2 時間後または 6 時間後に、電源が切れます。
	リモコンモード(➜ 準備編 32)	●リモコン1　●リモコン2　●リモコン3
	ワイドモード テレビのS映像入力に合わせて出力を設定します。(➜ 準備編 24)	●S1　:テレビの端子が「S1」のとき。 ●S1/S2 :テレビの端子が「S1」または「S2」のとき。 ●切　:テレビの端子が「S」、またはテレビ側で、自動的にワイドテレビの画面設定に切り換える機能を作動させたくないとき。
	時刻合わせ(➜ 準備編 32)	●(年/月/日/時/分)　●自動時刻チャンネル
	音声ガイドの出力 「かんたん設置設定」などの実行時に音声で操作ガイダンスを行います。	●入　●切　本書の ディーガがしゃべる! マーク部分で働きます。(詳しくは ➜7)
	クイックスタート 「入」に設定すると、電源「切」状態から、以下の操作がすばやく行えるようになります。(映像または S 映像コード接続時) [番組表] を押して約 1.9 秒後※に、番組表(G ガイド)を表示します。 [電源] を押して約 1.9 秒後※に、テレビ番組を見ることができます。 ※D端子ケーブルやHDMI ケーブルで接続している場合は、さらに数秒かかります。 ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。 ●そのほかの操作は、電源を入れてから数十秒かかります。	●入　●切 「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 –待機時消費電力が増えます。 –本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(一週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に "PLEASE WAIT" と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブや HDD から動作音がしますが、故障ではありません。)
	初期設定リセット 設定をお買い上げ時の設定に戻します。 (時刻と視聴制限は除く)	● する　● しない 設定の初期化を行うと、本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の状態(リモコン 1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合は(本体表示窓に "U30" と表示)、リモコンモードを変更してください。 (➜ 準備編 33「本体表示窓に "U30" と表示されたとき」)

本機の設定を変える(初期設定一覧)(つづき)

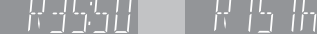
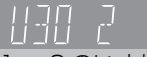
メニュー	設定項目	設定内容(下線部はお買い上げ時の設定です)
ディスク	**再生設定**	→[決定]を押して、さらに設定します。
	視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。 – 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1] ～ [10/0]で暗証番号(4けた)を入力してください。 – **暗証番号は忘れないでください。**	●レベル8　:すべてのディスクが視聴可。 ●レベル7～1:制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が視聴不可。 ●レベル0　:すべてのディスクが視聴不可。 ●ロック解除　●暗証番号変更　●レベル変更　●一時解除
	DVD-AudioのVideoモード再生 DVDオーディオに収録されたDVDビデオ映像を再生します。	●入(電源「切」または本体の[▲開/閉]で「切」に戻ります) ●切
	音声言語 DVDビデオ再生時の音声を選びます。	●日本語　●英語 ●オリジナル(ディスクの最優先言語で再生) ●その他＊＊＊＊ **＊には [1] ～ [10/0] で言語番号(➜106)を入力** (選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面(➜44)でのみ切り換えるものもあります)
	字幕言語 DVDビデオ再生時の字幕言語を選びます。	●オート:「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。 ●日本語　●英語 ●その他＊＊＊＊
	メニュー言語 テレビ画面に表示される言語を選びます。	●日本語　●英語 ●その他＊＊＊＊
	記録設定	→[決定]を押して、さらに設定します。
	EP時の記録時間 録画モードがEP時の最大記録時間を選びます。(➜30「録画モード」)	●EP(6H)　:4.7 GBディスクに6時間記録 ●EP(8H)　:4.7 GBディスクに8時間記録
	高速ダビング用録画 -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R HDD に録画した番組を、高速ダビングできるようになります。ただし録画される番組は画面サイズなどが制限されます。(➜ 右記) 「切」に設定していると、右記の制限はかかりませんが、-R(V) -R DL(V) -RW(V) +R へ高速ダビングはできなくなります。 ●この設定はアナログ放送や外部入力(DV入力含む)から録画するときやファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)をダビングするときに有効です。	●入:高速ダビング対応にする→[決定]を押して、さらに「はい」を選びます。 – 録画される番組には以下の制限がかかります。 ·画面サイズは 4:3 になります。 ·二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜ 右ページ)で選んだ方の音声のみ記録されます。 – 放送受信中の音声を切り換えることはできなくなります。 二重放送の音声は、「二重放送音声記録」(➜ 右ページ)で選ばれている方が出力されます。 ●切
	DVD の高速ダビング速度 高速モードでのダビングする速度を設定します。(RAM 5X、-R(VR) -R(V) +R 8X 以上の高速記録対応ディスクの場合など)	●最高速モード ●静音モード　:ダビング時の動作音が小さくなります。ただし、ダビングの所要時間は長くなります。
	デジタル放送録画モード DR 固定 デジタル放送を HDD に録画する場合の録画モードを設定します。	●入:録画モードは「DR」に固定されます。 ●切:録画モードは「DR」、「XP」～「EP」、「FR」が選べます。
映像	**スチルモード** 一時停止時の画像の表示方法が選べます。 (➜105「フレーム/フィールド」)	●オート ●フィールド:動きのある映像や"オート"時にぶれが生じるとき ●フレーム:"オート"時に細かい絵柄などが見えにくいとき
	シームレス再生 番組と番組のつなぎ目や部分消去した部分などの再生する状態を選べます。 (「ビデオ DR」の番組には無効です。)	●入:なめらかに再生(早見再生中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります) ●切:精度よく再生(つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります)
	HD ノイズフィルター ざらつきが少なく柔らかい画像にします。	●入 :「D 端子出力解像度」(➜86)が「D3」「D4」のときのみ有効 ●切

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
音声	**音声のダイナミックレンジ圧縮** DVD-V 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	●入（ドルビーデジタルの音声にのみ働きます） ●切
	二重放送音声記録 記録する二重放送の音声を選びます。	●主音声　●副音声 以下の場合、選択された音声が記録されます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に録画 / ダビングする場合 ●「高速ダビング用録画」（➜ 左ページ）を「入」にしてアナログ放送を録画する場合 ●「高速ダビング用録画」（➜ 左ページ）を「入」にしてファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングする場合 ●「記録音声モードの設定〔XP 時〕」（➜ 下記）を「LPCM」にして録画する場合
	デジタル出力	→[決定]を押して、さらに設定します。
	PCMダウンサンプリング変換 サンプリング周波数96 kHzまたは88.2 kHzで収録された音声を48 kHzまたは 44.1 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。	●入：96 kHzまたは 88.2 kHz に対応していない機器と接続したとき。 ●切：96 kHzまたは 88.2 kHz に対応した機器と接続したとき。 （176.4 kHz 以上の信号や著作権保護処理がされているディスクの出力は、設定に関わらず 48 kHz または 44.1 kHzに変換されます。）
	Dolby Digital※ ドルビーデジタルの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM（2ch）”に処理して出力するかを設定します。	●Bitstream：ドルビーデジタルロゴのある機器に接続するとき。 ●PCM　：ドルビーデジタルロゴのない機器に接続するとき。
	DTS※ DTSの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM（2ch）”に処理して出力するかを設定します。	●Bitstream：DTSデジタルサラウンドロゴのある機器に接続するとき。 ●PCM　：DTSデジタルサラウンドロゴのない機器に接続するとき。
	AAC※ AACの信号を接続した機器側で処理を行う“Bitstream”で出力するか、本機で“PCM（2ch）”に処理して出力するかを設定します。	●Bitstream：AACをデコードできる機器に接続するとき。 ●PCM：AAC をデコードできない機器に接続するとき。
		正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MDなどに正しく録音できません。 DOLBY DIGITAL　ドルビーデジタル DIGITAL dts SURROUND　DTS デジタルサラウンド
	記録音声モードの設定〔XP時〕 録画モードが XP 時に、記録する音声の種類が選べます。 （XPでの録画時やダビング時に働きます）	●Dolby Digital（➜105） ●LPCM（➜106）： – 画質は少し下がります。 – XP以外の録画モードでは、「Dolby Digital」になります。 – 二重放送の音声は「二重放送音声記録」（➜上記）であらかじめ選んでください。
	DV 入力時の音声の設定 DMR-EX350 DMR-EX550 DV 入力端子（➜72）から録音する音声の種類を選べます。	●ステレオ 1：DV 録画時の音声（L1, R1）を録音するとき ●ステレオ 2：編集などであとから追加した音声（L2, R2：ナレーションなど）を録音するとき ●MIX：ステレオ 1 とステレオ 2 の音声を録音するとき 二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」（➜上記）で音声をあらかじめ選んでください。
画面設定	**オンスクリーン表示〔オート〕** 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	●入　●切（表示しない）
	UV ブルーバック 地上アナログ放送の受信信号が弱いときに画面背景を表示しないようにできます。	●入　●切（表示しない）
	FLディマー 本体表示窓の明るさを調節します。 「常時 明」に設定すると、本機が動作状態になると本体右下部分が青く光ります。	●常時 明　●常時 暗 ●オート：再生中は暗くなり、電源「切」時は、すべて消灯します。 ボタン操作時に一時的に明るくなります。電源「切」時の消費電力の節電になります。 （電源「切」時の消費電力 ➜準備編 15）

※ HDMI 映像・音声出力端子から音声出力時に接続機器が対応していない項目が選ばれていると、接続機器の性能により設定通りに出力されない場合があります。

本機の設定を変える（初期設定一覧）（つづき）

メニュー	設定項目	設定内容（下線部はお買い上げ時の設定です）
接続	**TV アスペクト** 接続したテレビに合わせて設定します。 (➜ 準備編 23)	●4：3：4:3 標準テレビに接続しているとき ●16：9：ワイドテレビに接続しているとき ●16：9フル：ワイドテレビに接続していて、サイドパネル（左右に黒い帯がある状態）をなくして表示したいとき
	HDMI 接続	→[決定]を押して、さらに設定します。
	HDMI 映像優先モード	●入 ●切：アンプなどの機器と HDMI ケーブルで接続し、テレビと D 端子ケーブルで接続するとき（アンプと接続する前に設定してください。）
	HDMI 出力解像度 接続した機器が対応している項目には、画面上に"✳"が表示されます。"✳"のついていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、本体の [停止] と [再生] を 5 秒以上押したままにしてください。 写真は設定に関わらず「525 p」相当の解像度で再生します。	●オート：1125i、525p の順で接続した機器に適した解像度を自動で選択します。 ●525p (プログレッシブ) ●1125i (インターレース) ●750p (プログレッシブ)：750 p (720 p) の映像以外は、1125i (1080i) で出力されます。 ●1125 p (プログレッシブ) DMR-EX550 1125p に設定すると、再生設定やサブメニューなどのボタン操作時に、映像が少し乱れることがあります。また、HDMI ケーブル以外から映像を出力する場合、番組によっては映像の端が欠けることがあります。 –映像劣化などの防止のため、5.0m 以下の当社製 HDMI ケーブルをおすすめします。 アンプと接続する場合、接続するアンプが設定した解像度に対応していないときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビを HDMI ケーブルで接続し、本機とアンプは HDMI 以外のケーブルで接続してください。(➜ 準備編 12)
	HDMI RGB 出力レンジ RGB 入力のみに対応した機器（DVI 機器など）に接続したとき有効になります。	●スタンダード ●エンハンス：映像の黒白が鮮明でないとき
	HDMI 音声出力	●入 ●切：テレビと HDMI ケーブルで接続し、アンプなどの機器と光デジタルケーブルで接続するとき
	HDMI 接続スピーカー設定 スピーカーの出力設定により、理想的な音空間をつくります。	●オート：自動的に接続した機器のスピーカー設定に合わせます。 ●マルチチャンネル：スピーカーを 3 本以上接続して、接続した機器側でスピーカー設定ができないとき ●2 チャンネル：スピーカーを 2 本接続
	マルチチャンネル設定 「HDMI接続スピーカー設定」で「マルチチャンネル」を選んだときのみ表示されます。	スピーカーの有無とサイズ、音声出力の遅延効果の設定をしてください。 (➜ 準備編 26)
	HDMI 機器制御 VIERA Link(HDAVI Control) に対応した機器と HDMI ケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。	●入 ●切：VIERA Link(HDAVI Control) の機能を使わないとき
	D 端子出力解像度(➜ 準備編 24)	●D1　●D2　●D3　●D4 設定を変更して映像が乱れた場合は、本体の [停止] と [再生] を 5 秒以上押したままにしてください。"D1"に変更されます。
	TVアスペクト(4:3)設定（4：3テレビに接続時）16：9映像の映し方を選びます。 — DVD-Video	●パン＆スキャン：左右の切れた映像 （パン＆スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。） ●レターボックス：上下に帯のある映像
	TVアスペクト(4:3)設定 — DVD-RAM	●スルー：録画された映像の横縦比 ●パン＆スキャン：左右の切れた映像 ●レターボックス：上下に帯のある映像

Q & A(よくあるご質問)

	Q(質問)	A(回答)	ページ
録画・ダビングや録音	ビデオやDVDから録画できるか?	●市販されているほとんどの DVD やビデオタイトルは、録画禁止処理がされています。その場合は録画できません。	—
	本機で記録したディスクは他の機器で再生できるか?	● RAM 当社製のDVDレコーダーやDVD-RAM対応のDVDプレーヤーでは再生できます。(2006年3月現在)	—
		● -R(V) -RW(V) +R ファイナライズすると、DVDプレーヤーなどの対応機器で再生できます(ただし、すべての機器で再生保証するものではありません)。また、記録状態によって再生できない場合があります。	78
		● -R(VR) 2005年7月以降に発売される当社製DVDレコーダーで再生できます。(2006年3月現在)	—
		● -R DL(V) DVD-R DL(DVD-Video 方式)に対応した機器を使用してください。	—
		● -R DL(VR) DVD-R DL(VR 方式)に対応した機器を使用してください。	—
	本機で外部入力からのデジタル信号を録音できるか?	●デジタル信号では録音できません。本機のデジタル音声端子は出力のみです。	—
	本機からデジタル信号のままMDなどに録音できるか?	●デジタル信号(PCM)で録音できます。DVDの音声を録音する場合、**初期設定**「デジタル出力」で、「PCMダウンサンプリング変換」を 「入」に、「Dolby Digital」、「DTS」、「AAC」を 「PCM」に設定してください。(ただし、ディスクがデジタル信号での録音を許可していることと、録音側の機器がサンプリング周波数48 kHzに対応していることが必要です。)	85
		●MP3信号は録音できません。	—
	ディスクに高速でダビングしたいときは?	●デジタル放送は、録画モード「XP」~「EP」、「FR」で HDD に録画すると、CPRM 対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) に高速ダビングすることができます。録画モードを変更するには、**初期設定**「デジタル放送録画モード DR 固定」を「切」にする必要があります。	84
		●アナログ放送は、**初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画すると、高速ダビングができます。(お買い上げ時の設定は「入」です。)	84
	MPEG4 は録画できるか?	●できません。本機は MPEG4 に対応していません。	—
BSアナログ放送	BS アナログ放送を見ることはできるか?	●本機だけでは BS アナログ放送を見ることはできませんが、BS アナログ放送の番組と同じ内容の番組が、BS デジタル放送でも放送されている場合があります。BS デジタル放送であれば、本機だけでご覧いただけます。	—
	BSアナログのハイビジョン放送は録画できるか?	●M-Nコンバーター内蔵の機器を本機の外部入力(L1~L3)に接続し、**[放送 / 入力切換]** で接続した外部入力チャンネル(L1 ~ L3)を選ぶと録画できます。ただし、ハイビジョン画質では録画できません。	—
ディスク	CD-R や CD-RW は使えるか?	●CD-DA、ビデオ CD、MP3 や写真(JPEG/TIFF) のフォーマットで記録された CD-R や CD-RW が再生できます。	12、13
		●本機は CD-R や CD-RW には記録できません。	—
	海外で買ったDVDビデオや DVD オーディオ、ビデオCDは再生できるか?	●映像方式がNTSCであれば再生できます。	—
		● DVD-A 映像方式が PAL の場合は、音声のみ再生できます。	—
		● DVD-V リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいなければ再生できません。ディスクのジャケットをご確認ください。	—
	リージョン番号がないDVDビデオは再生できるか?	●リージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。リージョン番号がない場合は再生できません。	—

こんな表示が出たら

	表示文字	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓	DL 1/5 （数字の 1 は例です）	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。 （1/5 はダウンロードの進み具合を表します。）	準備編 34
	HARD ⟷ ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	―
	No ⟷ AUDIO	●CPPM 非対応機器と HDMI ケーブルで接続した状態で、CPPM で著作権保護された DVD-A を再生しています。HDMI 映像・音声出力端子からは、音声が出力されません。この場合は、光デジタルケーブルまたは音声コード（赤、白）を使って接続してください。	準備編 12
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、録画や再生、編集できません。 ●レンズクリーナーでの作業が終了しましたので、[▲開/閉] を押して取り出してください。	107 ―
	PLEASE ⟷ WAIT	●終了処理中です。“BYE” が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。	― ―
	PROG ⟷ FULL	●すでに32 件の予約がされています。不要な予約を消してください。	42
	R35:50　R 151h 数字は例です。	●HDD またはディスクの残量です。 左表示例は残量が 100 時間未満、右表示例は 100 時間以上の場合に表示されます。「R」は「Remain(残量)」を、「35:50」は「35 時間 50 分」を、「151h」は「151 時間」を意味します。	―
	U30 2 （数字）は 1 ～ 3 のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。 U30 2：リモコン操作でこの数字のボタンと [決定] を同時に２秒以上押したままにしてください。	準備編 32
	U50 ※	●アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。	準備編 30
	U59 ※	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、後面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	―
	U61	●（ディスクトレイにディスクが入っていないとき）録画や再生、ダビング中に、異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示しています。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	―
	U71	●接続機器が HDMI に対応していません。	―
	U72 ※ U73 ※	●HDMI 接続時に異常が発生しました。 –接続機器が HDMI に対応していません。 –HDMIケーブルが長すぎます。5.0m以下の当社製HDMIケーブルをおすすめします。 –HDMI ケーブルが破損しています。	―
	U88	●（ディスクトレイにディスクが入っているとき）録画や再生、ダビング中に、ディスクに異常が確認された場合に表示されます。本体動作を正常に戻すため、復旧動作中であることを示しています。故障ではありません。表示が消えれば使えます。	91
	F99 ※	●本機が正常に動作しません。本体の [電源⏻/I] を押し、電源を入/切してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	―
	UNFOR ⟷ MAT	●フォーマット (初期化) されていない RAM -RW(V) -RW(VR)、または他の機器で記録された -RW(V) が入っています。ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。	77
	UNSUP ⟷ PORT	●本機で録画や再生ができないディスクが入っています。	10 ～ 12

※ これらの表示をサービス番号と呼びます。上記に紹介している操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。ご依頼の際には「サービス番号、F99」などとお知らせください。

	表示文字	調べるところ･原因･対策	ページ
テレビ画面	ディスクが入っていません	●ディスクが裏返しになっていませんか。	—
	(対応)カードが入っていません	●カードのフォーマットが異なっていませんか。	13
	記録できないディスクが入っています	●本機で記録できないディスクが入っていないか確認してください。	10
	このディスクは規定のフォーマットがされていません	●-R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) -RW(V) +R ファイナライズ後のディスクが入っていませんか。 ●RAM -RW(V) -RW(VR) フォーマットを行ってください。	— 77
	(ディスクなどが)いっぱいで記録できません。	●不要な番組や写真を消去してください。HDD RAM -RW(V) SD	53
	番組数がいっぱいで記録できません ダビング先の容量が足りません	●新しいディスクやカードを使ってください。	—
	録画を正常に終了できませんでした	●録画禁止の番組のため、録画できません。 ●ディスクの残量がなくなっていませんか。 ●最大番組数を超えていませんか。	— — 31
	ディスクへの書き込みができません フォーマットできません	●ディスクに傷や汚れがありませんか。	107
	チャンネルを設定してください	●ガイドチャンネルが正しく設定されていないため、G コード予約ができません。	準備編 42
	⃠	●ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。ディスクが入っていない状態で DVD 側を再生しようとしていないかなど、操作をご確認ください。	—
	再生できません	●非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。	12
	著作権保護のため音声はHDMIから出力できません。	●CPPM 非対応機器とHDMI ケーブルで接続すると、CPPM で著作権保護されたDVDオーディオの音声はHDMI映像･音声出力端子から出力できません。この場合は、光デジタルケーブルまたは音声コード(赤、白)を使って接続してください。	準備編 12
	本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしました。 ●本機の電源を切り、カードを入れ直してください。	13 —
	フォルダがありません。	●本機で対応したフォルダがありません。	13、104
	HDD の空き容量が足りません。最大 4 時間(SP モード)の空き容量が必要です。1 倍速でのダビングは、HDD に番組を一時的に録画してから実行します。 HDDの番組数がいっぱいです。HDDの番組数をご確認の上、不要な番組を消去してください。1 倍速でのダビングは、HDDに番組を一時的に録画してから実行します。	●-R DL(V) HDD の残量が少ないときや HDD に記録されている番組数とダビングする番組数の合計が 500 を超える場合、ダビングすることはできません。HDD の不要な番組を消去してください。	—
	データを取得中です。	●デジタル放送からデータを取得中です。	—
	B-CAS カードを正しく挿入してください。	●B-CAS カードの挿入方向の間違い、または使用できないカードが挿入されています。B-CAS カードを正しく挿入してください。	準備編 14
	アンテナとの接続に不具合があります。接続をもう一度確認してください。	●アンテナ電源の異常です。アンテナケーブル線内で芯線と編組線が接触(タッチ)していないか確認してください。	準備編 30
	受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。	●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局しているため受信できません。	準備編 30
	受信できません。アンテナ設定、もしくは、このチャンネルの契約をご確認ください。	●正しく受信できない番組を録画した場合、または購入されていない有料放送の番組を録画した場合に表示されます。 ●アンテナの設定や調整が正しくできていない、天候の影響などで受信障害が発生している、または放送されていないチャンネルを選局している場合は正しく受信できません。 ●有料放送の場合は、購入してから録画してください。	28 準備編 30 28
	現在、このチャンネルは放送を休止しています。	●放送を休止しているチャンネルを選んでいます。	—

こんな表示が出たら（つづき）

	表示文字	調べるところ･原因･対策	ページ
テレビ画面	番組データは未取得のため、番組情報を表示できません。本機では、地上アナログ番組データをＢＳデジタル放送から取得しています。ＢＳ デジタル放送が受信できない場合は番組情報を表示できません。	●地上アナログ放送の番組表（G ガイド）の受信の条件を確認してください。	準備編 28
	番組データがありません。決定ボタンで取得します。	●地上デジタル放送の番組表（Gガイド）で取得したい番組を選んで [決定] を押すと、受信可能なチャンネルであれば数分で受信します。	―
	購入できません。電話の接続･設定を確認のうえ、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	●B-CAS カードの記録容量を超えている場合など、購入記録が送信できないときに表示されます。電話回線の接続や設定を確認してください。	準備編 17 準備編 36
	現在、受信できません。	●受信するための送信データが異常の場合に表示されます。	―
	視聴できません。視聴するには決定ボタンを押してください。	●有料放送の購入をしていません。 [決定] で、再度購入操作が行えます。	―
	データを送信します。よろしいですか？	●データ放送の指示により、データをサービスセンターに送信します。	―
	降雨対応放送に切り替わりました。	●雨の影響により、衛星電波が弱くなったため、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えました。画質、音質が少し悪くなり、番組情報が表示できない場合もあります。	―
	緊急警報放送が開始されました。決定で選局、戻るで本メッセージを非表示にします。	●緊急警報放送が始まっています。必ず確認するようにしてください。	―

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

次のような場合は、故障ではありません。

- 周期的なディスクの回転音がする。
  （ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります。）
- 電源切 / 入及び HDD の休止時に音がする。休止中の反応が遅い。
- 気象条件が悪いため、受信映像が乱れる。
- 早送り / 早戻しすると映像が乱れる。
- BS/CS放送の一時的な休止による受信障害

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源	**電源が入らない**	●電源プラグがコンセントから外れていませんか。 ●**初期設定**「クイックスタート」が「入」の場合、本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前４時ごろ（１週間に一度程度）に、本機全体を再起動することがあります。（再起動中は、本体表示窓に “PLEASE WAIT” と表示され、電源ボタン以外のすべてのボタン操作が数分間できません。また、ドライブや HDD から動作音がしますが、故障ではありません。）	準備編 15 83
	自動的に電源が切れた	●節電機能（**初期設定**「自動電源〔切〕」）が設定されていませんか。 ●各種安全装置が働いていることがあります。本体の **[電源⏻/I]** を押し、電源を入れてください。 ●VIERA Link(HDAVI Control) 対応のテレビと HDMI ケーブルで接続した場合、テレビの電源が切れると本機の電源も自動的に切れます。VIERA Link(HDAVI Control) を使用しない場合は、**初期設定**「HDMI 機器制御」を「切」にしてください。	83 — 86
	自動的に電源が入る	●VIERA Link(HDAVI Control) 対応のテレビと HDMI ケーブルで接続した場合、テレビの番組表から予約が登録されると、本機の電源が自動的に入ります。VIERA Link(HDAVI Control) を使用しない場合は、**初期設定**「HDMI 機器制御」を「切」にしてください。	86
表示	**表示が暗い**	●**初期設定**「FLディマー」で明るさを変えてください。	85
	“0：00”が点滅している	●時刻を合わせてください。	準備編 32
	録画や再生時の時間表示が実際よりも少なく表示される	●録画や再生時の時間表示は、映像信号を基準に１秒を 0.999秒（29.97フレーム）としており、実際の録画時間より若干短くなりますが、実際の録画には影響ありません。（例：１時間番組は約59分56秒と表示）	—
	電源「切」時に、表示部で“DATA”が点灯する	●番組データを受信中など自動的に放送情報を受信するために、点灯する場合があります。	—
	電源「切」時に、表示部で“TEL”が点灯する	●購入記録の送信など電話回線使用中です。	—
	残量表示が使用した量に比べて少なくなったり多くなったりする **MP3の再生時間が実際と違う**	●残量表示は実際より増減することがあります。 ● -R(VR) -R(V) -R DL(VR) -R DL(V) +R 記録や編集を約200回以上繰り返すと、残量が減ります。 ●早送り / 早戻し中は、時間表示が正しく表示されないことがあります。	— — —
	表示部に“U88”が表示され、ディスクが取り出せない	**以下の操作でディスクを取り出してください。** １ 本体の **[電源⏻/I]** を押して電源を切る。（切れない場合は、本体の **[電源⏻/I]** を約 10 秒以上押したままにしてください。） ２ 電源が「切」の状態で、本体の **[停止■]** と **[∧ チャンネル]** を同時に約5秒以上押したままにする。（ディスクトレイが開きます。）	—
テレビ画面や映像	**接続後、テレビの映りが悪くなった**	●分配器を使っていませんか。市販のブースターで改善できることがあります。 ●「衛星アンテナ設定」が「個別」または「おまかせ」に設定されているときは、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。 ●アンテナケーブルと LAN ケーブルなどの距離を離してください。	— 準備編 21 —
	映像が出ない **映像が乱れる**	●接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビとD端子ケーブルで接続し、プログレッシブ映像を出力する設定をしていませんか。本体の **[停止■]** と **[再生 ▶]** を同時に5秒以上押し、設定を解除してください。 ●プログレッシブ映像に対応していないテレビとD端子ケーブルで接続し、HDMI ケーブルでアンプなどの機器と接続していませんか。HDMI ケーブルで接続した機器の電源を切り、**初期設定**「HDMI 映像優先モード」を「切」に設定してください。 ●ＨＤＭＩ ケーブルで接続した機器から映像を出力する場合は、**初期設定**「HDMI 映像優先モード」を「入」にしてください。 ●テレビのハイビジョン方式（MUSE）の端子に接続すると、音声が乱れたり、映らないことがあります。 ●HDMI接続で４台以上つなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。	— — 86 86 — —

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
テレビ画面や映像（つづき）	横縦比4:3 の画像が左右に伸びる 画面サイズがおかしい	●**初期設定**「TVアスペクト」をお使いのテレビに合わせて設定してください。テレビ側の画面モードで調節できる場合があります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 ●**初期設定**「ワイドモード」、「DVD-Video」、「DVD-RAM」の設定を確認してください。 ●D 端子ケーブルで接続している場合、**再生設定**「映像」メニューで「プログレッシブ」を「切」にしてください。効果がない場合や「切」にできない場合は、**初期設定**「D 端子出力解像度」を「D1」に、または「HDMI 映像優先モード」を「切」に設定してください。	86 83、86 51、86
	録画した番組の映像が縦に引き伸ばされる	●アナログ放送や外部入力を以下のように録画した場合、16:9 映像は 4:3 映像で記録されます。 – HDD RAM -R(VR) **初期設定**「高速ダビング用録画」を「入」にして録画した場合（お買い上げ時の設定は「入」。） – -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R に記録した場合 **初期設定**「TVアスペクト」を「16:9 フル」に設定すれば、16:9映像としてご覧になれます。テレビ側の画面モードで調節できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。	84 —
	テレビの左右に黒帯（サイドパネル）が表示される	●**初期設定**「TVアスペクト」を「16:9フル」にしてください。ただし、画像が左右に伸びる場合があります。	86
	映像の左右の端が切れる または色が薄い	●表示領域の広いテレビでは、左右の映像が切れたり、色が薄くなったりします。	—
	再生時の映像に残像が多い	●**再生設定**「映像」メニューの「MPEG-DNR」を「切」にしてください。	51
	プログレッシブ出力で DVD ビデオを再生時に、映像の一部が二重にぶれて見える	●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状ですが、インターレース出力では問題なく再生できます。**初期設定**「D 端子出力解像度」を「D1」にしてください。525i（インタレース）で出力されます。 「HDMI 映像・音声出力」端子から映像出力時は、以下の手順で設定してください。 １、「HDMI 映像・音声出力」端子以外の映像端子で接続する ２、**初期設定**「HDMI 映像優先モード」を「切」にする ３、**初期設定**「D 端子出力解像度」を「D1」にする	86 86
	画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	—
	画面メッセージが出ない	●**初期設定**「オンスクリーン表示〔オート〕」が「入」になっていますか。	85
	ブルーバック（青い画面）にならない	●**初期設定**「UV ブルーバック」が「入」になっていますか。	85
	予約録画中の映像が映らない	●予約録画は電源の入 / 切に関わらず実行されます。予約録画の内容を確認するには、電源を「入」にしてください。	—
	ハウリング（ピー）音が出る	●モニター出力付きテレビに接続してディスクを再生するときは、本機の入力をモニター出力が接続されている外部入力以外に切り換えてください。	—
デジタル放送	BS・110 度CS デジタル放送が受信できない 映像や音声が出ない、または映りが悪くなった	●BS・110 度 CS デジタル放送対応アンテナを使用していますか。BS デジタル放送のみを受信する場合でも、従来の BS アンテナでは受信できない場合があります。 ●アンテナ線やアンテナプラグが劣化またはショートしていませんか。 ●BS・110 度CS デジタル放送に対応したアンテナケーブルや分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。 ●「アンテナ設定」が正しく設定されていますか。アンテナ入力レベルを調整してください。 ●風や振動により、アンテナの向きが変わっていませんか。アンテナを調整し、「アンテナ設定」でアンテナ入力レベルが最大になる角度にしてください。 ●着雪（アンテナ）、雨、雷雲などによる電波の減衰が考えられます。BS・110 度 CS デジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなることがあります。天候の回復をお待ちください。 ●降雨対応放送になっていませんか。雨の影響により、衛星からの電波が弱くなると、放送によっては電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換わることがあります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。 ●衛星アンテナ設定でアンテナ入力レベルの表示が白色で映らないときは、位相雑音の多いことが考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。 ●放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。	— — — 準備編 30 準備編 30 — — — —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
デジタル放送(つづき)	**地上デジタル放送が受信できない**	●お住まいの場所は、地上デジタル放送の放送エリアですか。地上デジタル放送は、現在の地上アナログ放送との混信を避けるために当初は非常に小さい出力電波で開始されるため受信エリアが限られます。また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合もあります。	—
		●地上デジタル放送に対応したUHFアンテナ、ブースターなどを使用していますか。現在の地上アナログ放送用のUHFアンテナは、視聴地域の特定チャンネルに対応している場合があり、地上デジタル放送用のUHFアンテナやデジタル対応のブースターおよび混合器などが必要になる場合があります。	—
		●UHFアンテナは地上デジタル放送の送信局に向いてますか。現在の地上アナログ放送の送信局と方向が違う地域があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
		●風や振動により、アンテナの向きが変わっていませんか。アンテナを調整し、「アンテナ設定」でアンテナ入力レベルが最大になる角度にしてください。	準備編 30
		●「アンテナ設定」のアンテナレベルを確認し、レベルが低い場合は、「アッテネーター」の設定を変更すると、受信できる場合があります。	準備編 30
		●共聴システムご使用の場合、共聴システムは地上デジタル放送に対応(パススルー方式)になっていますか。CATVの場合は、ご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問合せください。	—
	字幕や文字スーパーがでない	●**放送設定**「字幕の設定」の「字幕」や「文字スーパー」が「オン」になっていますか。	81
		●字幕や文字スーパーのない番組を選局していませんか。字幕のある番組は、番組内容画面に「字幕」のアイコンが表示されています。	—
	WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない	●有料放送の視聴には、放送局ごとに機器と受信契約が必要です。視聴契約手続きをしてください。	28
		●電話回線を正しく接続していますか。	準備編 17
		●**放送設定**「電話設定」を正しく行っていますか。	準備編 36
音声	**音が出ない** **聞きたい音声が出ない** **音が小さい、おかしい**	●接続や**初期設定**「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、入力切換なども確かめてください。	85
		●音声選択が間違っていませんか。**[音声]**を押して、正しい音声を選んでください。	24、47
		●デジタル放送はアナログ放送に比べ、音量が小さいときがあります。	—
		●カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合や二重放送の番組を再生する場合は、**再生設定**「音声」メニューで「サラウンド」を「切」にしてください。	51
		●ディスク側で音声の出力方法が制限されていませんか。 ダウンミックスが禁止されたマルチチャンネルディスクは、HDMIケーブルで、CPPMに対応したHDMI Ver1.1規格以降のアンプと接続する場合を除き、本機では正常に再生できません。ディスクのジャケットなどを確認してください。**DVD-A**	—
		●デジタル音声出力(光)端子またはHDMI映像・音声出力端子から音声出力時は、音声効果がBitstream信号には働きません。	—
		●HDMI接続で4台以上つなぐと音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。	—
		●テレビと本機をHDMIケーブルで接続し、音声をデジタル音声出力(光)端子から出力する場合は、**初期設定**「HDMI音声出力」を「切」にしてください。	86
		●HDMIケーブルで接続した機器から音声を出力する場合は、**初期設定**「HDMI音声出力」を「入」にしてください。	86
		●HDMIケーブルでアンプと接続時に音声が乱れる場合は、**初期設定**「HDMI接続スピーカー設定」で接続状態に合わせて設定してください。	準備編 26
		●HDMIケーブルで接続している場合、お使いの機器によっては異音が生じる場合があります。	—

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
音声（つづき）	音声が切り換えられない	●以下の場合はアナログ放送の音声の切り換えができません。 – **初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」の場合（お買い上げ時の設定は「入」です。）	84
		–「DVD」を選択中、ディスクトレイに -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R が入っている場合	―
		●**初期設定**「高速ダビング用録画」が「入」のときに、アナログ放送や外部入力から録画する場合やファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングする場合、主/副音声のどちらか一方しか記録されません。	84
		●録画モードがXPで、**初期設定**「記録音声モードの設定〔XP時〕」が「LPCM」の場合、切り換えはできません。	85
		●デジタル放送を録画モード「XP」～「EP」、「FR」で録画した場合、マルチ音声は、録画前に「信号切換」（または「信号設定」）の「音声」で選ばれていたほうのみ記録されます。再生時に切り換えることはできません。	25、39
		●光デジタルケーブルまたはHDMIケーブルでアンプと接続していませんか。**初期設定**「Dolby Digital」が「Bitstream」のときは切り換えできません。「PCM」に設定するか音声コードで接続してください。	85
		●ディスク制作者の意図により音声が切り換えられないディスクもあります。	―
ボタン操作	テレビが操作できない リモコンが働かない	●テレビのメーカー番号が異なっていませんか。	準備編 32
		●電池が入っていますか。電池が切れていませんか。	―
		●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に日光などの強い光が直接当たっていませんか。	準備編 5
		●リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色つきガラスも含む）などがありませんか。	―
		●本体とリモコンのリモコンモードが異なっていませんか。 U30 2　リモコン操作で、本体表示窓のこの数字のボタンと[**決定**]を同時に2秒以上押したままにしてください。	準備編 32
	操作できない	●**「HDD」**、**「DVD」**または**「SD」**を間違って選んでいませんか。	―
		●ディスクによっては、一部操作ができません。	―
		●"U59"点灯時は本体内部温度が高くなっています。"U59"が消えるまで待ってください。	―
		●安全装置が働いている場合があります。本体の[**電源**⏻/I]を押し、電源を入 / 切してください。切れない場合は約10秒押したままにするか、電源プラグを抜き、約1分後に入れてください。	―
		●ダウンロードが実行中ではありませんか。（本体表示窓に"DL"が表示）ダウンロードが終了するまでお待ちください。	―
	ディスクが取り出せない	●録画中になっていませんか。	―
		●本機の故障が考えられます。電源「切」状態で本体の[**停止■**]と[∧ **チャンネル**]を同時に約5秒以上押したままにするとディスクトレイが開きます。ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。	―
	起動が遅い 電源入時に、映像や音声の出力に時間がかかる	●HDDが休止状態になっていませんか。	15
		●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていますか。	83
		●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても、以下のような場合は起動に時間がかかります。	
		–DVD-RAM以外のディスクが入っている場合	―
		–時計が設定されていない場合や、停電直後や電源コードを差した直後	―
		●**初期設定**「クイックスタート」が「入」になっていても、D端子ケーブルやHDMIケーブルで接続している場合は、映像や音声の出力に時間がかかります。	―
	DVD-RAMの読み込み時間が長い	●本機ではじめて使用するディスクや、長時間使用しなかったディスクは、読み込み時間が長くなることがあります。	―

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画や予約、ダビング	録画できない ダビングできない	●ディスクが入っていますか。	—
		●録画やダビングができないディスクが入っていませんか。	10
		●フォーマットされていない RAM -RW(V) -RW(VR) が入っていませんか。	77
		●ファイナライズ後のディスクは録画できません。DVD-RW はフォーマットすると繰り返し録画できます。	77
		●ディスクやカートリッジに誤消去防止(プロテクト)が設定されていませんか。	77
		●以下のような録画に制限のある番組を録画しようとしていませんか。 –「1 回だけ録画可能」な番組。[HDD または CPRM 対応の DVD-RAM、DVD-R(VR 方式) には録画できます。DVD-R DL(VR 方式) の場合は、HDD からダビングすると記録できます。] –録画禁止の番組 – 録画購入の必要がある番組	—
		●ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は録画できません。(不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください)	53
		● -R DL(V) -R DL(VR) 直接録画はできません。HDD からダビングしてください。	—
		● -R DL(V) 以下の場合ダビングできません。HDD の不要な番組を消去してダビングしてください。 – HDD の残量が少ない場合(新品のディスク 1 枚全部にダビングする場合、HDD の残量が SP モードで最大 4 時間必要になります) – HDD に記録されている番組数とダビングする番組数の合計が 500 を超える場合	53
		● -R(VR) -R(V) -R DL(V) -R DL(VR) -RW(V) +R ディスクの出し入れや電源の入/切を約50回以上繰り返した場合、記録や編集ができなくなることがあります。	—
		●本機で録画したディスクは、他の当社製DVDレコーダーで追記できない場合があります。	—
	デジタル放送の録画やダビングができない	●デジタル放送には「1 回だけ録画可能」という著作権保護の仕組みで守られた番組があります。「1 回だけ録画可能」な番組をディスクに録画やダビングするためには、CPRM 対応の RAM -R(VR) -R DL(VR) が必要です。	—
		● -R(VR) -R DL(VR) CPRM 対応の場合でも、録画やダビングする前にデジタル放送が記録できるようにフォーマットする必要があります。未使用のディスクを入れ、画面の指示に従ってフォーマットしてください。	77
		● -R DL(VR) CPRM対応の場合でも、本機で直接録画はできません。HDDからダビングすると記録できます。	—
		●デジタル放送のラジオ番組やデータ放送の番組は録画できません。	—
	デジアナどっちも録りができない (2 番組を同時に録画できない)	●デジタル放送(地上デジタル·BS·CS1·CS2)を録画モード「XP」～「EP」、「FR」のいずれかで録画しているときは、地上アナログ放送または外部入力から録画することはできません。	—
		●DVD には2番組同時に録画できません。	—
		●高速ダビング中は、1 番組のみ録画可能です。	—
	録画モードが「DR」以外選べない	●**初期設定**「デジタル放送録画モードDR固定」が「入」になっていませんか。「切」にすると録画モードが選べます。	84
	[停止■] を押しても、録画が停止しない	●録画中の放送が選択されていますか。**[放送/入力切換]** を押して録画中の放送に切り換えてください。	—
	予約録画ができない	●予約内容が間違っていませんか。予約録画の時間が重なっていませんか。	42
		●予約の実行が「切」になっていませんか。予約一覧画面で、「予約実行切」が表示されているときは、「予約実行入」にしてください。	42
		●1 倍速でダビング中やファイナライズを含むダビング中は予約録画は実行されません。	—
		●フォーマット中、ダウンロード実行中など中断できない操作の実行中は予約録画は実行されません。	—
		●時刻が合っていますか。	準備編 32
	G コード予約できない	●ガイドチャンネルが正しく設定されていますか。	準備編 42
		●同じガイドチャンネルが複数のチャンネルに設定されていませんか。不要な方を削除してください。	準備編 42
	予約録画が終わっても、予約内容が消えない	●毎日·毎週予約のときは予約内容が残ります。	37

故障かな！？（つづき）

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画や予約、ダビング（つづき）	録画した番組の一部、またはすべてが消えた	●録画、ダビングや編集中に停電や電源コードが抜けるなどで電源が切れませんでしたか。番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。フォーマット（ HDD RAM -RW(V) ）するか、新しいディスクを使ってください。（当社では、消えた番組や使えなくなったディスクは補償できません。） ● HDD 自動更新を「入」にして予約録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、録画します。 ●「1回だけ録画可能」な番組をDVDにダビングすると、HDDの番組は消去されます。	77 37 —
	番組追従機能が働かない	●G コード予約や時間指定予約では働きません。 ●毎週予約をした場合、放送開始時刻または終了時刻に2時間以上の変更があった番組には働きません。 ●毎週予約をした場合、番組表データの更新によって、番組名が予約時から変わった場合など、番組によっては、正しく働かない場合があります。 ●アナログ放送の場合、予約登録後に放送時間が変更になると正しく働きません。	— — — —
	高速モードでダビングできない	● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R HDD へ録画する前に**初期設定**「高速ダビング用録画」を「切」に設定しませんでしたか。（お買い上げ時は「入」です。） ●録画モード「DR」で録画した番組は高速ダビングできません。	84 —
	高速モードでのダビングに時間がかかる	●高速記録に対応していないディスクを使っていませんか。高速記録対応ディスクでも、ディスクの状態によっては最高速にならない場合があります。 ●番組数が多い場合は時間がかかります。	— —
	録画やダビングしたディスクが他のDVD 機器で再生できない	● -R(V) -RW(V) +R ファイナライズすると DVD プレーヤーなどの対応機器で再生できます。 ● RAM -R(VR) -R DL(VR) -R DL(V) 再生するには、それぞれのディスク（記録方式）の再生に対応している必要があります。	78 —
	DV おまかせ取込ができない DMR-EX350 DMR-EX550	●録画できない場合や中断する場合は、接続と接続機器の設定などを確かめてください。 ●DV 機器からの映像がテレビ画面に表示されない場合は、録画できません。 ●テープ上でタイムコードが連続していない場合や、接続した機器によっては、正しく働かない場合があります。	72 — —
番組表（Gガイド）	番組表（G ガイド）が表示されない 8日分表示されない	●本機を初めてご使用のときや、約 1 週間以上本機の電源コードを抜いて使用していなかった場合は、番組表（G ガイド）が表示できません。 本機はデジタル放送の「アンテナ設定」を正しく設定した上で、電源「切」の状態で番組表（G ガイド）データを自動受信します。（1日程度かかる場合があります。）本機をご使用にならないときは、電源を「切」にしてください。 ●地上アナログ放送の番組表（G ガイド）であっても、衛星アンテナを接続し、BS デジタル放送が受信できる必要があります。 ●地上アナログ放送の場合、**放送設定**「チャンネル設定」の放送局名が正しく設定されている必要があります。 ●地上デジタル放送の番組表（G ガイド）は、表示させたい局を選んで、**[決定]** を押すと表示できます。 ●**放送設定**「番組表設定」を確認してください。 –「G ガイド受信確認」で、番組表（G ガイド）の受信スケジュールなどを確認してください。 –「番組表受信設定」で「BS908」が設定されている必要があります。（2006 年 3 月現在） ●時計が合っていますか。 ●お住まいの地域の受信状態に問題がある場合（電波状態が弱いなど）は、番組表（G ガイド）データを取得できないことがあります。ブースターを使用すると改善できる場合もありますので、販売店にご相談ください。	— — 準備編 42 — 準備編 29 準備編 32 —
	番組表（Gガイド）に表示されない放送局がある	●放送局名が正しく設定されていない場合は、番組表（G ガイド）に正しく表示されません。正しい放送局名を表示させてください。 ●**放送設定**「Gガイド地域設定」で設定した地域に登録されていない放送局は、映像が受信できる場合でも、番組表（G ガイド）に放送内容は表示されません。	準備編 42 準備編 29
	番組表（Gガイド）に同じ放送局が2つ表示されている	●現在視聴中の放送局は一番左に追加表示されるため、画面内に同じ放送局が2つ表示される場合があります。どちらを選んでも問題はありません。	—
	番組表（G ガイド）に“ 予 ”が表示されない	●G コード予約や時間指定予約の場合は表示されません。	—
	録画した番組と番組名が合っていない	●番組表で予約設定後に番組内容が変更されると、変更された番組名で録画されます。 ●番組表で毎週予約設定後に番組内容が変更され、番組追従でも同じ名前の番組名を見つけられなかった場合は、予約時の番組名で録画されます。	— —

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生	再生ができない。すぐに停止する	●ディスクを正しく入れていますか(裏表が逆になっているなど)。またはディスクが汚れていませんか。 ●本機で使えないディスク、未記録ディスクが入っていませんか。 ●他の DVDレコーダーやパソコンなどで録画した「1回だけ録画可能」の番組は、本機のHDDへダビングできる場合がありますが、著作権保護のため再生できません。 ● RAM EP(8H)モードで録画した場合、DVD-RAM 再生対応のDVDプレーヤーでも再生できないことがあります。この場合は、EP(6H)モードで録画してください。	18、107 12 — 84
	再生の映像が乱れたり、正しく再生されない	●天候等により電波状態の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。 ●録画モードの異なる番組やプレイリストのチャプターのつなぎ目、アスペクト比(映像の縦横比)、解像度(525i、525p、750p、1125i など)の異なるつなぎ目では一瞬映像が乱れたり黒い画面になる場合があります。	— —
	映像や音声が一瞬止まる	●プレイリストのチャプターのつなぎ目で起きます。 ● -R(V) -R DL(V) -RW(V) +R 高速モードでダビングして、ファイナライズをした場合、部分消去をした部分やチャプターのつなぎ目で起きることがあります。 ●シーンの切り換わりで、音声や映像が切れたりすることがあります。 ● -R DL(V) -R DL(VR) 2層にまたがって記録されている番組を再生すると、層の変わり目で映像や音声が途切れることがあります。	— — — 11
	録画した番組が再生ナビ画面に表示されない	● HDD 他の画像一覧を表示していませんか。録画モード「DR」で録画した番組は「ビデオDR」一覧に、録画モード「XP」〜「EP」、「FR」で録画した番組は「ビデオ」一覧にあります。 ● RAM 他の画像一覧を表示していませんか。「ビデオ」一覧に切り換えてください。	45 45
	DVDビデオを再生できない	●視聴制限が設定されていませんか。**初期設定**「視聴制限」を変更してください。	84
	音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ●**再生設定**の「音声情報」、「字幕情報」ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 44
	市販ディスクの字幕が出ない	●ディスクに字幕が収録され、**再生設定**「ディスク」メニューの「字幕情報」が「入」になっていますか。	50
	録画した番組の字幕が出ない	●録画モード「DR」で録画した番組の場合、ディスクに字幕が収録され、**再生設定**の「信号切換」の「字幕」が「オン」になっていますか。 ●録画モード「XP」〜「EP」、「FR」のいずれかで録画した番組の場合、録画時に「字幕」を「オン」にし、字幕を記録しましたか。録画時の設定のまま記録され、再生時には切り換えできません。	50 25、39
	アングルを切り換えられない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所以外では切り換わりません。	—
	DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい	●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。DVD ドライブを選び、**[▲開/閉]**を押して、トレイが開いている状態で、本体の**[録画●]**と**[再生▶]**を同時に5秒以上押してください。(表示窓に “INIT” が表示)	—
	早見再生ができない	●音声がドルビーデジタル以外の場合や、録画モードが “XP” または “FR” で RAM への録画中は働きません。 ●録画モード「DR」で録画した番組には働きません。	— —
	自動CM早送りが働かない	●録画内容により、正しく働かないことがあります。 ●以下の場合は働きません。 –「ビデオ DR」の番組 – 外部入力から録画した番組 – 早見再生中(➜46)のとき ●最大49回働きます。(HDD :1 番組あたり 49 回 / RAM -R(VR) -R DL(VR) : ディスク1枚あたり 49 回)それを超えた場合は働きません。	— — —
	続き再生メモリー機能が働かない	●記憶した位置は、以下の場合解除されます。 – 数回 **[停止■]** を押す。 – トレイを開ける。(HDD を除く) – DVD-A VCD CD SD 電源を切る。 – 録画や予約録画を行った場合。	—
	SD カードの MPEG2 動画が再生できない	●SD カードから直接再生できません。HDD などにダビングしてから再生してください。	70
	再生した番組の先頭が見られない	●(VIERA Link 対応のテレビと HDMI ケーブルで接続した場合)テレビの電源が「切」のときに、本機のリモコンの **[再生▶]** を押して再生を始めた場合、テレビの電源が自動的に「入」になり、テレビ画面が表示されるまで、再生した番組の先頭部分が見られない場合があります。その場合は、**[I◀◀]** を押して番組の先頭に戻ってください。	—

故障かな！？（つづき）

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
編集・整理	番組を消去しても残量が増えない	●-R(VR) -R(V) -R DL(V) -R DL(VR) +R 消去しても残量は増えません。 ●-RW(V) 最後に録画した番組を消去したときのみ、残量が増えます。途中の番組を消去しても残量は増えません。	— —
	編集できない	●HDD 空き容量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去して空き容量を作ってください。 ●ファイナライズ済みの -R(VR) -R DL(VR) を使っていませんか。	53 —
	フォーマットできない	●ディスクが汚れていませんか。 ●本機で使えないディスクを使っていませんか。	107 10～12
	チャプターが作成できない 部分消去のイン点、アウト点が設定できない	●作成したチャプター情報は、電源を切るときやディスクを取り出すときなどにディスクに書き込まれるため、停電などが発生すると記録されません。 ●イン点とアウト点の間が短い場合や、イン点がアウト点の後ろにある場合は設定できません。 ●静止画部分では作成できません。	— — —
	チャプターが消去できない	●チャプターの範囲が小さくて消去できない場合は、「チャプター結合」でチャプター範囲を大きくすると消去できます。	56
	プレイリストが作成できない	●番組が静止画を含む場合は、プレイリストの編集元としてすべてのチャプターを一度に選ぶことはできません。個々のチャプターは選べます。 ●録画モード「DR」で録画した番組では作成できません。	— —
写真	再生ナビ画面を表示できない	●デジ·アナどっちも録り中や 1 倍速でダビング中はできません。	—
	編集やフォーマットができない	●カードのプロテクトを解除してください。(カードによっては、プロテクトを設定していても、画面に「書き込み禁止設定オフ」と表示される場合があります。)	77
	カードの内容を読めない	●本機で対応していないフォーマットのカードを入れていませんか。(カードの内容が壊れている場合もあります。)他の機器では FAT12 または FAT16 で、または本機でフォーマットしてください。 ●本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっていませんか。 ●本機の電源を入れ直してください。 ●本機では 8MB ～ 2GB までの SD メモリーカードが使用できます。	13 13、104 — 13
	ダビングや消去、プロテクトに時間がかかる	●ファイル数やフォルダの数が多い場合、数時間かかることがあります。 ●ダビングや消去を繰り返していると、時間がかかる場合があります。カードやディスクをフォーマットしてください。	— 77
その他	電話機にノイズ(雑音)が入る 電話回線につないでいるときに電話機やファクシミリの呼び出し音がなる	●モジュラーケーブル分配器を使用すると、一部の電話機やファクシミリでこの症状が出る場合がありますが、市販の自動転換器(パソコン対応用も含む)または電話回線用ノイズフィルター(雑音防止器)で改善される場合があります。詳しくはご使用の電話機やファクシミリなどのメーカーにご相談ください。	—
	ダウンロードができない	●ダウンロードは、本機の電源を「切」にした状態で行われます。	準備編 34
	ダウンロードを行ったら、受信できなくなった	●ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買い上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	準備編 34
	VIERA Link (HDAVI Control) が働かない	●本体表示窓に“HDMI”が表示されていない場合は、HDMIケーブルの接続を確認してください。 ●**初期設定**「HDMI 機器制御」が「入」になっていますか。 ●接続した機器側のVIERA Link (HDAVI Control)の設定を確認してください。 ●HDMI 機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどに VIERA Link(HDAVI Control)が動作しなくなる場合があります。その場合は、以下の操作をしてください。 1、HDMI ケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ(VIERA)の電源を入れなおす。 2、テレビ(VIERA)の「HDMI 機器制御」の設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する(詳しくは VIERA の取扱説明書をご覧ください)。 3、VIERA の入力を、本機を接続した HDMI 入力に切り換えて、本機の画面を表示した後に、VIERA Link(HDAVI Control)が動作するか確認してください。	準備編 13 86 — —

「故障かな !?」に従ってご確認のあと修理が必要になったときは、裏面の「修理診断カルテ」にご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

修理診断カルテ

ご記入日：　　　年　　月　　日

修理をご依頼される場合は、円滑な対応をさせていただくために、下記内容をご記入のうえ、製品に添付していただきますようお願いいたします。

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむを得ず記録内容が失われたり、故障状態によってはHDDの初期化（出荷状態に戻すため、記録内容は全て失われます。）や交換が必要な場合があります。
このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

＜商品に関して＞

機種名		製造番号 （保証書または本体後面に記載）	
お買い上げ日	年　　月　　日	保証書添付	□ 有り　□ 無し

＜確認事項＞

修理代金の見積り （有償修理時のみ）	□ 不要　□ ＿＿＿＿ 万円以上必要　□ 必要
修理ご依頼時の添付品	（本体以外の添付品をご記入ください。） □ 電源コード　□ リモコン　□ ディスク　□ その他 ＿＿＿＿＿＿

設定項目の初期化	修理の際に、初期設定、録画予約などを出荷状態に戻さなければならない場合があります。 あらかじめご了承ください。		
HDDの初期化 （録画内容の消去）	修理の際に、HDDを出荷状態に戻さなければならない場合があります。（記録内容は全て失われます。） HDDの初期化に同意されますか。 □ 同意する □ 同意しない（初期化しないと修理ができない場合があります。）	ご署名	印

＜不具合症状について＞

不具合症状	（発生症状をなるべく詳しく、具体的にご記入ください。） 例：HDDからDVD-Rへ高速モードでダビング時、途中で止まった。	
発生条件	＜発生条件＞ 1. □ HDD　□ DVD（下欄※に詳細をご記入ください。） 2. □ 録画時　□ 再生時　□ ダビング時（HDD⇄DVD） 　└□ 本機のチューナーからの録画 　└□ 外部入力からの録画（ビデオからのダビングや外部チューナーからの録画など）	＜エラー表示＞ □ 有り 　└□ テレビ画面 　　表示内容：＿＿＿＿＿＿ 　└□ 本体表示窓 　　表示内容：＿＿＿＿＿＿ □ 無し
発生頻度	□ 常時　□ 時々　□ ＿＿＿＿ 回に ＿＿＿＿ 回位	

＜※DVDディスクに関して＞

正確な診断を行うために、できるだけ症状の発生したディスクの添付をお願いします。

発生ディスク		
□ DVD-RAM	メーカー名：	品番：
□ DVD-R	メーカー名：	品番：
□ DVD-R DL	メーカー名：	品番：
□ DVD-RW	メーカー名：	品番：
□ +R	メーカー名：	品番：
□ DVDビデオ	タイトル：	ディスクNo.：
□ その他		

発生箇所	□ 最初から再生できない	□ ＿＿ 分 ＿＿ 秒位の部分から症状が発生	□ タイトルNo.： チャプターNo.：

＜接続テレビに関して＞

接続テレビ	テレビメーカー名：　　　機種名： 接続端子：□ ピン端子　□ S端子　□ D端子　□ HDMI端子　その他

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ

きりとり線

主な仕様

待機時消費電力：		DMR-EX150	DMR-EX350	DMR-EX550
クイックスタート「切」時	電源切時※1	約 3.7W	約 3.8W	約 3.8W
	時計表示点灯時	約 3.7W	約 3.8W	約 3.8W
	時計表示消灯時	約 3.5W	約 3.6W	約 3.6W
クイックスタート「入」時	電源切時※1	約 17.8W	約 18.7W	約 18.7W
	時計表示点灯時	約 17.8W	約 18.9W	約 18.9W
	時計表示消灯時	約 16.8W	約 17.8W	約 17.9W

項目	仕様
電源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	DMR-EX150 約 45 W DMR-EX350 約 47 W DMR-EX550 約 51 W
外形寸法	430 mm×396 mm×79 mm(幅×奥行×高さ)
質量	DMR-EX150 DMR-EX350 約 5.4 kg DMR-EX550 約 5.5 kg
許容周囲温度	＋5 ～ 40 ℃
許容相対湿度	10 ～ 80%RH（結露なきこと）
記録可能なディスク	●DVD-RAM: Ver.2.0 Ver.2.1/3X-SPEED DVD-RAM Revision 1.0 Ver.2.2/5X-SPEED DVD-RAM Revision 2.0 ●DVD-R: for General Ver.2.0 for General Ver.2.0/4X-SPEED DVD-R Revision 1.0 for General Ver.2.x/8X-SPEED DVD-R Revision 3.0 for General Ver.2.x/16X-SPEED DVD-R Revision 6.0 for DL Ver. 3.0 for DL Ver. 3.x/4X-SPEED DVD-R for DL Revision 1.0 ●DVD-RW: Ver.1.1 Ver.1.x/2X-SPEED DVD-RW Revision 1.0 Ver.1.x/4X-SPEED DVD-RW Revision 2.0 Ver.1.x/6X-SPEED DVD-RW Revision 3.0 ●+R: Ver.1.0 Ver.1.1 Ver.1.2 Ver.1.3
記録方式	●DVD-RAM: DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R: DVDビデオ規格準拠、DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-R DL(片面2層):DVDビデオ規格準拠 DVDビデオレコーディング規格準拠 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠 ●+R
再生可能なディスク	●DVD-RAM ●DVD-R ●DVD-RW ●DVD-R DL（片面 2 層） ●+R ●+RW ●+R DL（片面 2 層）：ファイナライズ済のみ ●DVD-Video ●DVD-Audio ●CD-Audio(CD-DA) ●VCD ●CD-R/RW(MP3、CD-DA、VCD、JPEG フォーマット記録のディスク)
内蔵 HDD 容量	DMR-EX150 200ＧＢ DMR-EX350 400ＧＢ DMR-EX550 500ＧＢ
時計	クォーツ制御 24 時間表示 デジタル表示
プログラム数	1ヵ月 32 プログラム
停電保証期間	約 5 年

テレビジョン方式

項目	仕様
映像方式	NTSC 方式 525 本 60 フィールド デジタルハイビジョン: 地上デジタル放送方式(日本)、衛星デジタル放送方式(日本)
アンテナ受信入力	**地上アナログ入力** 90 MHz ～ 770 MHz 75 Ω (VHF：1 ～ 12 CH UHF：13 ～ 62 CH CATV：C13 ～ C63 CH) **地上デジタル入力** 90 MHz ～ 770 MHz 75 Ω (VHF：1 ～ 12 CH UHF：13 ～ 62 CH CATV：C13 ～ C63 CH) **BS・110 度 CS デジタル -IF 入力** 1032 MHz ～ 2071 MHz(IF 入力周波数) 75 Ω 電源供給 (右旋円偏波時:DC15 V、最大 4 W/左旋円偏波時:DC11 V、最大 3 W)

映像

項目	仕様
記録圧縮方式	MPEG 2（Hybrid VBR）
映像入力	入力端子：3 系統(ピンジャック) 入力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω）
S 映像入力	入力端子：3 系統 Y 入力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω） C 入力レベル：0.286 Vp-p（75 Ω）
映像出力	出力端子：2 系統(ピンジャック) 出力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω）
S 映像出力	出力端子：2 系統 Y 出力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω） C 出力レベル：0.286 Vp-p（75 Ω）
D 端子映像出力 D1/D2/D3/D4 端子	出力端子：1 系統 (525i/525p/1125i/750p) Y 出力レベル：1.0 Vp-p（75 Ω） CB/PB 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω） CR/PR 出力レベル：0.7 Vp-p（75 Ω）
HDMI 映像・音声出力	出力端子：1 系統(19 ピン typeA 端子) HDMI Ver.1.2a(EDID Ver.1.3) DMR-EX550 1125p(1080p)

音声

項目	仕様
記録・再生圧縮方式	Dolby Digital：2 ch 記録 リニア PCM(XP モードのみ切り換え可)：2 ch 記録 MPEG2 AAC(DR モード・デジタル放送記録時)
アナログ入力	入力端子：3 系統(ピンジャック) 基準入力：309 mVrms 入力レベル FS：2 Vrms(1 kHz、0 dB) 入力インピーダンス:47 kΩ
アナログ出力	出力端子： ●2 ch 出力(ミックス音声)：2 系統(ピンジャック) 基準出力：309 mVrms 出力レベル FS:2 Vrms(1 kHz、0 dB) 出力インピーダンス:1 kΩ (負荷インピーダンス:10 kΩ)
チャンネル数	記録：2チャンネル、再生：2チャンネル
デジタル出力	出力端子：1 系統、光コネクター (PCM、ドルビーデジタル、DTS、MPEG2 AAC 対応)

その他の端子

項目	仕様
DV 入力端子	DMR-EX350 DMR-EX550 4ピン：1系統(IEEE1394 準拠)
LAN 端子	DMR-EX350 DMR-EX550 1 系統(10BASE-T/100BASE-TX)
電話回線(モジュラー)端子	1 系統[V.22bis(2400bps、着呼機能なし)]

カード機能

静止画(JPEG、TIFF)

項目	仕様
スロット	SD メモリーカード
対応カード	SD メモリーカード※2 マルチメディアカード
対応フォーマット	FAT12、FAT16
画像ファイル形式	●JPEGベースライン方式[DCF(Design rule for Camera File system) 準拠] ●TIFF(非圧縮 RGB 点順次)対応 ●DPOF 対応
画素数	34×34 ～ 6144×4096 サブサンプリング 4:2:2、4:2:0
解凍時間※3	約 3 秒（600 万画素、JPEG）

動画(MPEG2)

項目	仕様
スロット	SD メモリーカード
対応カード	SD メモリーカード※2
ファイル形式	SD VIDEO 規格準拠 SD（SD VIDEO 規格)から HDD/DVD-RAM/DVD-R(ビデオレコーディング規格)/DVD-R DL(ビデオレコーディング規格)への変換転送後に再生可能

※ 1 VTR の省エネ法に定める計算式による待機時消費電力値を示す。
※ 2 miniSD™ カードを含む(miniSD™ アダプター装着時)
※ 3 解凍時間は使用環境(ファイル数・圧縮率など)によって多少長くなることがあります。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります

アイコン一覧

- 本機はアイコン(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
- 放送局から情報が送られてこない場合は、正しいアイコンを表示しない場合があります。

番組内容画面

アイコン	説明
テレビ	テレビ放送(映像＋音声)の番組
データ	データ放送の番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
+d ラジオ	ラジオ放送番組で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
●●● 信号	映像や音声、データのいずれかを信号切り換えできる番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
デジタル 1COPY	「1 回だけ録画可能」な番組(➔32) (録画後、ダビングできません)
アナログ XCOPY	アナログの著作権が保護されているためアナログでの「録画禁止」の番組
デジタル X出力	デジタル出力端子からデジタル信号を出力しない番組
アナログ X出力	アナログ(出力 1/2、D1/D2/D3/D4 映像出力)出力しない番組(音声も出力されません)
ラジオ	ラジオ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
16:9 1125i	番組の映像信号情報 上:画面の横縦比(16:9、4:3) 下:信号方式 (デジタルハイビジョン放送− 1125i、750p) (デジタル標準テレビ放送− 525p、525i)
主+副	二重音声信号で、「主＋副」の音声の番組
有料	有料のデータを含むペイ・パー・ビュー番組
字幕	番組の中に字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組
20 才~	視聴年齢制限がある番組 (表示される年齢は 4 〜 20 才まであります)

再生ナビ画面

再生不可(HDD にダビング中の番組やデータが壊れている番組など)

番組や写真にプロテクトを設定

録画中

「1 回だけ録画可能」な番組(➔32)

PAL 信号
(このマークの番組は再生できません)

コピー禁止で録画停止

HDD にリリーフ(代替)録画された番組(➔37)

プリント枚数(DPOF)が設定された写真(➔59)

おまかせダビング・詳細ダビング画面

DVD-R(DVD-Video 方式)、DVD-R DL(DVD-Video 方式)、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R に高速でダビングできるもの

静止画を含むもの
(静止画部分はダビングされません)

本機で録画した「1 回だけ録画可能」の番組

「1 回だけ録画可能」なため「移動」されるもの

予約一覧画面

可 全編の録画が可能な番組

変更可 予約登録後に放送時間が変更になった番組で、全編の録画が可能な番組

重複 予約時間が重なっている番組

録画実行中 現在実行中の録画

FULL中断 ディスクがいっぱいで中断

代替 予約時にディスクが未挿入などで、HDDにリリーフ(代替)録画(➜37)される番組

購入失敗 番組購入できずに予約録画に失敗したペイ・パー・ビュー番組

未実行 予約録画が実行されなかった番組

不可 HDD の残量が不足していて録画できない番組

毎週・毎日予約のときに、表示された日付(最大1ヶ月先)まで録画予約されます。(他の番組が録画や消去された場合など、ディスクの残量によって、日付が変更される場合があります。)

時間変更追従を実行中(時間確認中)

時間指定 G コード予約または時間指定予約(➜40、41)で予約した番組

番組表(G ガイド)を使って予約した番組(➜38)

番組表(G ガイド)を使って予約したペイ・パー・ビュー番組

コピー禁止で中断

一部未実行 予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組

追加購入できずに予約録画に失敗したペイ・パー・ビュー番組

予約の実行が「切」になっている番組

番組表(G ガイド)を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示

毎週・毎日予約のときに、自動更新(➜37)をする場合に表示されます。(前回録画した内容を上書きして録画します。)

番組ジャンル

番組をジャンル別に検索するときに選びます。(➜43)

 映画

 音楽

 ニュース・報道

 劇場・公演

 ドラマ

 バラエティー

 アニメ・漫画

 趣味・教育

 スポーツ

 情報・ワイドショー

 ドキュメンタリー・教養

 福祉

他にも、ジャンル名をイラスト化して表示しているアイコンがあります。

その他の画面

視聴可能年齢の設定より高い年齢制限の番組。
暗証番号を入力すると視聴可(➜82)

メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール(未読メール)

番組表(G ガイド)を使って予約された番組

有料 1番組限度額の設定より高い金額の番組
暗証番号を入力すると視聴可(➜82)

メール一覧画面で、お客様が既に読まれたメール(既読メール)

用語解説

ア　アンテナレベル
アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、アンテナを接続したケーブルの長さなどによって影響を受けます。

カ　(株)B-CAS(ビーキャス)
BS デジタル放送の限定受信システム(CAS)を管理するために設立された(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。B-CAS カードの発行・管理をしています。地上デジタル放送や110 度CS デジタル放送も同システムを使用しています。

ゲートウェイアドレス
インターネットのアクセスで経由すべき機器の IP アドレス。通常はブロードバンドルーターの IP アドレスのことをいいます。(例:192.168.0.1)

サ　サブネットマスク
ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器の IP アドレスを絞り込むための数字です。(例:255.255.255.0)

サムネイル
複数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことです。(本機では、番組一覧などに番組内の 1 場面が表示されます)

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

字幕放送
字幕情報を表示させることができる放送です。放送中に番組からのお知らせを表示する「文字スーパー」という機能もあります。

双方向サービス
視聴者が自宅にいながら、クイズ番組に参加したり、買い物をすることができます。
電話回線の接続が必要です。

タ　ダイナミックレンジ
機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

ダウンミックス
ディスクに収録されたマルチチャンネル(サラウンド)の音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。
DVDオーディオには、ダウンミックスが禁止されたディスクがあります。ダウンミックスが禁止された曲は、HDMIケーブルで、CPPM に対応した HDMI Ver1.1 規格以上のアンプと接続している場合を除き、本機では正常に再生できません。

デコーダー
DVDなどに符号化して記録したデータを解読し、映像や音声の信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

データ放送
お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができる放送です。例えば、お客様のお住まいの地域の天気予報を、表示させることができます。また、テレビ放送やラジオ放送に連動したデータ放送もあります。その他に、電話回線を使用して視聴者参加番組、ショッピング、チケット購入などの双方向(インタラクティブ)サービスなどが行われます。

デジタルハイビジョン
デジタル放送には、デジタル標準テレビ放送(SD)とデジタルハイビジョン放送(HD)があります。ハイビジョンの走査線数は現行テレビ放送の525 本の倍以上の1125 本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

ドライブ
本機では、ハードディスク(HDD)、ディスク(DVD)、SDメモリーカード(SD)のことをいいます。データの読み書きを行います。

ハ　パン&スキャン/レターボックス
DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9の映像が4:3に収まらなくなります。
4:3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン&スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

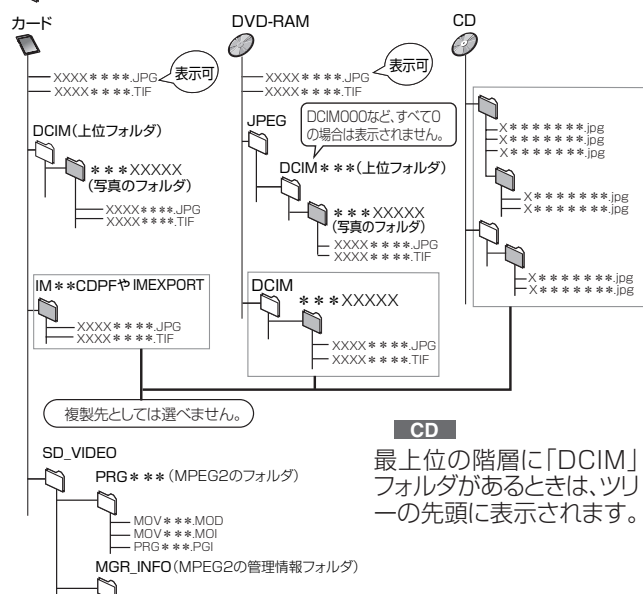
- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。

ファイナライズ
録音・録画されたCD-R、CD-RWやDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理すること。
本機ではDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R のファイナライズが可能です。
DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW(DVD-Video 方式)、+R をファイナライズすると再生専用ディスクとなり、記録や編集ができなくなります。DVD-RWは、フォーマットすると繰り返し録画できます。

フィルム/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。
- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画の映像などで使われています。)
- **ビデオ素材**
  映像情報が30 フレーム/秒、60 フィールド/秒で記録されているもの。(テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています。)

フォーマット
録画前のDVD-RAMなどを録画機器で録画できるように処理することです。初期化ともいいます。
本機ではHDD、DVD-RAM、DVD-RW、SDメモリーカード、未使用の DVD-R、DVD-R DL のフォーマットができます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。未使用の DVD-R、DVD-R DL をフォーマットすると、VR 方式で記録できるようになります。

フォルダ
ハードディスクやメモリーカードなどで、データをまとめて保管するための場所のことです。本機では、写真(JPEG、TIFF)や MPEG2 などの保管場所を表します。

本機で表示されるフォルダ構造例

- フォルダ名やファイル名を本機以外で入力した場合は、正しく表示されなかったり、再生や編集ができなくなることがあります。

プライマリ DNS/ セカンダリ DNS
インターネット上で名前とIP アドレスを対応させる電話帳のような機能を持ったサーバーです。本機はこのサーバーの IP アドレスを 2 つまで登録することができます。

ブラウザ
ネットワーク上のページを表示するためのソフトウェアです。

フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

 = +

フレーム　フィールド　フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

プログレッシブ/インターレース
従来の映像信号(NTSC)は525i(i: インターレース=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525i 信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525p(p: プログレッシブ=順次走査)といいます。プログレッシブでは、DVDソフト本来の高精細映像を再現できます。

プロテクト
記録した内容を誤って消してしまわないように、書き込みや消去の禁止を設定することです。

ブロードバンド
ご家庭でいつでもインターネットを楽しめる、ADSL などのインターネット接続環境です。電話モデムを使用するのに比べて、高速なアクセスが可能です。

プロバイダー
ケーブルや電話回線に接続した機器をインターネットに接続するサービスをしている会社の総称です。「hi-ho(ハイホー)」など、多くの会社があります。

マ

マルチビュー放送
1 チャンネルで主番組、副番組の複数映像が送られる放送のことです。例えば、野球放送の場合、主番組は通常の野球放送、副番組ではそれぞれのチームをメインにした野球放送が行われます。

ヤ

有料放送
チャンネル単位で購入する場合と、番組単位で購入する場合(ペイ・パー・ビュー)があり、それぞれ放送事業者との契約が必要です。ペイ・パー・ビューでは、テレビ画面上で購入操作を行います。ペイ・パー・ビューをご覧になるためには電話回線の接続が必要です。

A

エーエーシー　アドヴァンスド　オーディオ　コーディング
AAC（Advanced Audio Coding）
衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド・オーディオ・コーディング」の略で、CD 並みの音質データを約 1/12 まで圧縮できます。また、5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

エーディーエスエル
ADSL
アシンメトリック　デジタル　サブスクライバー　ライン
（Asymmetric Digital Subscriber Line）

電話回線を使ったブロードバンド接続方式の一種です。回線業者、プロバイダーとの契約が必要です。

B

Bitstream(ビットストリーム)
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1 チャンネルなどのマルチチャンネル音声信号に戻されます。

C

シーピーピーエム
CPPM
コンテント　プロテクション　フォー　プリレコーディッド　メディア
（Content Protection for Prerecorded Media）

DVDオーディオのファイルコピーを防止する著作権保護技術です。本機は CPPM に対応しています。CPPM で著作権保護された DVD オーディオの音声を HDMI で楽しむには、CPPM 対応機器と接続してください。

シーピーアールエム
CPRM
コンテント　プロテクション　フォー　レコーダブル　メディア
（Content Protection for Recordable Media）

デジタル放送の「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術のことです。「1回だけ録画可能」な番組は、CPRMに対応した機器とディスクにのみ録画できます。

D

D 映像端子
コンポーネント(色差)ビデオ信号と制御信号を 1 つにまとめた端子で、デジタル放送や DVD プレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の 3 つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

ディーエイチシーピー
DHCP
ダイナミック　ホスト　コンフィギュレーション　プロトコル
（Dynamic Host Configuration Protocol）

サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

Dolby Digital（ドルビーデジタル）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2チャンネル）はもちろん、マルチチャンネル音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ディーポフ　デジタル　プリント　オーダー　フォーマット
DPOF（Digital Print Order Format）
デジタルカメラなどで撮影した静止画を、写真店や家庭用プリンタでプリントする枚数などの設定を標準化した規格です。

ディーティーエス　デジタル　シアター　システムズ
DTS （Digital Theater Systems）
映画館で多く採用されているマルチチャンネルシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

E

イーピージー　エレクトロニック　プログラム　ガイド
EPG（Electronic Program Guide）
テレビやパソコン、携帯電話の画面上に番組表を表示するシステムのことです。テレビ電波やインターネットを利用してデータを送信します。本機はテレビ電波を利用した方式に対応しており、番組表(G ガイド)を使って予約録画などができます。

H

HDD(ハードディスクドライブ)
パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置のひとつです。表面に磁気体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

エイチディーエムアイ
HDMI
ハイ ディフェニション　マルチメディア　インターフェイス
（High-Definition Multimedia Interface）

HDMI とは、デジタル機器向けの次世代インターフェイスです。従来の接続と違い、1 本のケーブルで非圧縮のデジタル音声・映像信号を伝送することができます。

I

アイディースリー
ID3 タグ
MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

アイピー
IP アドレス
インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。家庭では、ブロードバンドルーターなどのDHCP 機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。(例: 192.168.0.87)

アイアール
Ir システム
チューナーなどから予約録画などの信号を録画機器のリモコン受信部に送ることで、連動操作をする機能です。当社製 CATV 用セットトップボックスのIrシステムがDVD レコーダーに対応している場合、Irシステムを使って本機を操作できます。セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。

J

ジェイペグ　ジョイント　フォトグラフィック　エキスパーツ　グループ
JPEG（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画を圧縮、展開する規格の一つです。
デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

用語解説（つづき）

エルビーシーエム　ピーシーエム
Ⓛ LPCM（リニア PCM）
CDなどで使われている、圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。本機では、XPモードで録画するときに選べます。

マック
Ⓜ MAC アドレス
ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、イーサーネットアドレスやハードウェアアドレスなどと呼ばれることもあります。

エムピースリー　エムペグ　オーディオ　レイヤー
MP3（MPEG Audio Layer 3）
元の音質をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンなどで CD-RやCD-RWに記録したMP3方式の音声を再生できます。

エムペグ　ムービング　ピクチャー　エキスパーツ　グループ
MPEG2（Moving Picture Experts Group）
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の一つです。
MPEG2 は DVD やデジタル放送などに使われる圧縮方式で、本機では番組を MPEG2 で録画します。また、当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画を SD カードから HDD や DVD-RAM、DVD-R（VR 方式）、DVD-R DL（VR 方式）にダビングすることができます。

ピービーシー　プレイバック　コントロール
Ⓟ PBC（Playback control）
ビデオCDの再生方式の一つで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。（本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています。）

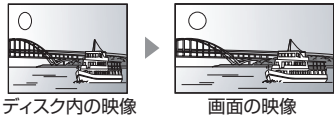
ピーシーエム　パルス　コード　モジュレーション
PCM（Pulse Code Modulation）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス･コード･モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

Ⓢ S映像出力
映像信号をC（色信号）とY（輝度信号）に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。本機は自動的にワイドテレビの画面設定を切り換えるS1/S2規格に対応していますので、テレビのS映像入力端子の種類に合わせて信号が出力できます。

●S1映像信号

映像の横縦比が4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9のサイズに戻して映します。

ディスク内の映像

画面の映像

●S2映像信号

S1の機能に加え、レターボックス（上下に黒帯が入っている映像）のソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

ディスク内の映像

画面の映像

ティフ　タグ　イメージ　ファイル　フォーマット
Ⓣ TIFF（Tag Image File Format）
カラー静止画を圧縮、展開する規格の一つです。デジタルカメラなどでは、高画質の画像を記録するために多く用いられています。

ブイビーアール　ヴァリアブル　ビット　レート
Ⓥ VBR（Variable Bit Rate）
映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

❶ 1125i（1080i）
デジタルハイビジョン映像の 1 つで、1/60 秒ごとに 1125 本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。走査線数は現行テレビ放送の 525 本の倍以上の 1125 本もあるため、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像になります。

1125p（1080p）
デジタルハイビジョン映像の 1 つで、1/60 秒ごとに 1125 本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

❺ 525i（480i）
1/60 秒ごとに 525 本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース（飛び越し走査）方式です。

525p（480p）
1/60 秒ごとに 525 本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

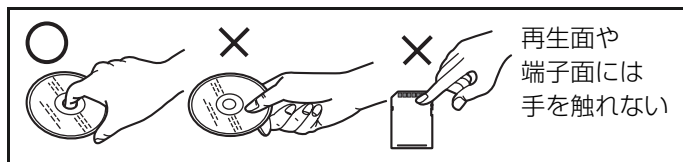
❼ 750p（720p）
デジタルハイビジョン映像の 1 つで、1/60 秒ごとに 750 本の走査線を同時に流すプログレッシブ（順次走査）方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

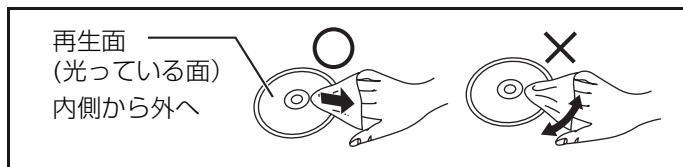
言語番号一覧

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド	7383	オーリヤ	7982	シンド	8368	トルクメン	8475	ヘブライ	7387
アイマラ	6589	オランダ	7876	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベトナム	8673
アイルランド	7165	カザフ	7575	ジャワ	7487	トンガ	8479	ベロルシア（白ロシア）	6669
アゼルバイジャン	6590	カシミール	7583	スウェーデン	8386	ドイツ	6869	ベンガル（バングラ）	6678
アッサム	6583	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アファル	6565	ガリチア	7176	スロベニア	8376	日本語	7465	ポーランド	8076
アフリカーンス	6570	韓国（朝鮮）語	7579	スワヒリ	8387	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アブハジア	6566	カンナダ	7578	スンダ	8385	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アムハラ	6577	カンボジア	7577	スペイン	6983	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アラビア	6582	キルギス	7589	ズールー	9085	ハンガリー	7285	マライ（マレー）	7783
アルバニア	8381	ギリシャ	6976	セルビア	8382	バシキール	6665	マラッタ	7782
アルメニア	7289	クルド	7585	セルボクロアチア	8372	バスク	6985	マラヤーラム	7776
イタリア	7384	クロアチア	7282	ソマリ	8379	パシュト	8083	マルタ	7784
イディッシュ	7473	グアラニー	7178	タイ	8472	パンジャブ	8065	マダガスカル	7771
インターリングア	7365	グジャラト	7185	タタール	8484	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
インドネシア	7378	グリーンランド	7576	タミル	8465	ビハール	6672	モンゴル	7778
ウェールズ	6789	グルジア	7565	タガログ	8476	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
ウォロフ	8779	ケチュア	8185	タジク	8471	フィジー	7074	ラオ	7679
ヴォラピュック	8679	ゲール		チェコ	6783	フィンランド	7073	ラテン	7665
ウクライナ	8575	（スコットランド）	7168	中国語	9072	フェロー	7079	ラトビア（レット）	7686
ウズベク	8590	コーサ	8872	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウルドゥー	8582	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	フリジア	7089	リンガラ	7678
英語	6978	サモア	8377	テルグ	8469	ブータン	6890	ルーマニア	8279
エストニア	6984	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
エスペラント	6979	ショナ	8378	トウイ	8487	ブルターニュ	6682	ロシア	8285

ディスク・カードの取り扱い

使用上のお願い

持ちかた

汚れたときや、つゆがついたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

カートリッジ付き DVD-RAM の取り扱いについて

ディスクを損傷から保護し、性能を維持するため、シャッターを無理に開けないでください。

取扱上のお願い

ディスク、カードの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。

- ●ディスクにシールやラベルを貼らない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります。)
- ●ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う
  ボールペンなど先のとがった硬いものは使わない
- ●レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- ●傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- ●カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない
- ●ディスクを落としたり、重ねたり、物をのせたり、衝撃を与えたりしない
- ●以下のディスクを使わない
  －シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルディスクなどのディスク
  －そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  －ハート型など、特殊な形のディスク

- ●次のような場所に置かない
  －直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど温度が高いところ
  －湿気やほこりの多いところ
  －温度差の激しいところ(結露が発生します)
  －静電気や電磁波が発生するところ
- ●使用後はケースまたはカートリッジに収める

本機のお手入れ

録画 / 再生用レンズが汚れたとき

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画·再生ができなくなることがあります。
使用環境や回数にもよりますが、約1年に一度、
レンズクリーナー(➜ 準備編 46)でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。

●クリーニング中に音がすることがありますが故障ではありません。

本体が汚れているとき

柔らかい布でふいてください。

- ●アルコールやシンナーは使わないでください。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

本機を廃棄/譲渡するときのお願い

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、**放送設定**の「個人情報リセット」を実行し、記録された情報を消去してください。
(➜82)
本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVDレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

「故障かな !? 」（➜91 ～98）に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	DVDレコーダー	お買い上げ日	年　　月　　日
品　　番		故 障 の 状 況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…06-6907-1187
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック

修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北 海 道 地 区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251
旭川 旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011
帯広 帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477
函館 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東 北 地 区

青森 青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326
秋田 秋田市東通り2丁目1-7 ☎(050)5519-6348
岩手 盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130
宮城 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
山形 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
福島 郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首 都 圏 地 区

栃木 宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555
群馬 前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075
茨城 つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
千葉 千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034
東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
山梨 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中 部 地 区

石川 金沢市横川3丁目20 ☎(076)280-6608
富山 富山市根塚町1丁目1-4 ☎(076)424-2549
福井 福井市問屋町2丁目14 ☎(0776)25-5001
長野 松本市寿北7丁目3-11 ☎(0263)86-9209
静岡 静岡市駿河区有東2丁目3-22 ☎(054)287-9000
愛知 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
岐阜 岐阜市中鶉4丁目42 ☎(058)278-6720
高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
三重 津市久居野村町字山神421 ☎(059)255-1380

近 畿 地 区

滋賀 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎(077)582-5021
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
奈良 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中 国 地 区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
岡山 岡山市田中138-110 ☎(086)242-6236
広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
山口 山口県吉敷郡小郡町下郷220-1 ☎(083)973-2720

四 国 地 区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-6388
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎(088)624-0253
高知 高知市仲田町2-16 ☎(088)834-3142
愛媛 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎(089)905-7544

九 州 地 区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
宮崎 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
大島 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0106

さくいん

英数字

あ 行

か 行

さ 行

た　行　ページ

な　行　ページ

は　行　ページ

ま　行　ページ

や　行　ページ

ら　行　ページ

著作権など

● ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
● この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。また、その使用はマクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部のペイパービューでの使用に制限されます。この製品を分解したり、改造することも禁じられています。
● Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. の日本国内における登録商標です。
Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。
米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
● 電子番組表の表示機能にGガイドを採用していますが、当社がGガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
● 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
● Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関連会社の日本国内における登録商標です。
Gコードシステムは、米Gemstar-TV Guide International, Inc. のライセンスに基づいて生産しております。
● ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●「DTS」および「DTS 2.0＋Digital Out」はDTS社の商標です。
● SD ロゴは商標です。
● miniSD™ は SD アソシエーションの商標です。
● Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
● HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
● 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイル Wnn を使用しています。“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
● 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
● この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[操作一覧] を押し、“その他の機能へ”→“メール／情報”→“ID 表示”→“ソフト情報表示”をご参照ください。
● メールや購入記録、データ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
● この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
● この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利確保のため権利者に支払われることが定められています。
私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂５丁目４番６号 赤坂三辻ビル２F
社団法人 私的録画補償金管理協会
TEL 03-3560-3107（代）
FAX 03-5570-2560
なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

音のエチケット
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

愛情点検　長年ご使用のDVDレコーダーの点検を!

こんな症状はありませんか
● 煙が出たり、異常なにおいや音がする
● 映像や音声が出ないことがある
● 正常に動作しないことがある
● 商品に破損した部分がある
● その他の異常や故障がある

このような症状のときは使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です。	お買い上げ日	年　月　日	販売店名	☎（　）　－
	品番			
	B-CAS カード番号	B-CAS カード番号を記入してください。お問い合わせのときに必要な場合があります。		

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571 − 8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT8429-1S
F0306TN1036